

平成 20 年度 中区 区民意識調査

報 告 書



平成 20 年 7 月

横浜市中区総務部
区政推進課

～ 目 次 ～

調査の目的と概要

1 . 調査の目的	1
2 . 調査設計	1
3 . 調査の内容	1
4 . 回収結果	1
5 . 集計にあたって	1
6 . 調査結果の概要	3
(1) 回答者の基本属性	3
(2) 中区の行政サービスについて	3
(3) 「温暖化対策」について	3
(4) 「障害者福祉」について	4
(5) 「地域とのかかわり」について	4
(6) 「横浜開港 150 周年」について	4
(7) 「インターネットの利用」について	4

調査結果

1 . 回答者の基本属性	5
2 . 中区の行政サービスについて	1 7
3 . 「温暖化対策」について	2 1
4 . 「障害者福祉」について	2 9
5 . 「地域とのかかわり」について	3 2
6 . 「横浜開港 150 周年」について	3 5
7 . 「インターネットの利用」について	3 7

調査結果考察

1 . 回答者の基本属性について	3 9
2 . 中区の行政サービスについて	4 2
3 . 「温暖化対策」について	7 5
4 . 「障害者福祉」について	7 8
5 . 「地域とのかかわり」について	8 0
6 . 「横浜開港 150 周年」について	8 3
7 . 「インターネットの利用」について	8 4

自由意見欄のまとめ

	8 6
--	-----

調査の目的と概要

1. 調査の目的

本調査は、今後の区政における政策立案、事業化等に反映させていくため、中区政に対する区民の評価、ニーズ等を把握することを目的とする。

2. 調査設計

本調査の設計は以下のとおりである。

- (1) 調査方法 郵送によるアンケート調査
- (2) 調査地域 中区全域
- (3) 調査対象 区内在住の20歳以上の男女
- (4) 標本数 2,600人(うち260人は外国籍区民)
- (5) 抽出方法 住民基本台帳及び外国人登録原票からの無作為抽出
- (6) 調査機関 (株)流通研究所
- (7) 調査時期 平成20年7月

3. 調査の内容

本調査の内容は以下のとおりである。

- ・回答者の基本属性
- ・中区の行政サービスについて
- ・「温暖化対策」について
- ・「障害者福祉」について
- ・「地域とのかかわり」について
- ・「横浜開港150周年」について
- ・「インターネットの利用」について

4. 回収結果

本調査の回収結果は以下のとおりである。

項目	標本数 (外国籍区民)	率 (外国籍区民)
標本数	2,600人 (260人)	100.0% (100.0%)
有効回収数	1,233人 (61人)	47.4% (23.5%)

5. 集計にあたって

- ・比率は全てパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、パーセントの合計が100%にならないことがある。
- ・複数回答の設問の集計は、回答者数(票数)に対する回答率で表すため、各項目比率の合計が100%を上回ることがある。
- ・基数となるべき実数(n)は、設問に対する回答者数である。

- ・本文中の満足度及び重要度は、下記の式によって質問ごとに算出した数値である。

$$\text{満足度} = \frac{(\text{満足}) \times 5 + (\text{やや満足}) \times 4 + (\text{ふつう}) \times 3 + (\text{やや不満}) \times 2 + (\text{不満}) \times 1}{(\text{有効回収数} - \text{無回答})}$$

$$\text{重要度} = \frac{(\text{重要}) \times 5 + (\text{やや重要}) \times 4 + (\text{ふつう}) \times 3 + (\text{あまり重要でない}) \times 2 + (\text{重要でない}) \times 1}{(\text{有効回収数} - \text{無回答})}$$

- ・満足度及び重要度は、小数点以下第4位を四捨五入している。

6. 調査結果の概要

(1) 回答者の基本属性【問1～11】

回答者の性別は、「男性」が46.1%、「女性」が52.8%、年齢は「20歳代」が1割未満であるほかは、30歳代から70歳以上まで1～2割程度となっている。

同居家族は、半数以上が「配偶者」と同居しており、「一人暮らし」は19.3%となっている。

居住年数としては、「30年以上」が34.4%でもっとも多く、10年以上居住している回答者で半数を超える。「1年未満」は4.9%となっている。

居住形態としては、「持ち家（一戸建て）」が37.1%でもっとも多く、戸建てと共同住宅を合わせた持家率は65.8%となっている。また、共同住宅の割合としては、持ち家と賃貸を合わせて52.6%となっている。

中区に住むようになった理由としては、「住環境が良いと思ったから」がもっとも多くなっている。

就労状況としては、「就労している（常勤・フルタイム）」が43.3%、「就労していない」が29.0%となっており、「就労している（非常勤・パート・アルバイト）」は12.2%となっている。

通勤・通学場所としては、「通勤・通学はしていない」が26.4%でもっとも多いが、通勤・通学者の中では「中区内」が20.1%でもっとも多い。通勤・通学時間としては、「1時間～1時間30分未満」が22.3%でもっとも多いが、45分未満の回答者で半数を超える。

一日のうちに自由に使える時間としては、「1～3時間未満」が35.4%でもっとも多いが、「5時間以上」との回答者も27.4%となっている。

(2) 中区の行政サービスについて【問12】

中区の行政サービスに対する満足度は、「日常の買い物の利便性」、「バス・電車による移動の利便性」が高く、「生活マナーの向上（ごみ出し、犬の散歩、路上駐輪、歩行喫煙、ポイ捨てなど）」が低くなっている。重要度においては、「病院・診療所や救急医療の充実」、「地震や火災などの災害対策」が高く、「市民菜園など農と親しめる施設の整備」、「市民活動・生涯学習のための支援・施設の整備や使いやすさ」が低くなっている。

(3) 「温暖化対策」について【問13～20】

温暖化対策への取り組みについては、「省エネ行動」、「公共交通機関等の利用」で「既に取り組んでいる」と回答する割合が70.0%を超える。逆に「緑のカーテン」づくりにおいては、「既に取り組んでいる」と回答する割合が約1割で、「今後も取り組まな

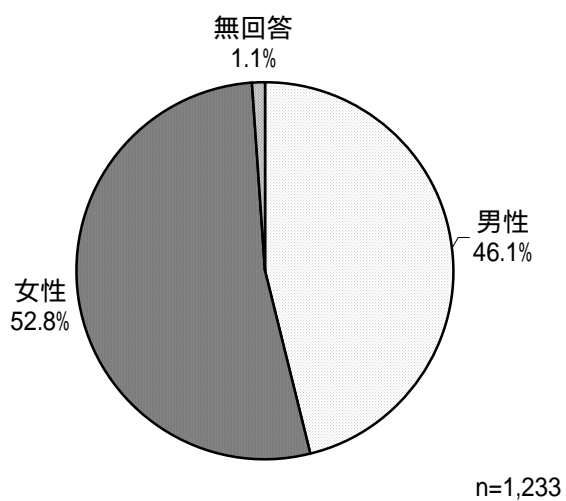
調查結果

1. 回答者の基本属性

問1 あなたの性別を教えてください。(いずれか1つに)

回答者の性別は、「男性」が46.1%、「女性」が52.8%となっている。

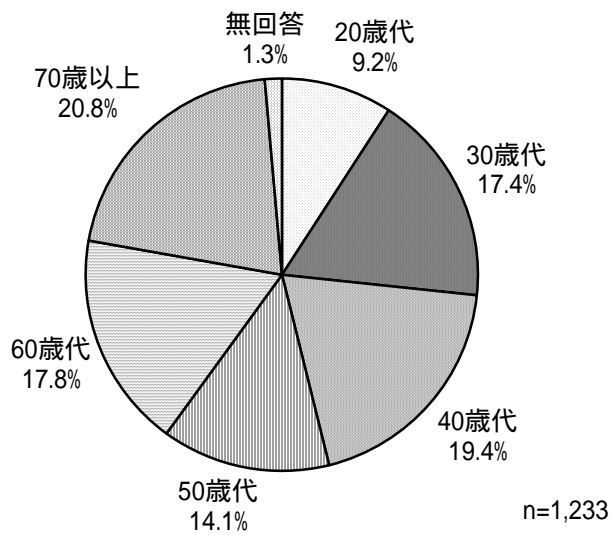
	件数	割合
男性	568	46.1%
女性	651	52.8%
無回答	14	1.1%
合計	1,233	100.0%



問2 あなたの年齢を教えてください。(いずれか1つに)

回答者の年齢は、「70歳以上」がもっとも多く20.8%、次いで「40歳代」(19.4%)、「60歳代」(17.8%)となっている。

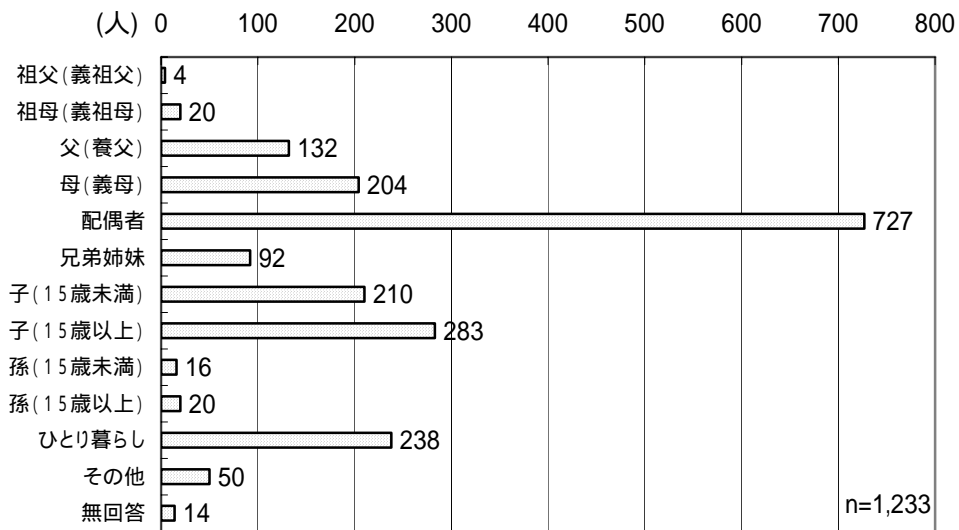
	件数	割合
20歳代	114	9.2%
30歳代	215	17.4%
40歳代	239	19.4%
50歳代	174	14.1%
60歳代	219	17.8%
70歳以上	256	20.8%
無回答	16	1.3%
合計	1,233	100.0%



問3 あなたと一緒に暮らしている方を教えてください。(あてはまるものすべてに)

回答者の同居家族は、「配偶者」がもっとも多く59.0%、次いで「子(15歳以上)」(23.0%)、「ひとり暮らし」(19.3%)となっている。

	件数	割合
祖父(義祖父)	4	0.3%
祖母(義祖母)	20	1.6%
父(養父)	132	10.7%
母(義母)	204	16.5%
配偶者	727	59.0%
兄弟姉妹	92	7.5%
子(15歳未満)	210	17.0%
子(15歳以上)	283	23.0%
孫(15歳未満)	16	1.3%
孫(15歳以上)	20	1.6%
ひとり暮らし	238	19.3%
その他	50	4.1%
無回答	14	1.1%
合計	2,010	163.0%



問4 あなたのお住まいの町名を教えてください。(いずれか1つに)

回答者の居住地は、各町名5.0%未満となっている。

	件数	割合
相生町	1	0.1%
赤門町	3	0.2%
曙町	9	0.7%
池袋	15	1.2%
石川町	28	2.3%
伊勢佐木町	16	1.3%
上野町	20	1.6%
打越	15	1.2%
内田町	0	0.0%
扇町	18	1.5%
大芝台	3	0.2%
太田町	1	0.1%
大平町	9	0.7%
翁町	2	0.2%
尾上町	3	0.2%
海岸通	9	0.7%
柏葉	26	2.1%
かもめ町	0	0.0%
北方町	21	1.7%
北仲通	0	0.0%
黄金町	2	0.2%
寿町	19	1.5%
小港町	24	1.9%
鷺山	11	0.9%
桜木町	0	0.0%
新港	0	0.0%
新山下	47	3.8%
未広町	0	0.0%
末吉町	10	0.8%
住吉町	0	0.0%
諏訪町	1	0.1%
滝之上	19	1.5%
竹之丸	25	2.0%
立野	7	0.6%
千歳町	0	0.0%
千鳥町	0	0.0%
長者町	28	2.3%
千代崎町	14	1.1%
塚越	2	0.2%
寺久保	7	0.6%
常磐町	2	0.2%
豊浦町	0	0.0%
仲尾台	13	1.1%
錦町	13	1.1%
西竹之丸	18	1.5%
西之谷町	17	1.4%
日本大通	2	0.2%
根岸旭台	15	1.2%
根岸加曾台	7	0.6%
根岸台	0	0.0%
根岸町	23	1.9%
野毛町	17	1.4%
羽衣町	0	0.0%
初音町	9	0.7%

	件数	割合
花咲町	7	0.6%
英町	3	0.2%
万代町	1	0.1%
日ノ出町	11	0.9%
福富町仲通	2	0.2%
福富町西通	2	0.2%
福富町東通	0	0.0%
富士見町	3	0.2%
不老町	6	0.5%
弁天通	2	0.2%
蓬莱町	8	0.6%
本郷町	28	2.3%
本町	8	0.6%
本牧荒井	4	0.3%
本牧大里町	21	1.7%
本牧三之谷	23	1.9%
本牧十二天	1	0.1%
本牧町	66	5.4%
本牧原	34	2.8%
本牧ふ頭	0	0.0%
本牧間門	34	2.8%
本牧満坂	21	1.7%
本牧緑ヶ丘	15	1.2%
本牧宮原	21	1.7%
本牧元町	30	2.4%
本牧和田	13	1.1%
真砂町	0	0.0%
松影町	18	1.5%
豆口台	24	1.9%
港町	1	0.1%
南仲通	5	0.4%
南本牧	0	0.0%
簗沢	12	1.0%
宮川町	4	0.3%
妙香寺台	5	0.4%
三吉町	0	0.0%
麦田町	10	0.8%
元浜町	1	0.1%
元町	14	1.1%
矢口台	9	0.7%
山下町	77	6.2%
山田町	12	1.0%
山手町	31	2.5%
大和町	14	1.1%
山吹町	0	0.0%
山元町	30	2.4%
弥生町	7	0.6%
横浜公園	3	0.2%
吉田町	8	0.6%
吉浜町	18	1.5%
若葉町	3	0.2%
和田山	1	0.1%
無回答	11	0.9%
合計	1,233	100.0%

平成 14 年度に実施した「中区まちづくりに関する区民意識調査」と同様の地区分類において再集計した結果は、以下のとおりである。

	件数	割合
A 地区	115	9.3%
B 地区	246	20.0%
C 地区	165	13.4%
D 地区	210	17.0%
E 地区	232	18.8%
F 地区	254	20.6%
無回答	11	0.9%
合計	1,233	100.0%

A 地区：相生町、内田町、太田町、尾上町、海岸通、北仲通、桜木町、新港、住吉町、常磐町、日本大通、弁天通、本町、真砂町、港町、南仲通、元浜町、山下町、横浜公園

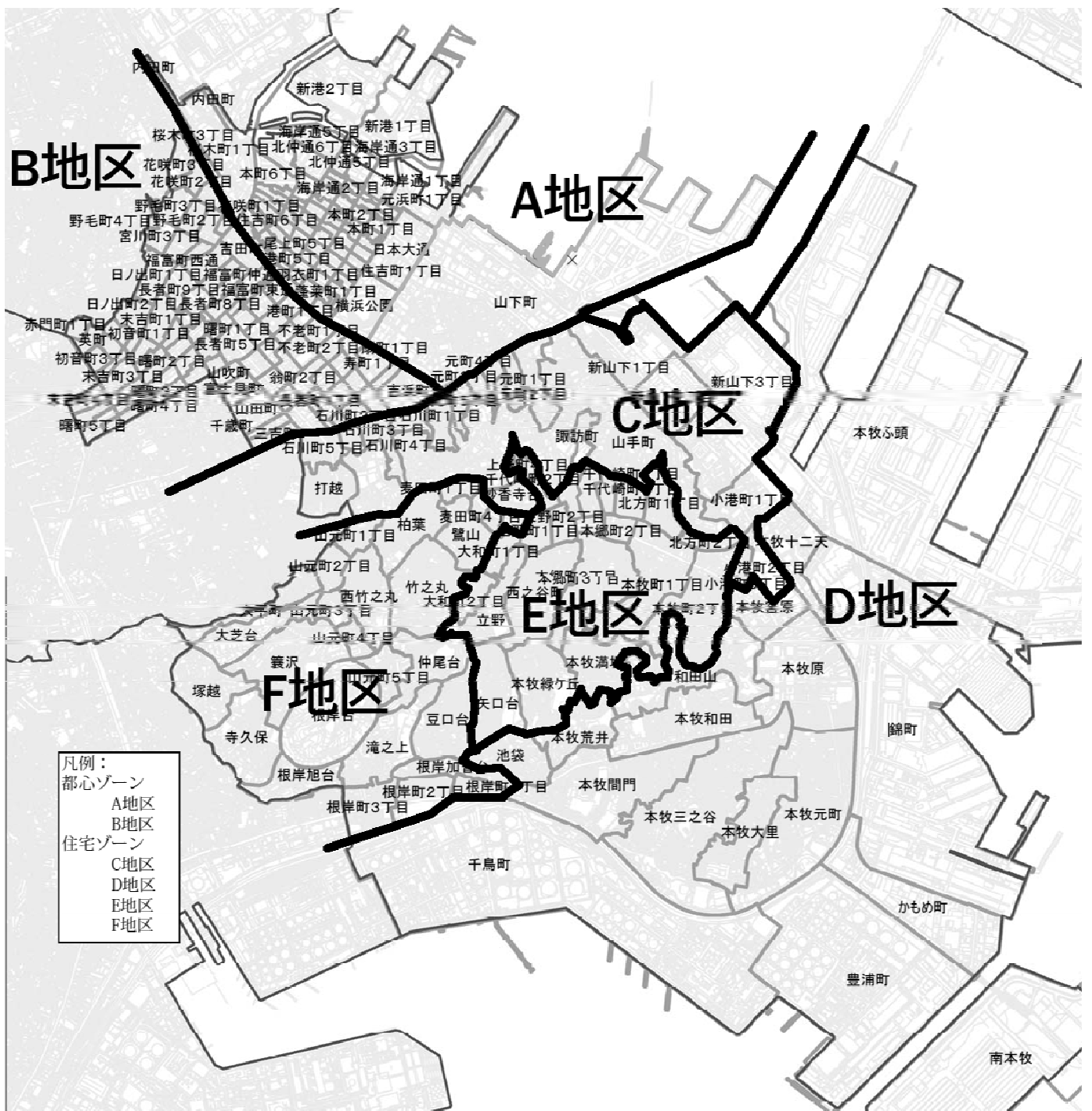
B 地区：赤門町、曙町、伊勢佐木町、扇町、翁町、黄金町、寿町、末広町、末吉町、千歳町、長者町、野毛町、羽衣町、初音町、花咲町、英町、万代町、日ノ出町、福富町仲通、福富町西通、福富町東通、富士見町、不老町、蓬莱町、松影町、宮川町、三吉町、山田町、山吹町、弥生町、吉田町、吉浜町、若葉町

C 地区：石川町、打越、小港町、新山下、諏訪町、妙香寺台、元町、山手町

D 地区：池袋、かもめ町、千鳥町、豊浦町、錦町、本牧荒井、本牧大里町、本牧三之谷、本牧十二天、本牧原、本牧ふ頭、本牧間門、本牧宮原、本牧元町、本牧和田、南本牧、和田山

E 地区：上野町、北方町、立野、千代崎町、西之谷町、本郷町、本牧町、本牧満坂、本牧緑ヶ丘、矢口台、大和町

F 地区：大芝台、大平町、柏葉、鷲山、滝之上、竹之丸、塚越、寺久保、仲尾台、西竹之丸、根岸旭台、根岸加曽台、根岸台、根岸町、豆口台、藁沢、麦田町、山元町

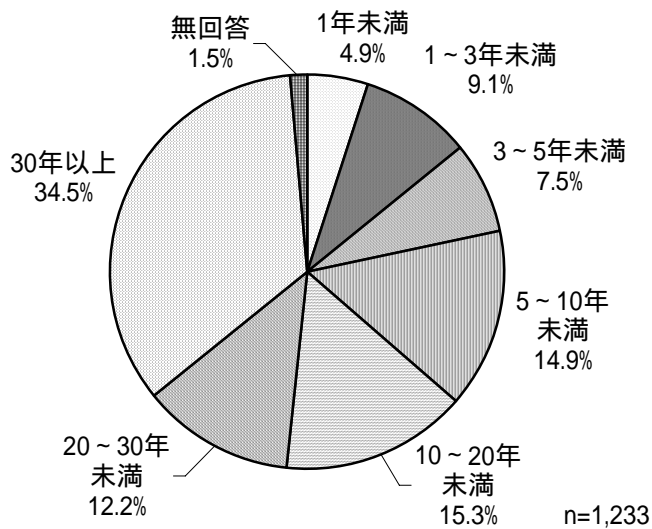


ゾーン区分	地区区分	地区の特性・課題など
1 都心ゾーン	A地区	該当連合：関内、第1北部(一部)、第2(一部)(関内) ・観光・宿泊・業務(新港、海岸通り、北仲通、日本大通、山下町など) ・飲食・商業・業務(港町、尾上町、住吉町、相生町、弁天通、南仲通など)
	B地区	該当連合：1中部、埋め地、第1北部(大部分)(関外) ・飲食・商業などの盛り場(野毛から伊勢佐木町まで) ・業務：居住(大船公園の南側)
2 住宅ゾーン	C地区	該当連合：石川町越、第2(一部)、第3(一部)、第4(元町・山手)、北部(一部)、第6(一部) ・飲食・商業などの商店街(元町) マンション/ヒコ町海苔な居住(山手) ・山手のふもとへの臨海部で進行する居住(新山下、小港)
	D地区	該当連合：新本牧、本牧根岸(大部分)(本牧) ・三楽園・市民公園などを有する旧市街(本牧元町など) ・米軍基地跡地開発の新本牧(本牧和田、本牧原など) ・臨海部の洋工業地帯内の住宅団地(本牧ポートハイム)
	E地区	該当連合：第4南部、第4北部(大部分)、第3(一部)(本牧北) ・商店街を持つ高層化した旧市街
	F地区	該当連合：第6(大部分)、第3(一部)、本牧根岸(一部)(根岸) ・環状道路や密集住宅が多い旧市街(仲尾台、山元町など) ・根岸森林公園を持つマンション部分(根岸旭台など)

問5 あなたは、中区にどのくらいの期間住んでいますか。(いずれか1つに)

回答者の居住年数は、「30年以上」がもっとも多く34.4%、次いで「10～20年未満」(15.3%)、「5～10年未満」(14.9%)となっている。

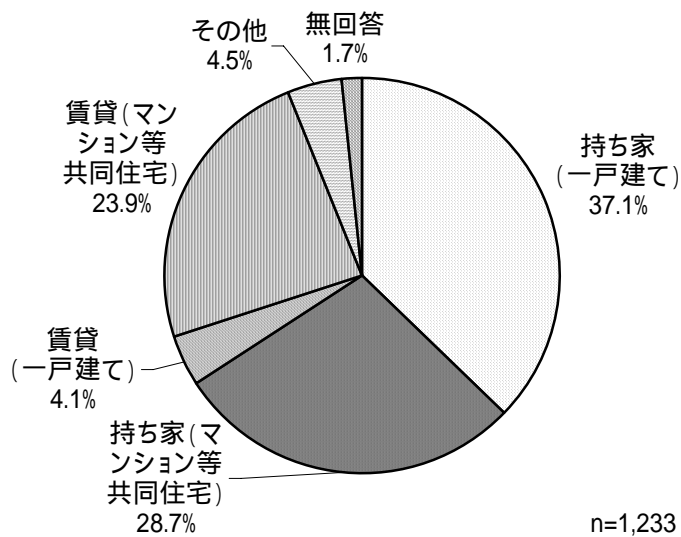
	件数	割合
1年未満	61	4.9%
1～3年未満	112	9.1%
3～5年未満	93	7.5%
5～10年未満	184	14.9%
10～20年未満	189	15.3%
20～30年未満	151	12.2%
30年以上	424	34.4%
無回答	19	1.5%
合計	1,233	100.0%



問6 あなたのお住まいの形態を教えてください。(いずれか1つに)

回答者の居住形態は、「持ち家(一戸建て)」がもっとも多く37.1%、次いで「持ち家(マンション等共同住宅)」(28.7%)、「賃貸(マンション等共同住宅)」(23.9%)となっている。

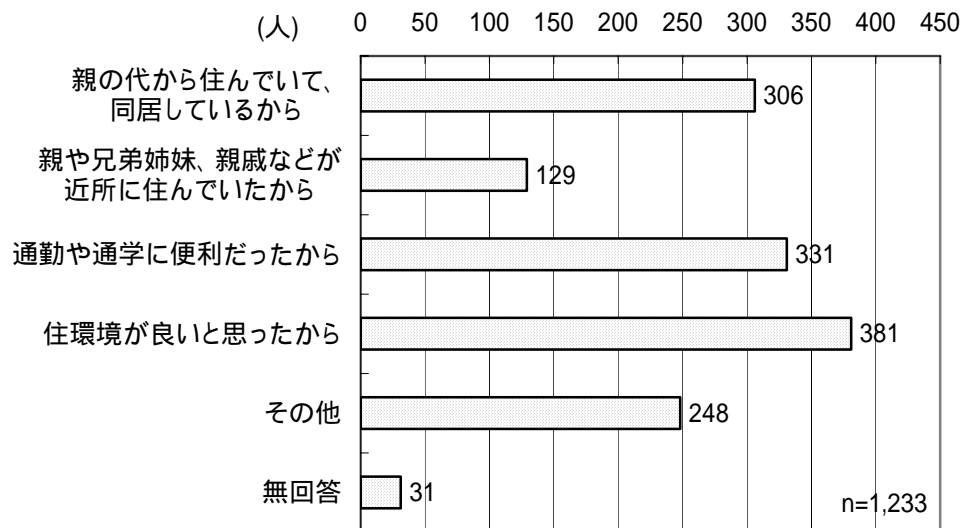
	件数	割合
持ち家(一戸建て)	458	37.1%
持ち家(マンション等共同住宅)	354	28.7%
賃貸(一戸建て)	50	4.1%
賃貸(マンション等共同住宅)	295	23.9%
その他	55	4.5%
無回答	21	1.7%
合計	1,233	100.0%



問7 あなたが中区に住むようになった理由を教えてください。(あてはまるものすべてに)

回答者の中区に住むようになった理由は、「住環境が良いと思ったから」がもっとも多く30.9%、次いで「通勤や通学に便利だったから」(26.8%)、「親の代から住んでいて、同居しているから」(24.8%)となっている。

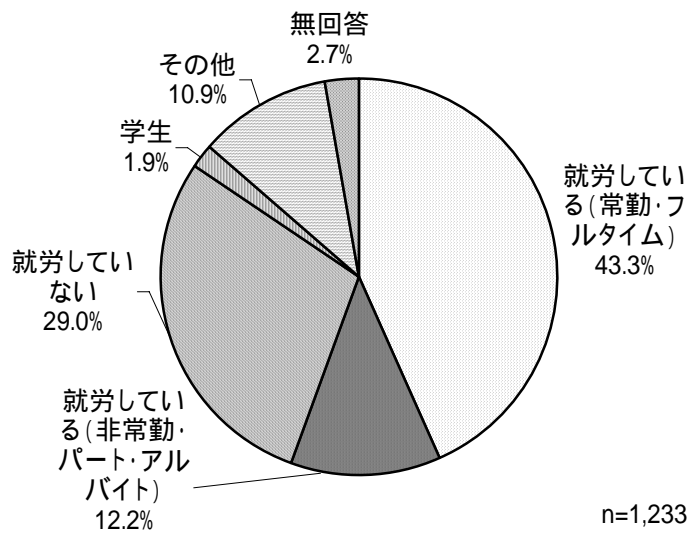
	件数	割合
親の代から住んでいて、同居しているから	306	24.8%
親や兄弟姉妹、親戚などが近所に住んでいたから	129	10.5%
通勤や通学に便利だったから	331	26.8%
住環境が良いと思ったから	381	30.9%
その他	248	20.1%
無回答	31	2.5%
合計	1,426	115.6%



問8 あなたの職業を教えてください。(いずれか1つに)

回答者の就労状況は、「就労している(常勤・フルタイム)」がもっとも多く43.3%、次いで「就労していない」(29.0%)、「就労している(非常勤・パート・アルバイト)」(12.2%)となっている。

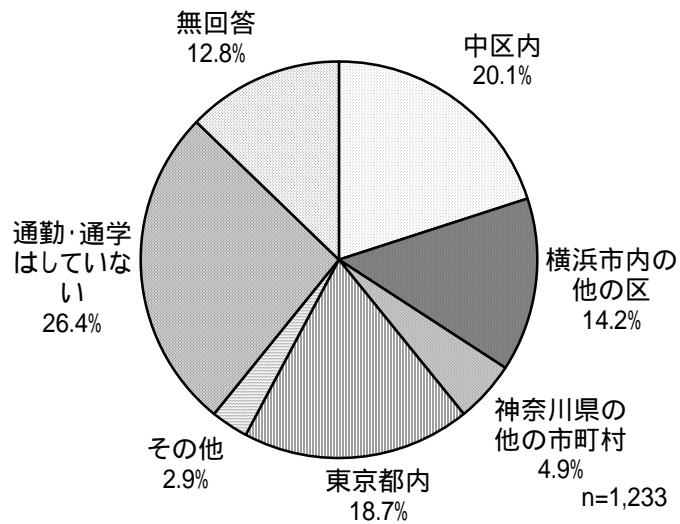
	件数	割合
就労している(常勤・フルタイム)	534	43.3%
就労している(非常勤・パート・アルバイト)	151	12.2%
就労していない	357	29.0%
学生	24	1.9%
その他	134	10.9%
無回答	33	2.7%
合計	1,233	100.0%



問9 あなたはどこに通勤・通学されていますか。(いずれか1つに)

回答者の通勤・通学場所は、「通勤・通学はしていない」がもっとも多く 26.4%、次いで「中区内」(20.1%)、「東京都内」(18.7%)となっている。

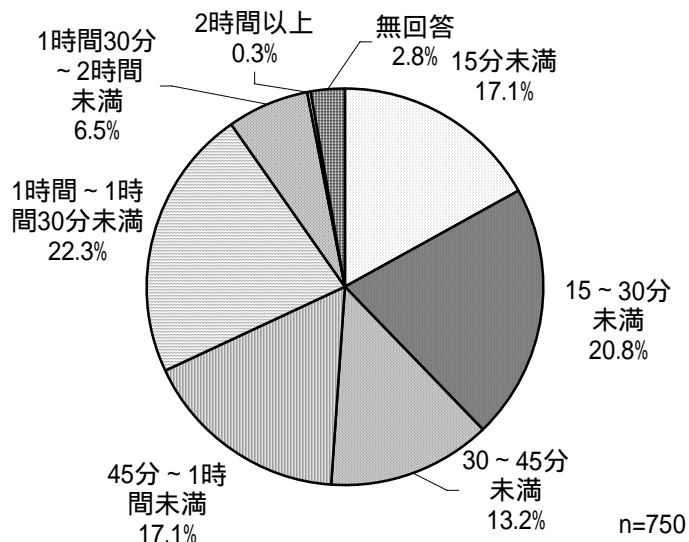
	件数	割合
中区内	248	20.1%
横浜市内の他の区	175	14.2%
神奈川県以外の市町村	61	4.9%
東京都内	230	18.7%
その他	36	2.9%
通勤・通学はしていない	325	26.4%
無回答	158	12.8%
合計	1,233	100.0%



問 10 職場・学校までの通勤・通学にかかる時間はどのくらいですか。(いずれか1つに)
【問9で「1～5」に をつけた方がのみが回答】

回答者の通勤・通学時間は、「1時間～1時間30分未満」がもっとも多く22.3%、次いで「15～30分未満」(20.8%)、「15分未満」・「45分～1時間未満」(17.1%)となっている。

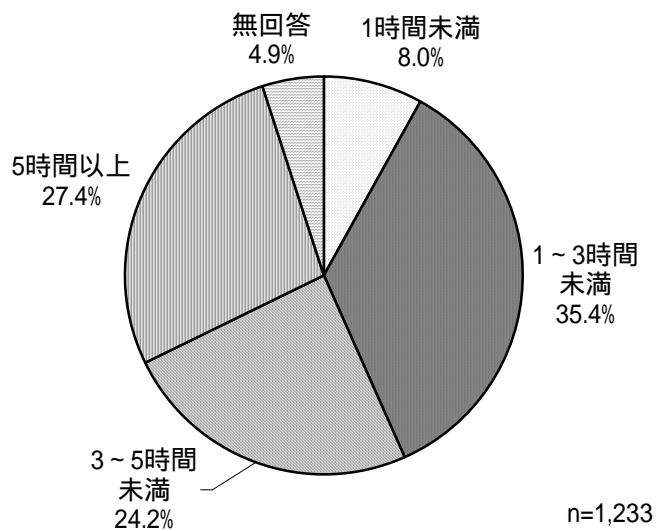
	件数	割合
15分未満	128	17.1%
15～30分未満	156	20.8%
30～45分未満	99	13.2%
45分～1時間未満	128	17.1%
1時間～1時間30分未満	167	22.3%
1時間30分～2時間未満	49	6.5%
2時間以上	2	0.3%
無回答	21	2.8%
合計	750	100.0%



問 11 家事や仕事・学校、通勤・通学、睡眠などの時間を除き、あなたが自由に使える時間は、一日のうちどのくらいですか。*仕事や学校に行かれている方は、行かれている通常の日(休みの日以外)でお答えください。(いずれか1つに)

回答者の一日のうち自由に使える時間は、「1~3時間未満」がもっとも多く35.4%、次いで「5時間以上」(27.4%)、「3~5時間未満」(24.2%)となっている。

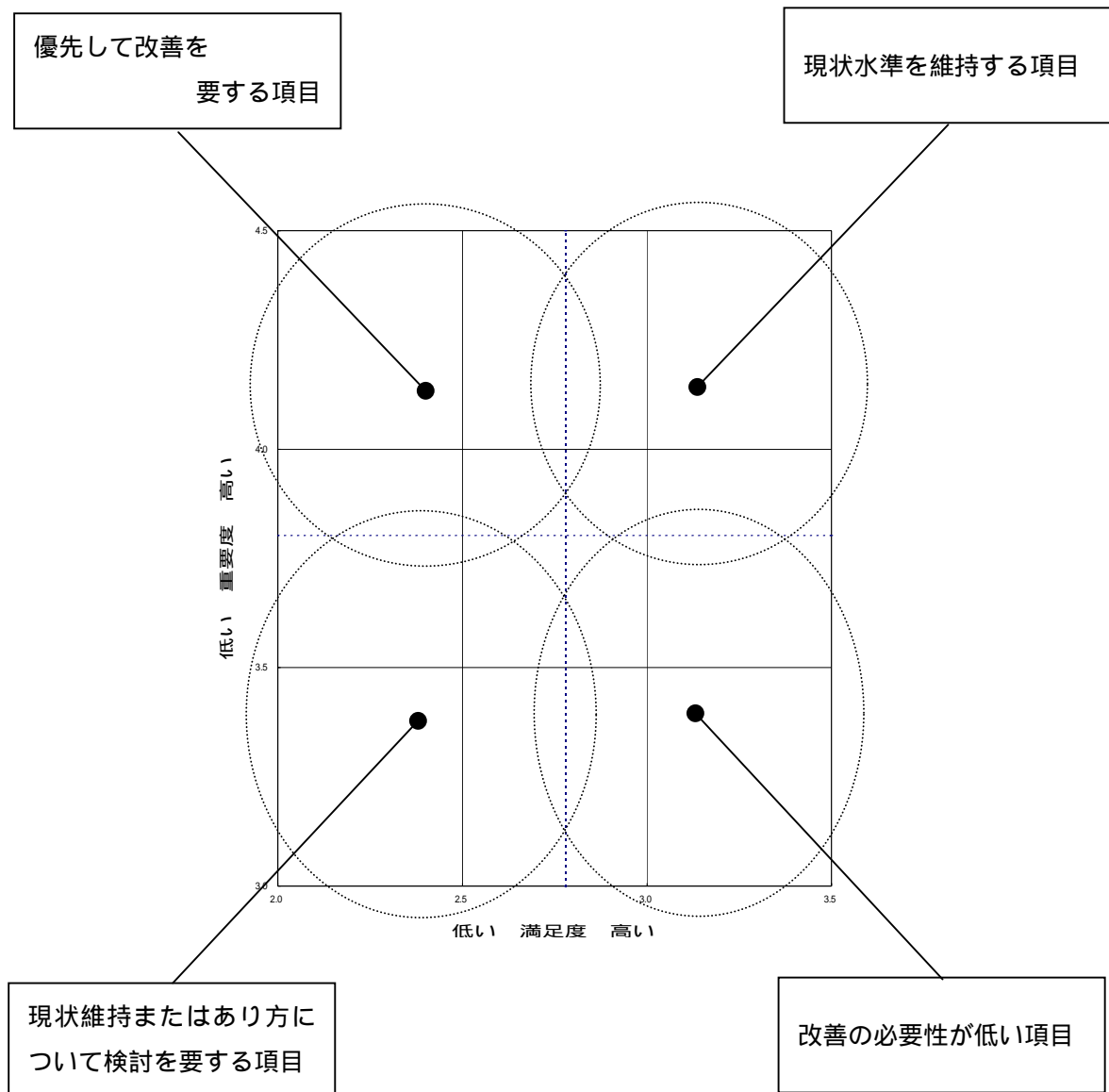
	件数	割合
1時間未満	99	8.0%
1~3時間未満	437	35.4%
3~5時間未満	299	24.2%
5時間以上	338	27.4%
無回答	60	4.9%
合計	1,233	100.0%



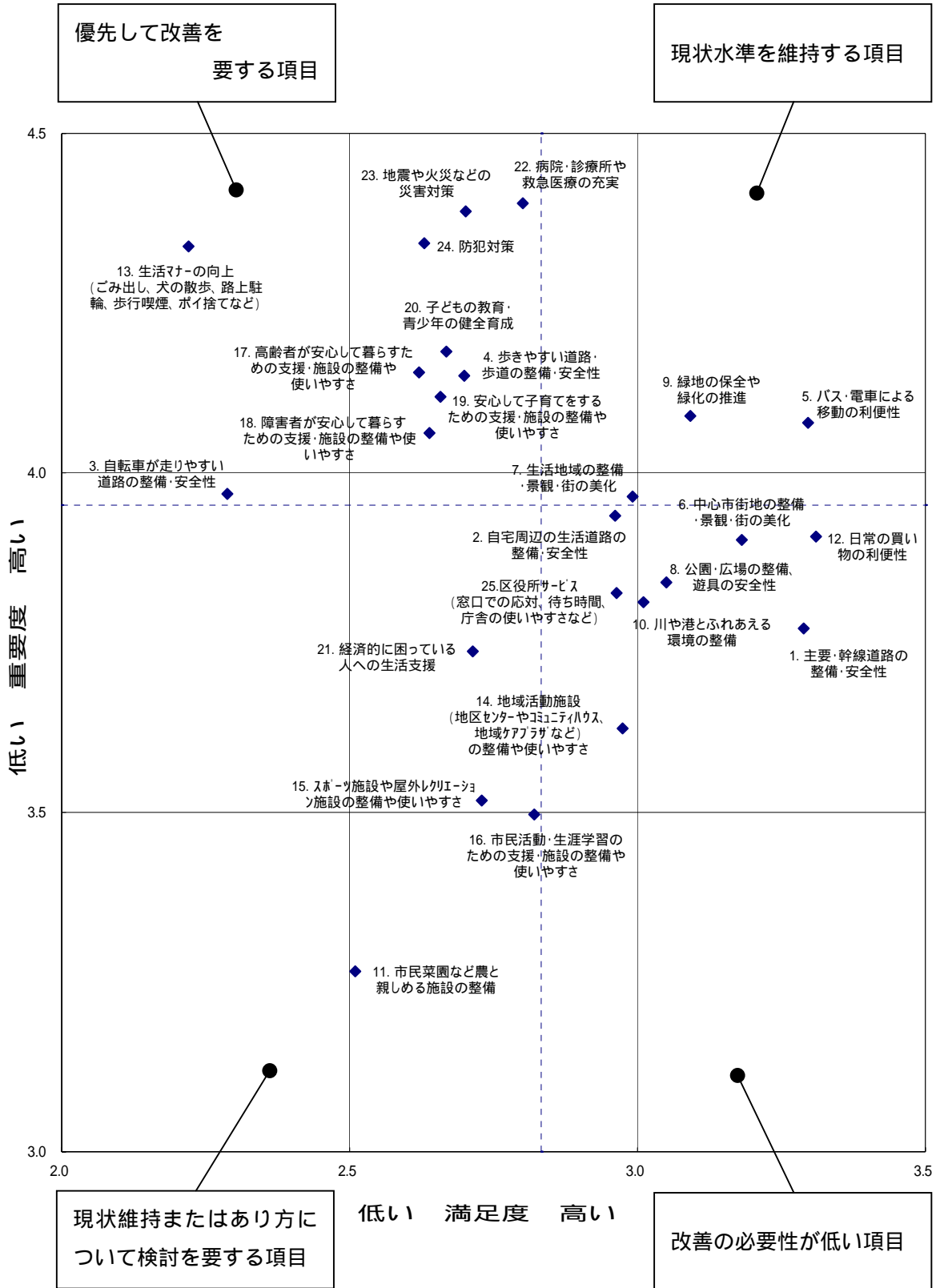
2. 中区の行政サービスについて

問 12 中区の行政サービスにおける以下の項目に関して、あなたの現在の満足度と、今後の重要度を5段階で教えてください。(各項目について、満足度と重要度1つずつに)

本設問においては、2ページに示す式によって質問ごとに数値を算出し、各項目の位置を散布図として表している。平均線で分類した領域ごとに、以下のようなことが言える。



散布図



満足度では、「日常の買い物の利便性」が3.310でもっとも高く、「生活マナーの向上(ごみ出し、犬の散歩、路上駐輪、歩行喫煙、ポイ捨てなど)」が2.220でもっとも低くなっている。

重要度では、「病院・診療所や救急医療の充実」が4.397でもっとも高く、「市民菜園など農と親しめる施設の整備」が3.266でもっとも低くなっている。

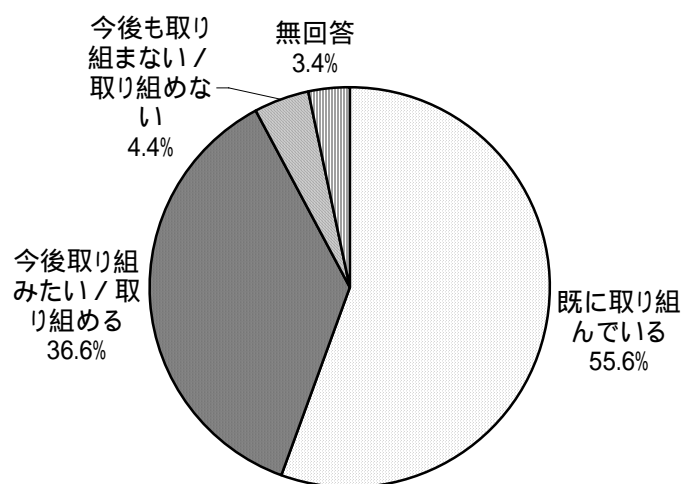
	満足度	重要度
1 主要・幹線道路の整備・安全性	3.289	3.771
2 自宅周辺の生活道路の整備・安全性	2.961	3.937
3 自転車が走りやすい道路の整備・安全性	2.288	3.969
4 歩きやすい道路・歩道の整備・安全性	2.699	4.143
5 バス・電車による移動の利便性	3.296	4.074
6 中心市街地の整備・景観・街の美化	3.181	3.901
7 生活地域の整備・景観・街の美化	2.992	3.965
8 公園・広場の整備・遊具の安全性	3.050	3.839
9 緑地の保全や緑化の推進	3.092	4.084
10 川や港とふれあえる環境の整備	3.010	3.809
11 市民菜園など農と親しめる施設の整備	2.510	3.266
12 日常の買い物の利便性	3.310	3.906
13 生活マナーの向上(ごみ出し、犬の散歩、路上駐輪、歩行喫煙、ポイ捨てなど)	2.220	4.334
14 地域活動施設(地区センターやコミュニティハウス、地域ケアプラザなど)の整備や使いやすさ	2.974	3.624
15 スポーツ施設や屋外レクリエーション施設の整備や使いやすさ	2.730	3.517
16 市民活動・生涯学習のための支援・施設の整備や使いやすさ	2.821	3.497
17 高齢者が安心して暮らすための支援・施設の整備や使いやすさ	2.620	4.148
18 障害者が安心して暮らすための支援・施設の整備や使いやすさ	2.639	4.059
19 安心して子育てをするための支援・施設の整備や使いやすさ	2.658	4.112
20 子どもの教育・青少年の健全育成	2.668	4.179
21 経済的に困っている人への生活支援	2.714	3.737
22 病院・診療所や救急医療の充実	2.801	4.397
23 地震や火災などの災害対策	2.702	4.385
24 防犯対策	2.630	4.338
25 区役所サービス(窓口での対応、待ち時間、庁舎の使いやすさなど)	2.964	3.823

3. 「温暖化対策」について

問 13 あなたは、風呂敷やマイバッグ持参によるレジ袋削減といった「エコライフの実践」について、どのようにお考えですか。(いずれか1つに)

エコライフの実践への取り組みについては、「既に取り組んでいる」がもっとも多く55.6%、次いで「今後取り組みたい/取り組める」(36.6%)、「今後も取り組まない/取り組めない」(4.4%)となっている。

	件数	割合
既に取り組んでいる	686	55.6%
今後取り組みたい/取り組める	451	36.6%
今後も取り組まない/取り組めない	54	4.4%
無回答	42	3.4%
合計	1,233	100.0%

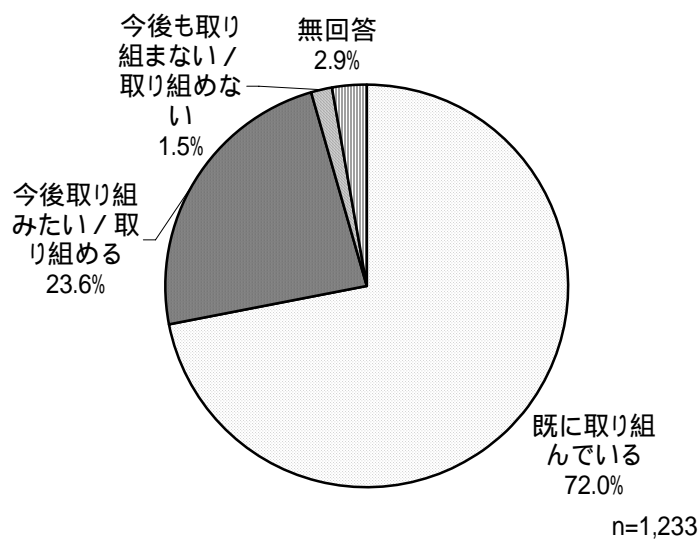


n=1,233

問 14 あなたは、冷房や暖房の温度を適切に調整する、待機電力の削減、省エネに配慮した調理、こまめな消灯などといった「省エネ行動」について、どのようにお考えですか。(いずれか1つに)

省エネ行動への取り組みについては、「既に取り組んでいる」がもっとも多く 71.9%、次いで「今後取り組みたい/取り組める」(23.6%)、「今後も取り組みたくない/取り組めない」(1.5%)となっている。

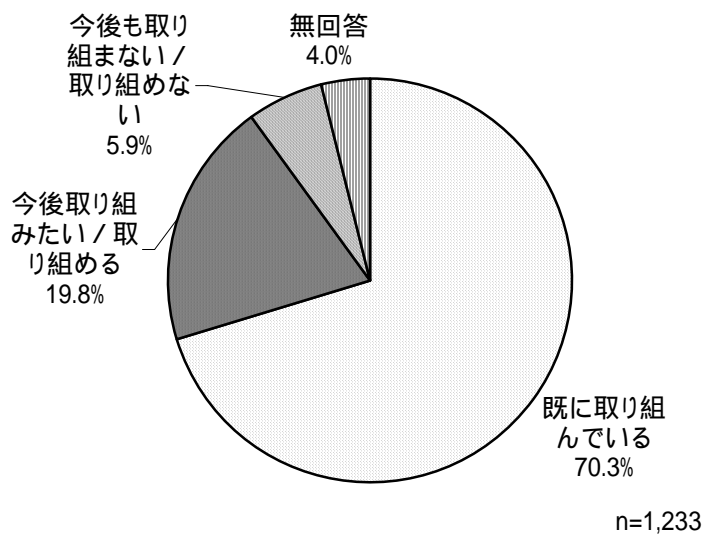
	件数	割合
既に取り組んでいる	887	71.9%
今後取り組みたい/取り組める	291	23.6%
今後も取り組みたくない/取り組めない	19	1.5%
無回答	36	2.9%
合計	1,233	100.0%



問 15 あなたは、自動車の利用を控え、鉄道やバスなどの公共交通機関を利用するといった「公共交通機関等の利用」について、どのようにお考えですか。(いずれか1つに)

公共交通機関等の利用への取り組みについては、「既に取り組んでいる」がもっとも多く70.3%、次いで「今後取り組みたい/取り組める」(19.8%)、「今後も取り組まない/取り組めない」(5.9%)となっている。

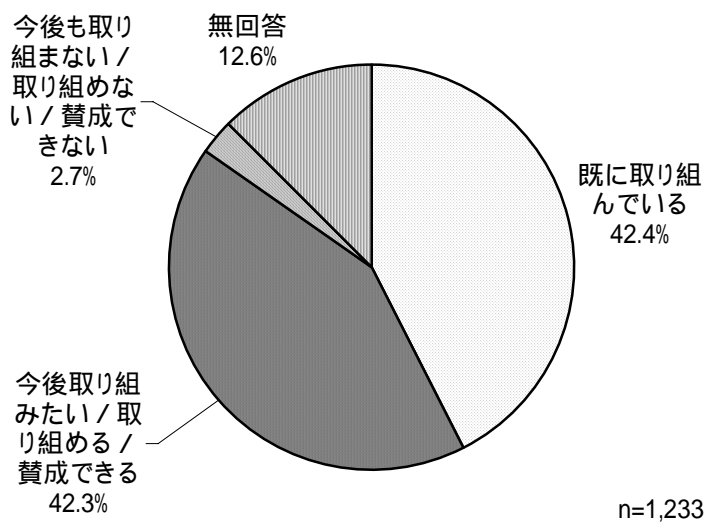
	件数	割合
既に取り組んでいる	867	70.3%
今後取り組みたい/取り組める	244	19.8%
今後も取り組まない/取り組めない	73	5.9%
無回答	49	4.0%
合計	1,233	100.0%



問 16 あなたは、急発進や空ぶかし、アイドリングの抑制、タイヤ空気圧等の点検・整備を行うといった「エコドライブの実践」について、どのようにお考えですか。(いずれか1つに)

エコドライブの実践への取り組みについては、「既に取り組んでいる」がもっとも多く42.4%、次いで「今後取り組みたい/取り組める/賛成できる」(42.3%)、「今後も取り組まない/取り組めない/賛成できない」(2.7%)となっている。

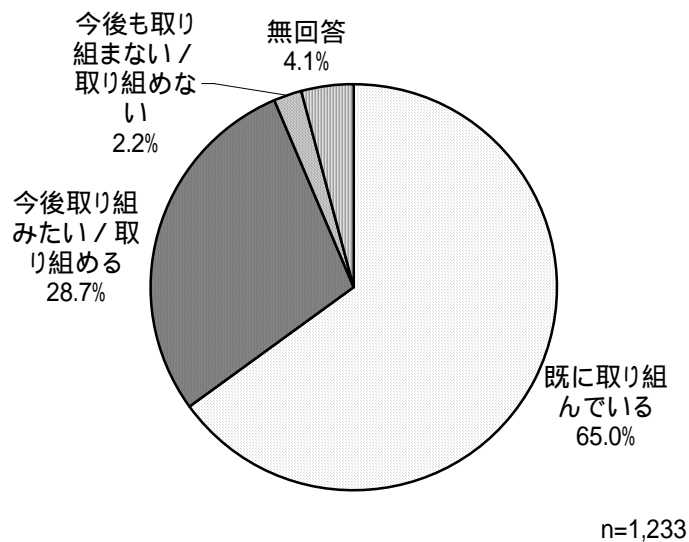
	件数	割合
既に取り組んでいる	523	42.4%
今後取り組みたい/取り組める/賛成できる	522	42.3%
今後も取り組まない/取り組めない/賛成できない	33	2.7%
無回答	155	12.6%
合計	1,233	100.0%



問 17 あなたは、ごみの減量化・資源化などの3 R行動（リデュース：発生抑制、リユース：再利用、リサイクル：再生利用）を実践するといった「G30の推進によるごみ削減」について、どのようにお考えですか。（いずれか1つに ）

G30の推進によるごみ削減への取り組みについては、「既に取り組んでいる」がもっとも多く65.0%、次いで「今後取り組みたい/取り組める」(28.7%)、「今後も取り組まない/取り組めない」(2.2%)となっている。

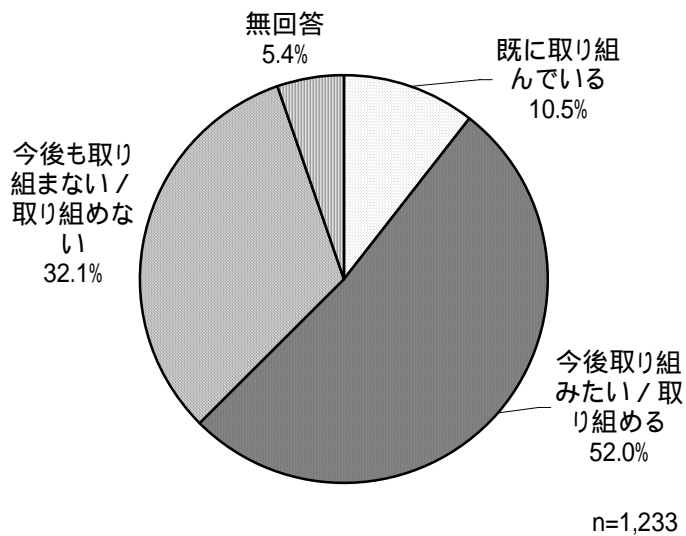
	件数	割合
既に取り組んでいる	801	65.0%
今後取り組みたい/取り組める	354	28.7%
今後も取り組まない/取り組めない	27	2.2%
無回答	51	4.1%
合計	1,233	100.0%



問 18 ヒートアイランド対策の1つに、ツル性の植物を窓の外に繁らせ日よけとする「緑のカーテン」と呼ばれる取り組みがありますが、あなたは「緑のカーテン」づくりについて、どのようにお考えですか。(いずれか1つに)

「緑のカーテン」づくりへの取り組みについては、「今後取り組みたい/取り組める」がもっとも多く 52.0%、次いで「今後も取り組まない/取り組めない」(32.1%)、「既に取り組んでいる」(10.5%)となっている。

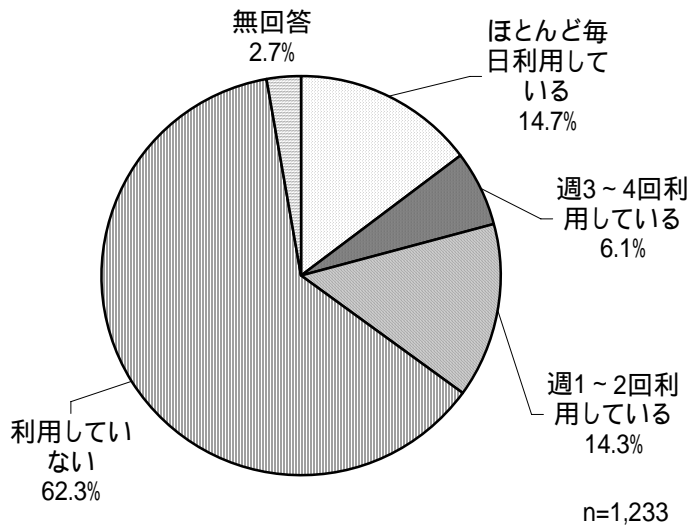
	件数	割合
既に取り組んでいる	130	10.5%
今後取り組みたい/取り組める	641	52.0%
今後も取り組まない/取り組めない	396	32.1%
無回答	66	5.4%
合計	1,233	100.0%



問 19 温暖化防止の取り組みの一環として、自転車の利用が見直されていますが、あなたは普段どの程度自転車を利用していますか。(いずれか1つに)

自転車の利用頻度については、「利用していない」がもっとも多く 62.3%、次いで「ほとんど毎日利用している」(14.7%)、「週1~2回利用している」(14.3%)となっている。

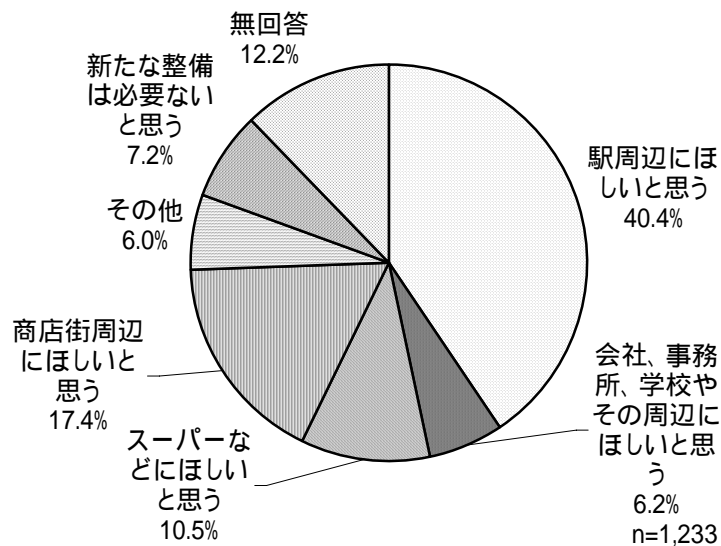
	件数	割合
ほとんど毎日利用している	181	14.7%
週3~4回利用している	75	6.1%
週1~2回利用している	176	14.3%
利用していない	768	62.3%
無回答	33	2.7%
合計	1,233	100.0%



問 20 あなたは温暖化防止への取り組みとして、自転車を今より積極的に利用したい場合、どのような場所に駐輪場を整備してほしいと思いますか。(いずれか1つに)

駐輪場の整備意向については、「駅周辺にほしいと思う」がもっとも多く 40.4%、次いで「商店街周辺にほしいと思う」(17.4%)、「スーパーなどにほしいと思う」(10.5%)となっている。

	件数	割合
駅周辺にほしいと思う	498	40.4%
会社、事務所、学校やその周辺にほしいと思う	76	6.2%
スーパーなどにほしいと思う	130	10.5%
商店街周辺にほしいと思う	215	17.4%
その他	74	6.0%
新たな整備は必要ないと思う	89	7.2%
無回答	151	12.2%
合計	1,233	100.0%

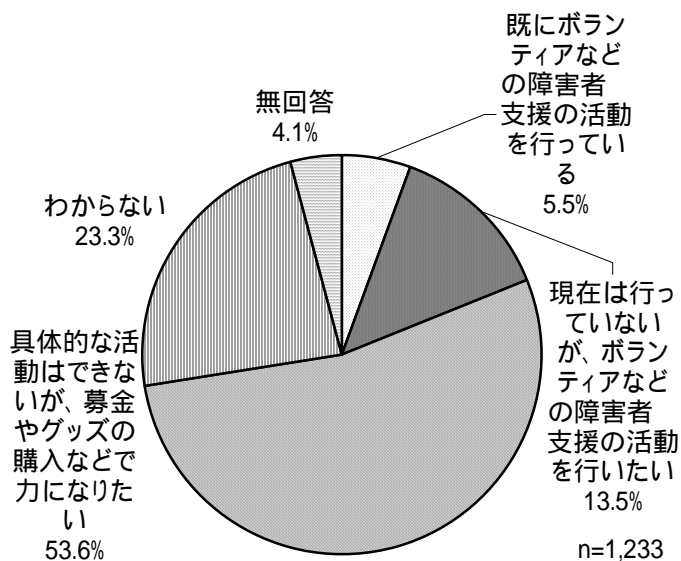


4. 「障害者福祉」について

問 21 中区では障害のある人もない人も共に暮らせる地域づくりを目指しています。
あなたは日頃、障害者に対する支援について、どのようなお考えをお持ちですか。(いずれか1つに)

障害者に対する支援については、「具体的な活動はできないが、募金やグッズの購入などで力になりたい」がもっとも多く 53.6%、次いで「わからない」(23.3%)、「現在は行っていないが、ボランティアなどの障害者支援の活動を行いたい」(13.5%)となっている。

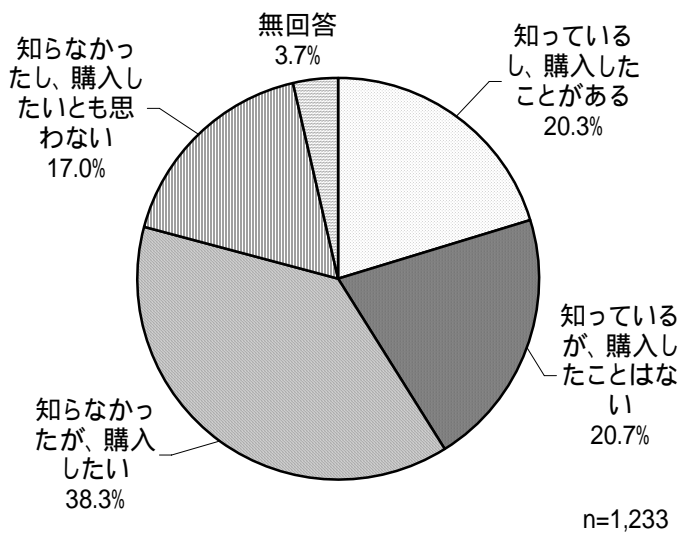
	件数	割合
既にボランティアなどの障害者支援の活動を行っている	68	5.5%
現在は行っていないが、ボランティアなどの障害者支援の活動を行いたい	167	13.5%
具体的な活動はできないが、募金やグッズの購入などで力になりたい	661	53.6%
わからない	287	23.3%
無回答	50	4.1%
合計	1,233	100.0%



問 22 中区では障害者が地域作業所等で製作している製品（クッキーなどの菓子類やアクセサリなどの雑貨類等）を「ポレポレグッズ」と名付け、区役所 1 階や松坂屋 7 階で販売しています。あなたは「ポレポレグッズ」を知っていますか。（いずれか 1 つに ）

「ポレポレグッズ」の認知度については、「知らなかったが、購入したい」がもっとも多く 38.3%、次いで「知っているが、購入したことはない」(20.7%)、「知っているし、購入したことがある」(20.3%) となっている。

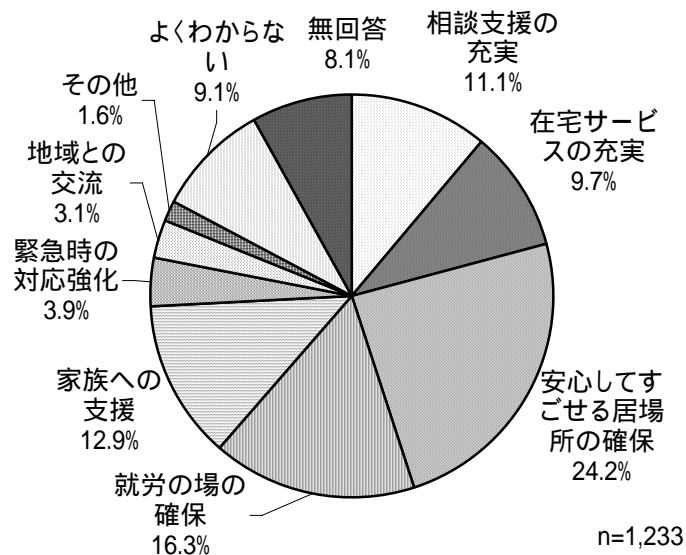
	件数	割合
知っているし、購入したことがある	250	20.3%
知っているが、購入したことはない	255	20.7%
知らなかったが、購入したい	472	38.3%
知らなかったし、購入したいとも思わない	210	17.0%
無回答	46	3.7%
合計	1,233	100.0%



問 23 現在、中区では障害のある方が安心して暮らすことができるよう、生活や活動支援のための拠点施設（全国的にも先駆的な3障害に一体的に対応するサービス提供施設）の整備を進めていますが、今後障害者へのサービスとして、どのようなことが必要だと思いますか。（いずれか1つに ）

障害者に必要なサービスについては、「安心してすごせる居場所の確保」がもっとも多く24.2%、次いで「就労の場の確保」(16.3%)、「家族への支援」(12.9%)となっている。

	件数	割合
相談支援の充実	137	11.1%
在宅サービスの充実	119	9.7%
安心してすごせる居場所の確保	299	24.2%
就労の場の確保	201	16.3%
家族への支援	159	12.9%
緊急時の対応強化	48	3.9%
地域との交流	38	3.1%
その他	20	1.6%
よくわからない	112	9.1%
無回答	100	8.1%
合計	1,233	100.0%

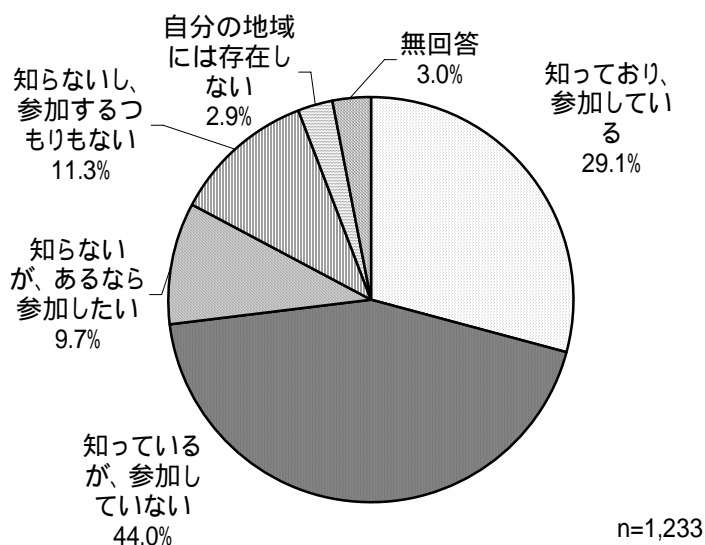


5. 「地域とのかかわり」について

問 24 あなたはお住まいの地域で行われている「自治会・町内会活動（老人クラブや子ども会等を含む）」を知っていますか。（いずれか1つに ）

自治会・町内会活動（老人クラブや子ども会等を含む）の認知度については、「知っているが、参加していない」がもっとも多く 44.0%、次いで「知っており、参加している」（29.1%）、「知らないし、参加するつもりもない」（11.3%）となっている。

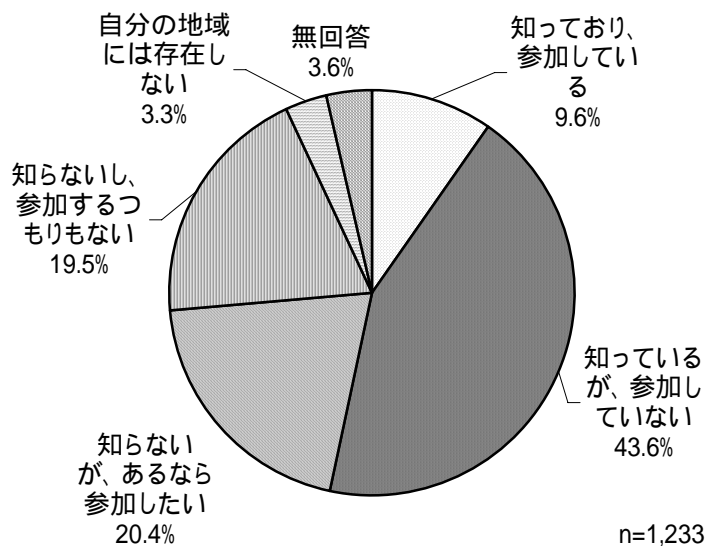
	件数	割合
知っており、参加している	359	29.1%
知っているが、参加していない	543	44.0%
知らないが、あるなら参加したい	119	9.7%
知らないし、参加するつもりもない	139	11.3%
自分の地域には存在しない	36	2.9%
無回答	37	3.0%
合計	1,233	100.0%



問 25 あなたはお住まいの地域で行われている福祉や防犯活動等、各種の「ボランティア活動」を知っていますか。(いずれか1つに)

各種ボランティア活動の認知度については、「知っているが、参加していない」がもっとも多く 43.6%、次いで「知らないが、あるなら参加したい」(20.4%)、「知らないし、参加するつもりもない」(19.5%)となっている。

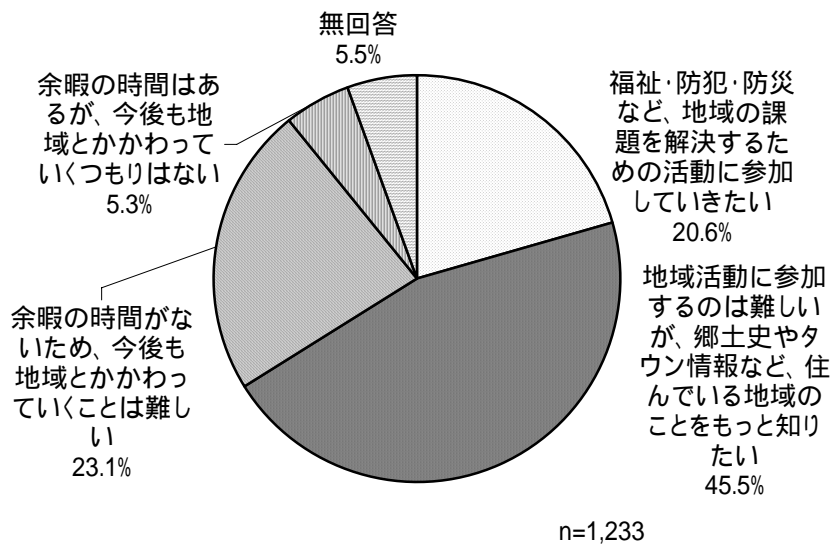
	件数	割合
知っており、参加している	118	9.6%
知っているが、参加していない	538	43.6%
知らないが、あるなら参加したい	251	20.4%
知らないし、参加するつもりもない	241	19.5%
自分の地域には存在しない	41	3.3%
無回答	44	3.6%
合計	1,233	100.0%



問 26 あなたは今後、どのような形でお住まいの地域とかかわっていきたいと考えていますか。(もっとも近いものいずれか1つに)

地域とのかかわりへの考え方については、「地域活動に参加するのは難しいが、郷土史やタウン情報など、住んでいる地域のことをもっと知りたい」がもっとも多く45.5%、次いで「余暇の時間がないため、今後も地域とかかわっていくことは難しい」(23.1%)、「福祉・防犯・防災など、地域の課題を解決するための活動に参加していきたい」(20.6%)となっている。

	件数	割合
福祉・防犯・防災など、地域の課題を解決するための活動に参加していきたい	254	20.6%
地域活動に参加するのは難しいが、郷土史やタウン情報など、住んでいる地域のことをもっと知りたい	561	45.5%
余暇の時間がないため、今後も地域とかかわっていくことは難しい	285	23.1%
余暇の時間はあるが、今後も地域とかかわっていくつもりはない	65	5.3%
無回答	68	5.5%
合計	1,233	100.0%

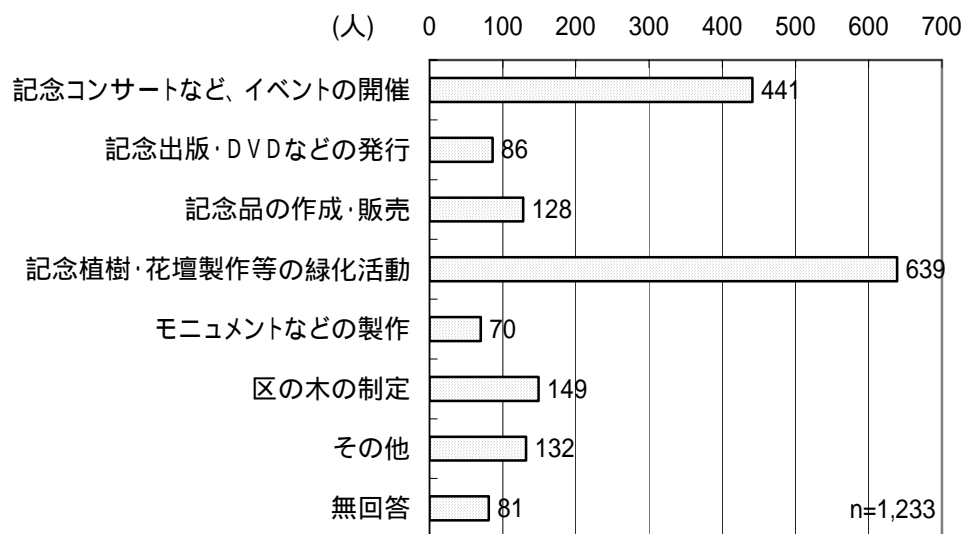


6. 「横浜開港 150 周年」について

問 27 あなたは中区が実施する開港 150 周年記念事業として、どのようなことを実施するのが良いと思いますか。(あてはまるものに2つまで)

中区が実施すべき開港 150 周年記念事業については、「記念植樹・花壇製作等の緑化活動」がもっとも多く 51.8%、次いで「記念コンサートなど、イベントの開催」(35.8%)、「区の木の設定」(12.1%)となっている。

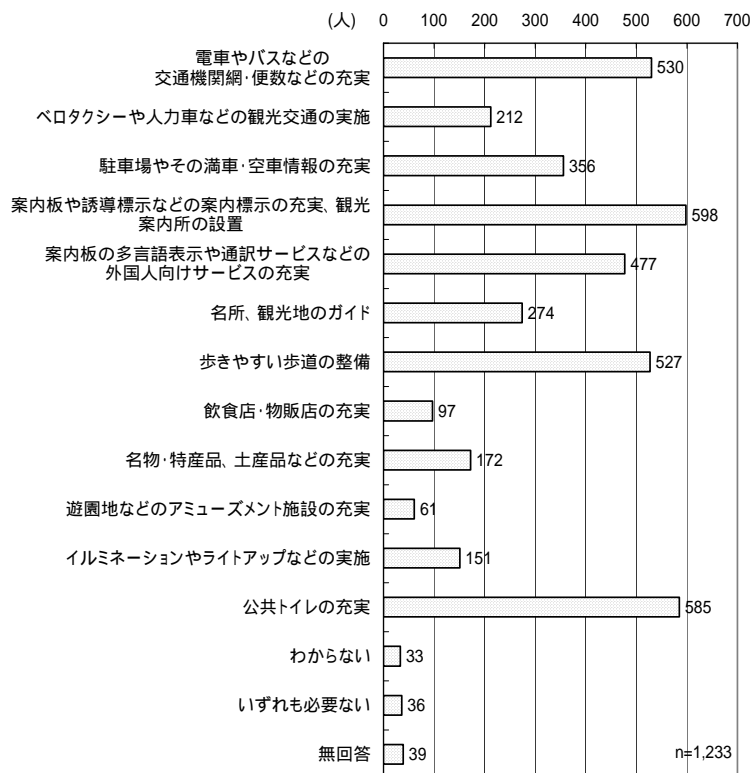
	件数	割合
記念コンサートなど、イベントの開催	441	35.8%
記念出版・DVDなどの発行	86	7.0%
記念品の作成・販売	128	10.4%
記念植樹・花壇製作等の緑化活動	639	51.8%
モニュメントなどの製作	70	5.7%
区の木の設定	149	12.1%
その他	132	10.7%
無回答	81	6.6%
合計	1,726	140.1%



問 28 市を代表する観光地である中区には、開港 150 周年に向けて今後ますます観光客などの来訪者が増加することが予想されます。あなたはこうした来訪者に対してどのようなサービスが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに)

来訪者へのサービスとして必要なことについては、「案内板や誘導標示などの案内標示の充実、観光案内所の設置」がもっとも多く 48.5%、次いで「公共トイレの充実」(47.4%)、「電車やバスなどの交通機関網・便数などの充実」(43.0%)となっている。

	件数	割合
電車やバスなどの交通機関網・便数などの充実	530	43.0%
ペロタクシーや人力車などの観光交通の実施	212	17.2%
駐車場やその満車・空車情報の充実	356	28.9%
案内板や誘導標示などの案内標示の充実、観光案内所の設置	598	48.5%
案内板の多言語表示や通訳サービスなどの外国人向けサービスの充実	477	38.7%
名所、観光地のガイド	274	22.2%
歩きやすい歩道の整備	527	42.7%
飲食店・物販店の充実	97	7.9%
名物・特産品、土産品などの充実	172	13.9%
遊園地などのアミューズメント施設の充実	61	4.9%
イルミネーションやライトアップなどの実施	151	12.2%
公共トイレの充実	585	47.4%
わからない	33	2.7%
いずれも必要ない	36	2.9%
無回答	39	3.2%
合計	4,148	336.3%

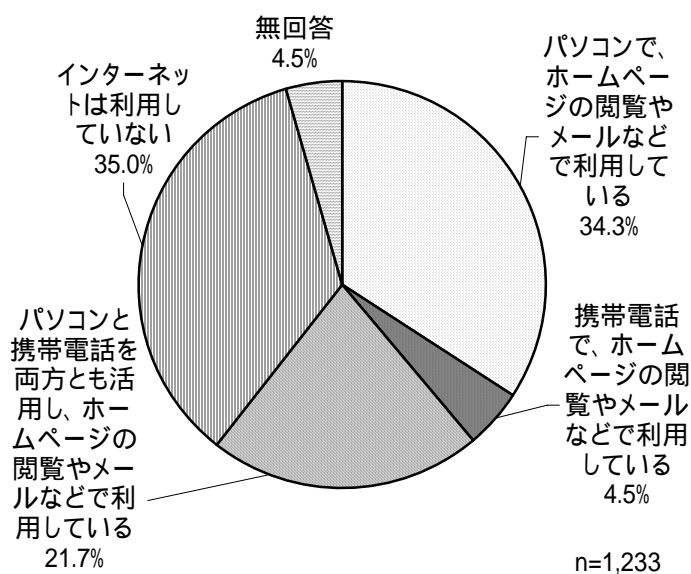


7. 「インターネットの利用」について

問 29 あなたはインターネットを利用していますか。(いずれか1つに)

インターネットの利用状況については、「インターネットは利用していない」がもっとも多く 35.0%、次いで「パソコンで、ホームページの閲覧やメールなどで利用している」(34.3%)、「パソコンと携帯電話を両方とも活用し、ホームページの閲覧やメールなどで利用している」(21.7%)となっている。

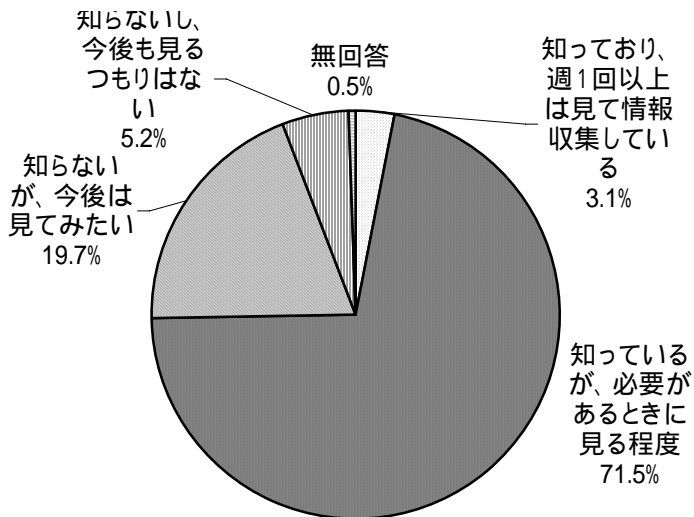
	件数	割合
パソコンで、ホームページの閲覧やメールなどで利用している	423	34.3%
携帯電話で、ホームページの閲覧やメールなどで利用している	56	4.5%
パソコンと携帯電話を両方とも活用し、ホームページの閲覧やメールなどで利用している	268	21.7%
インターネットは利用していない	431	35.0%
無回答	55	4.5%
合計	1,233	100.0%



問 30 あなたは中区役所や横浜市役所のホームページを知っていますか。(いずれか1つに)【問 29 で 「 1 ～ 3 」 に をつけた方がのみが回答】

中区役所や横浜市役所のホームページの認知度については、「知っているが、必要があるときに見る程度」がもっとも多く 71.5%、次いで「知らないが、今後は見てみたい」(19.7%)、「知らないし、今後は見るつもりはない」(5.2%)となっている。

	件数	割合
知っており、週1回以上は見ている	23	3.1%
知っているが、必要があるときに見る程度	534	71.5%
知らないが、今後は見てみたい	147	19.7%
知らないし、今後は見るつもりはない	39	5.2%
無回答	4	0.5%
合計	747	100.0%



n=747

調查結果

1. 回答者の基本属性について

世帯構成（同居家族）について

世帯構成について、2世代（子ども15才以上）、夫婦のみの世帯の割合が高く、核家族化の傾向は変わらないが、平成14年度の調査と比較すると、単身者（ひとり暮らし）の割合が若干高くなっている。

居住地別の特徴としては、A・B地区といった都心部で単身者の割合が高いほか、C地区では夫婦のみの世帯の割合が高い傾向にある。

居住形態別の特徴としては、単身者は賃貸（マンション等共同住宅）、夫婦のみの世帯は持ち家（マンション等共同住宅）の割合が高い傾向にある。

同居家族における設問を世帯構成別に分類すると、「2世代（子ども15才以上）」がもっとも多く26.8%、次いで「夫婦のみの世帯」（24.9%）、「単身」（19.3%）となっている。3世代に関しては、「3世代（子ども15才以上）」が4.4%、「3世代（子ども15才未満を含む）」が2.4%となっている。

年齢別にみると、20歳代、50歳代、60歳代では「2世代（子ども15才以上）」、30歳代、40歳代では「2世代（子ども15才未満を含む）」、70歳以上では「夫婦のみの世帯」の割合がもっとも高くなっている。

居住地別にみると、A地区、B地区では「単身」、C地区では「夫婦のみの世帯」、D地区、E地区、F地区では「2世代（子ども15才以上）」の割合がもっとも高くなっている。

居住形態別にみると、持ち家（一戸建て）、賃貸（一戸建て）では「2世代（子ども15才以上）」、持ち家（マンション等共同住宅）では「夫婦のみの世帯」、賃貸（マンション等共同住宅）では「単身」の割合がもっとも高くなっている。

居住年数について

居住年数について、約3割が30年以上区内にいることがわかるが、年齢別にみると30歳代で5～10年未満、40歳代で10～20年未満の割合が高い傾向にあり、もう一つの層として20～30歳代で中区に転入してくる層がいると推測される。

居住地別の特徴としては、A・B地区といった都心部で居住年数10年未満の割合が高い傾向にある。

回答者の居住年数は、「30年以上」がもっとも多く34.4%、次いで「10～20年未満」（15.3%）、「5～10年未満」（14.9%）となっている。

年齢別にみると、20歳代では「20～30年未満」、30歳代では「5～10年未満」、40歳代では「10～20年未満」、50歳代、60歳代、70歳以上では「30年以上」の割合がもっとも高くなっている。

居住地別にみると、A地区では「3～5年未満」、「5～10年未満」、B地区では「5～10年未満」、C地区、D地区、E地区、F地区では「30年以上」の割合がもっとも高くなっている。

居住理由について

居住理由について、約 3 割が住環境の良さを上げている。年齢別にみると特徴が顕著に表れており、20 歳代では親の代から住んでいるから、30 歳代では通勤に便利だから、40 歳以上で住環境が良いからの割合が高い傾向にある。

回答者の中区に住むようになった理由は、「住環境が良いと思ったから」がもっとも多く 30.9%、次いで「通勤や通学に便利だったから」(26.8%)、「親の代から住んでいて、同居しているから」(24.8%)となっている。

年齢別にみると、20 歳代では「親の代から住んでいて、同居しているから」、30 歳代では「通勤や通学に便利だったから」、40 歳代、50 歳代、70 歳以上では「住環境が良いと思ったから」、60 歳代では「その他」の割合がもっとも高くなっている。

通勤・通学場所、通勤・通学時間について

通勤・通学場所、通勤・通学時間について、通勤・通学者の中では中区内、東京都内にそれぞれ約 3 割が通勤・通学をしており、2 つが大きな山となっている。

居住地別の特徴（「通勤・通学はしていない」を除く）としては、A・E 地区では中区内に 30 分未満で通勤・通学をしている割合が高く、その他の地区は東京都内に 45 分～1 時間 30 分未満で通勤・通学をしている割合が高い傾向にある。

自由時間別（「通勤・通学はしていない」を除く）でも、東京都内など遠方に通勤・通学をしているほど、自由時間は少ない傾向にある。

回答者の通勤・通学場所は、「通勤・通学はしていない」がもっとも多く 26.4%、次いで「中区内」(20.1%)、「東京都内」(18.7%)となっている。通勤・通学時間については、「1 時間～1 時間 30 分未満」がもっとも多く 22.3%、次いで「15～30 分未満」(20.8%)、「15 分未満」・「45 分～1 時間未満」(17.1%)となっている。

通勤・通学時間について通勤・通学場所別にみると、中区内では「15 分未満」、横浜市内の他の区では「30～45 分未満」、神奈川県以外の市町村では「45 分～1 時間未満」、東京都内では「1 時間～1 時間 30 分未満」の割合がもっとも高くなっている。

通勤・通学場所（「通勤・通学はしていない」を除く）について居住地別にみると、A 地区、E 地区では「中区内」、B 地区、C 地区、D 地区、F 地区では「東京都内」の割合がもっとも高くなっている。一方、通勤・通学時間について居住地別にみると、A 地区では「15 分未満」、B 地区では「45 分～1 時間未満」、C 地区、D 地区、F 地区では「1 時間～1 時間 30 分未満」、E 地区では「15～30 分未満」の割合がもっとも高くなっている。

通勤・通学場所（「通勤・通学はしていない」を除く）について自由時間別にみると、1 時間未満、1～3 時間未満では「東京都内」、3～5 時間未満、5 時間以上では「中区内」の割合がもっとも高くなっている。一方、通勤・通学時間について自由時間別にみると、1 時間未満、1～3 時間未満では「(通勤・通学時間)1 時間～1 時間 30 分未満」、3～5 時間未満、5 時間以上では「(通勤・通学時間)15～30 分未満」の割合がもっとも高くなっている。

自由時間について

自由時間について、約 3 割が 1～3 時間未満となっている。年齢別にみると特徴が顕著に表れており、20～50 歳代では 1～3 時間未満が多いが、60～70 歳以上では 5 時間以上がもっとも多く、比較的自由な時間が増える傾向にある。その他、性別や居住地などでの目立った特徴はみられない。

回答者の一日のうち自由に使える時間は、「1～3 時間未満」がもっとも多く 35.4%、次いで「5 時間以上」(27.4%)、「3～5 時間未満」(24.2%)となっている。

性別でみると、いずれにおいても「1～3 時間未満」の割合がもっとも高くなっている。

年齢別にみると、20 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代では「1～3 時間未満」、60 歳代、70 歳以上では「5 時間以上」の割合がもっとも高くなっている。

居住地別にみると、いずれの地区においても「1～3 時間未満」の割合がもっとも高くなっている。B 地区においては、同率で「5 時間以上」の割合ももっとも高くなっている。

2. 中区の行政サービスについて

満足度について

満足度については、「日常の買い物の利便性」が 3.310 でもっとも高く、次いで「バス・電車による移動の利便性」(3.296)、「主要・幹線道路の整備・安全性」(3.289)となっている。逆に「生活マナーの向上」は 2.220 でもっとも低く、次いで「自転車が走りやすい道路の整備・安全性」(2.288)、「市民菜園など農と親しめる施設の整備」(2.510)となっている。(P18・19 参照)

平成 14 年度の調査時と比較すると、「日常の買い物の利便性」、「バス・電車による移動の利便性」などは評価が高いまま維持しているが、「自転車が走りやすい道路の整備・安全性」については、平成 14 年度調査時も評価が低く、低い順位のままとなっている。

参考

平成 14 年度調査においては、「買い物の便利さ」、「鉄道による移動の便利さ」、「バスによる移動の便利さ」、「緑とふれあえる自然環境」などを満足とする割合が高く、「治安・防犯面の安全性」、「自転車による移動の安全性」、「自宅周辺の生活道路の整備状況・安全性」などを不満とする割合が高かった。

満足度の高い項目の比較

平成 20 年度調査		平成 14 年度調査	
1	日常の買い物の利便性	1	買い物の便利さ
2	バス・電車による移動の利便性	2	鉄道による移動の便利さ
3	主要・幹線道路の整備・安全性	3	バスによる移動の便利さ
4	中心市街地の整備・景観・街の美化	4	緑とふれあえる自然環境
5	緑地の保全や緑化の推進	5	通勤・通学の便利さ

満足度の低い項目の比較

平成 20 年度調査		平成 14 年度調査	
1	生活マナーの向上	1	治安・防犯面の安全性
2	自転車が走りやすい道路の整備・安全性	2	自転車による移動の安全性
3	市民菜園など農と親しめる施設の整備	3	自宅周辺の生活道路の整備状況・安全性
4	高齢者が安心して暮らすための支援・施設の整備や使いやすさ	4	障害者の暮らしやすさ
5	防犯対策	5	鉄道による移動の便利さ

平成 14 年度調査との比較においては、選択肢や設問内容が若干異なるため、あくまで参考として考察する。

居住地別の満足度の特徴について

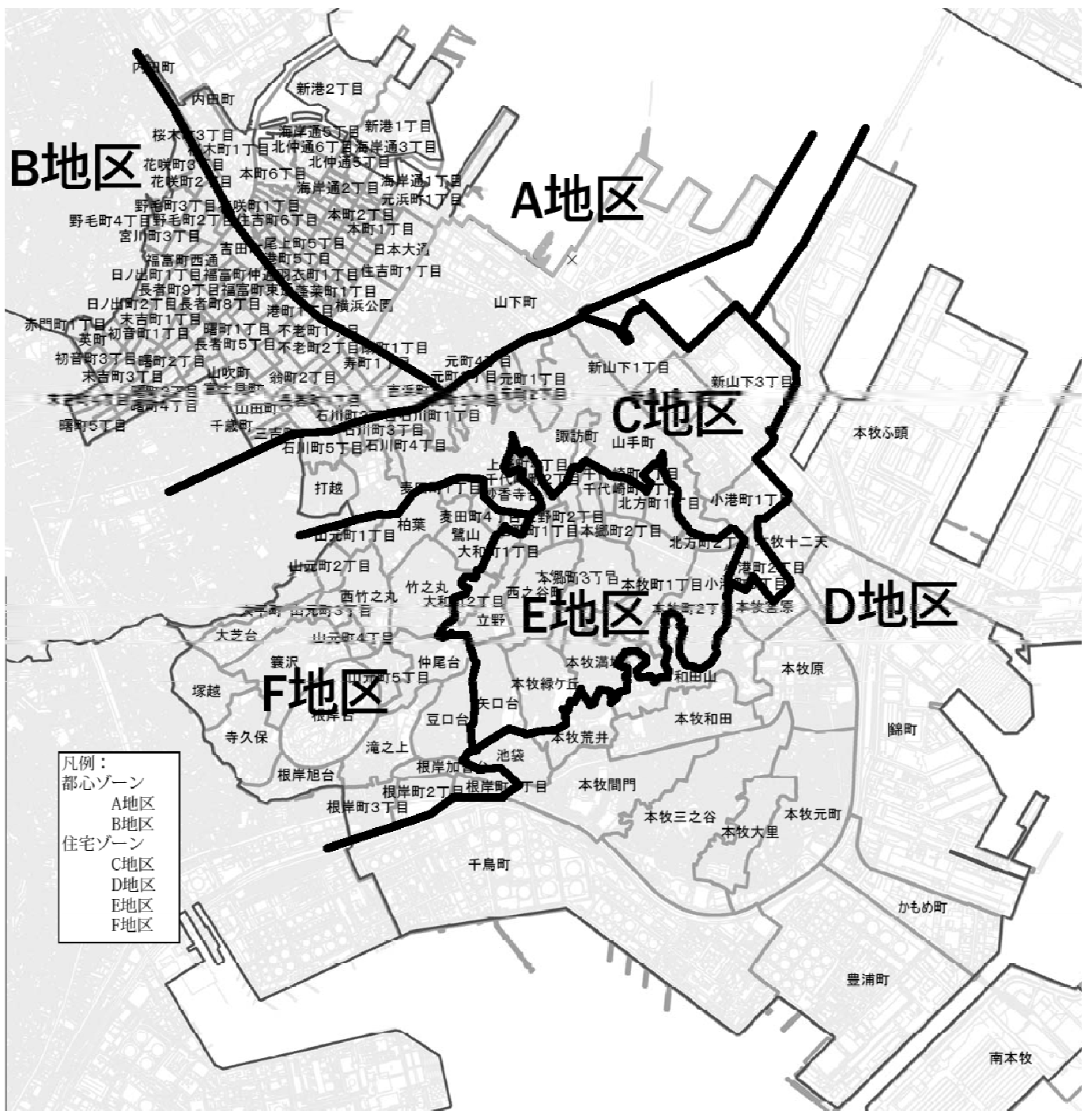
居住地別の満足度について、平成 14 年度調査時の類似する項目とともに、各項目別に満足度の高い地区と低い地区を以下に整理した。

今回の調査（平成 20 年度調査）においては、A 地区で「バス・電車による移動の利便性」や「主要・幹線道路の整備・安全性」など、満足とする項目が比較的多く、B 地区で「生活マナーの向上」や「防犯対策」など、不満とする項目が比較的多い傾向にある。

平成 14 年度の調査時と比較すると、満足度の高い（満足）地区、低い（不満）地区のいずれにおいても平成 14 年度調査時と同様の地区になっている（下表網掛け部分）項目が多い。

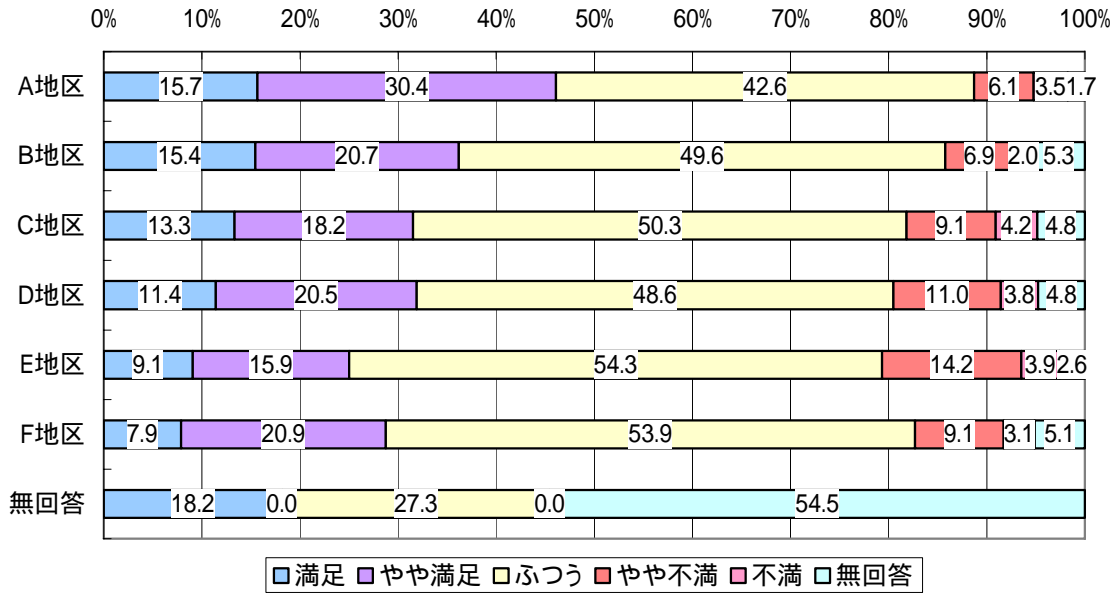
平成20年度調査			平成14年度調査		
	満足	不満		満足	不満
主要・幹線道路の整備・安全性	A 地区	E 地区	幹線道路の整備状況・安全性	D 地区	F 地区
自宅周辺の生活道路の整備・安全性	A 地区	E 地区	自宅周辺の生活道路の整備状況・安全性	D 地区	C 地区
自転車走りやすい道路の整備・安全性	D 地区	C 地区	自転車による移動の安全性	D 地区	F 地区
歩きやすい道路・歩道の整備・安全性	A 地区	E 地区	遊歩道や散策コースの整備状況	A 地区	B 地区
バス・電車による移動の利便性	A 地区	D 地区	鉄道による移動の利便性	B 地区	D 地区
バス・電車による移動の利便性	A 地区	D 地区	バスによる移動の利便性	A 地区	D 地区
中心市街地の整備・景観・街の美化	D 地区	B 地区	街並み・景観の美しさ	D 地区	B 地区
生活地域の整備・景観・街の美化	D 地区	B 地区	街並み・景観の美しさ	D 地区	B 地区
公園・広場の整備・遊具の安全性	A 地区	B 地区	公園・広場の整備状況	D 地区	C 地区
緑地の保全や緑化の推進	F 地区	B 地区	緑とふれあえる自然環境	F 地区	B 地区
川や港とふれあえる環境の整備	A 地区	D 地区	川や港とふれあえる環境	A 地区	E 地区
市民菜園など農と親しめる施設の整備	E 地区	A 地区	緑とふれあえる自然環境	F 地区	B 地区
日常の買い物の利便性	B 地区	F 地区	買い物の利便性	B 地区	F 地区
生活マナーの向上	A 地区	B 地区	生活環境の快適性	F 地区	B 地区
地域活動施設の整備や使いやすさ	D 地区	A 地区	地区センターなどの多目的利用施設	D 地区	A 地区
地域活動施設の整備や使いやすさ	D 地区	A 地区	町内会館や集会所など身近な施設	D 地区	A 地区
スポーツ施設や屋外レクリエーション施設の整備や使いやすさ	D 地区	A 地区	スポーツ・レクリエーション施設	D 地区	A 地区
市民活動・生涯学習のための支援・施設の整備や使いやすさ	F 地区	A 地区	生涯学習を支援する施設	D 地区	A 地区
高齢者が安心して暮らすための支援・施設の整備や使いやすさ	D 地区	C 地区	高齢者の暮らしやすさ	D 地区	C 地区
障害者が安心して暮らすための支援・施設の整備や使いやすさ	D 地区	C 地区	障害者の暮らしやすさ	D 地区	A 地区
安心して子育てをするための支援・施設の整備や使いやすさ	D 地区	C 地区	子育てのしやすさ	D 地区	A 地区
子どもの教育・青少年の健全育成	A 地区	B 地区	子供の教育環境	F 地区	B 地区
経済的に困っている人への生活支援	A 地区	C 地区	-	-	-
病院・診療所や救急医療の充実	A 地区	F 地区	医療・福祉サービス	C 地区	B 地区
地震や火災などの災害対策	A 地区	E 地区	地震・火災など防災面の安全性	C 地区	E 地区
防犯対策	A 地区	B 地区	治安・防犯面の安全性	F 地区	B 地区
区役所サービス	A 地区	C 地区	-	-	-

平成 14 年度調査との比較においては、選択肢や設問内容が若干異なるため、あくまで参考として考察する。平成 20 年度調査における満足度の高低（満足・不満）は、P2 の式によって算出した数値により整理した。

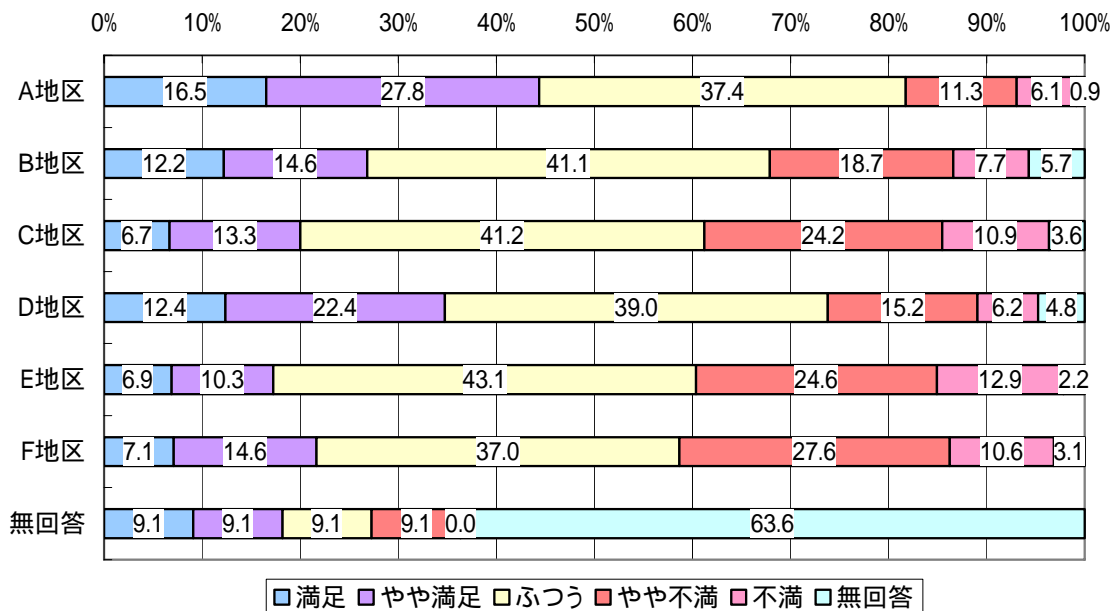


ゾーン区分	地区区分	地区の特性・課題など
1 都心ゾーン	A地区	該当連合：関内、第1北部(一部)、第2(一部)(関内) ・観光・宿泊・業務(新港、海岸通り、北仲通、日本大通、山下町など) ・飲食・商業・業務(港町、尾上町、住吉町、相生町、弁天通、南仲通など)
	B地区	該当連合：1中野、埋め地、第1北部(大部分)(関外) ・飲食・商業などの盛り場(野毛から伊勢佐木町まで) ・業務：居住(大船公園の南側)
2 住宅ゾーン	C地区	該当連合：石川町越、第2(一部)、第3(一部)、第4(元町・山手)、北部(一部)、第6(一部) ・飲食・商業などの商店街(元町) マンション/ヒコが邸宅な居住(山手) ・山手のふもとへの臨海部で進行する居住(新山下、小港)
	D地区	該当連合：新本牧、本牧根岸(大部分)(本牧) ・三楽園・市民公園などを待つ旧市街(本牧元町など) ・米軍基地跡地開発の新本牧(本牧和田、本牧原など) ・臨海部の準工業地帯内の住宅団地(本牧ポート/ハイツ)
	E地区	該当連合：第4南部、第4北部(大部分)、第3(一部)(本牧北) ・商店街を持つ高層化した旧市街
	F地区	該当連合：第6(大部分)、第3(一部)、本牧根岸(一部)(根岸) ・環状道路や密集住宅が多い旧市街(仲尾台、山元町など) ・根岸森林公園を持つマンション部分(根岸旭台など)

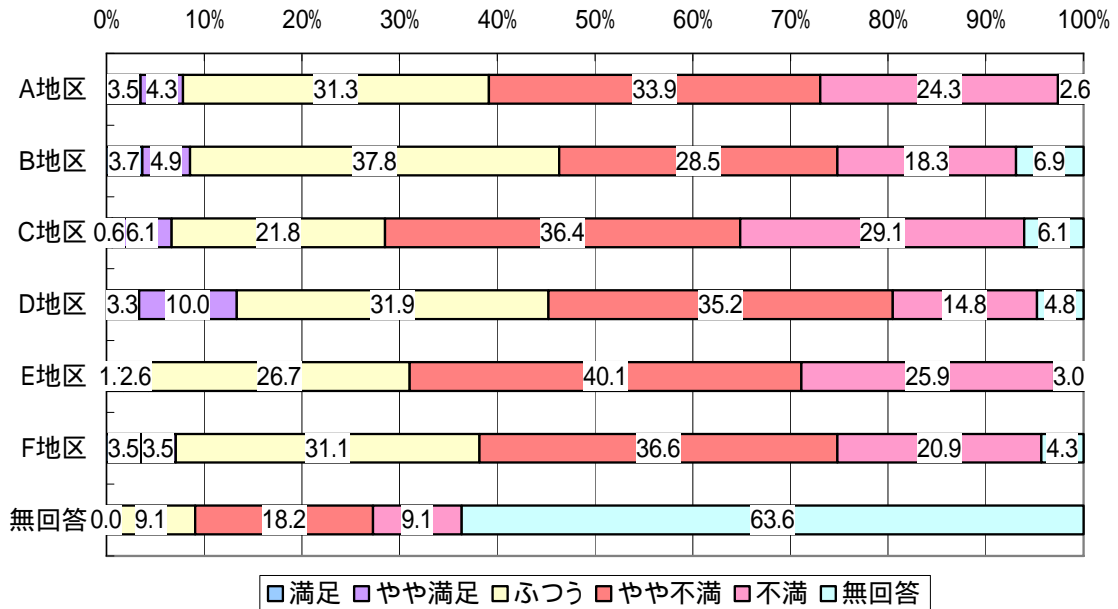
1 主要・幹線道路の整備・安全性



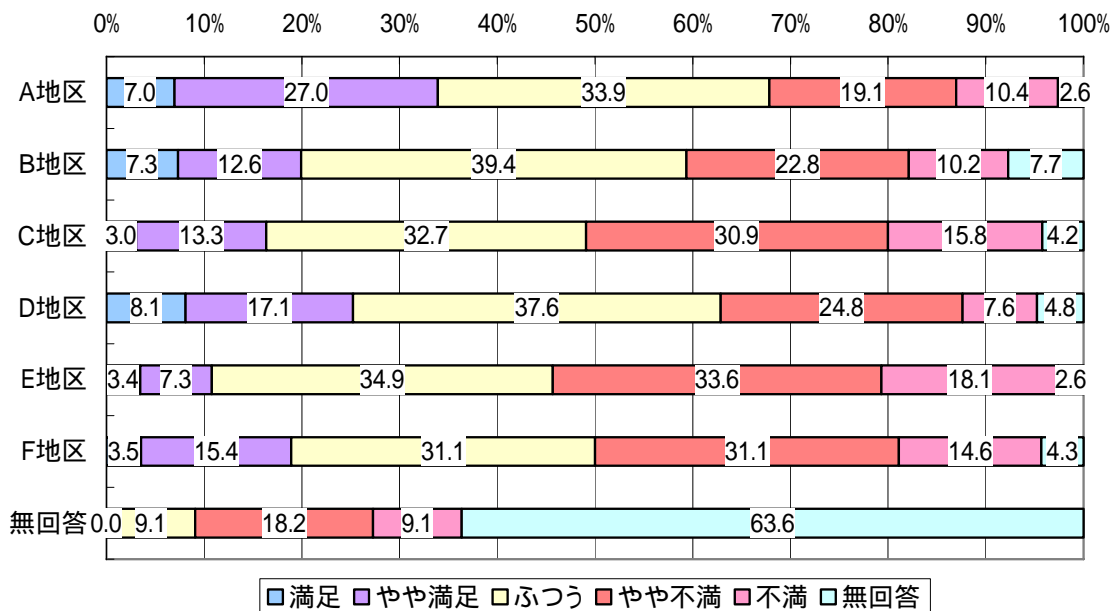
2 自宅周辺の生活道路の整備・安全性



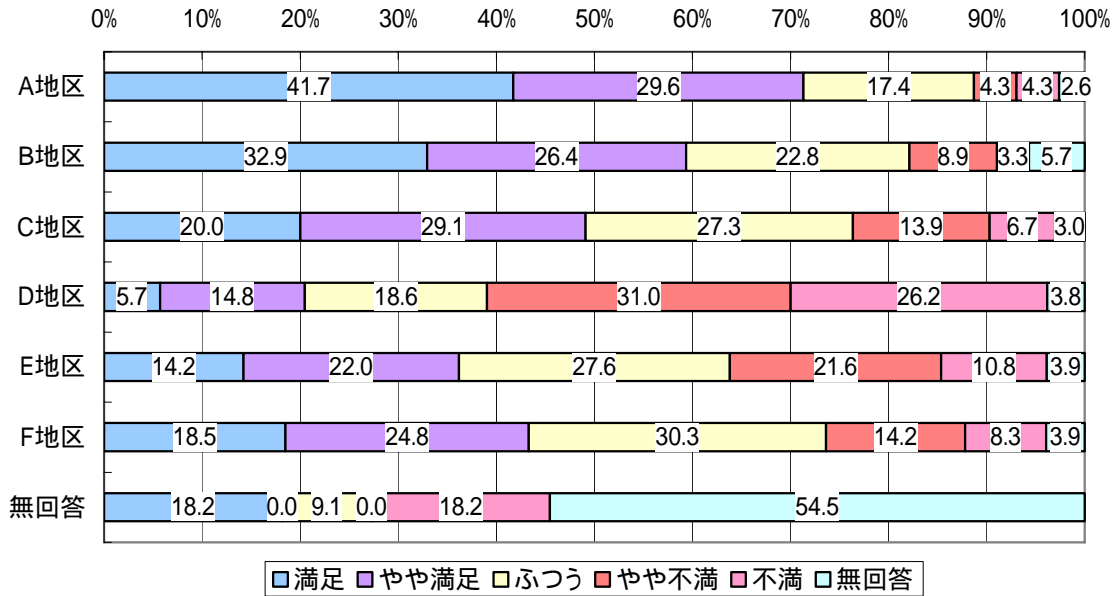
3 自転車が走りやすい道路の整備・安全性



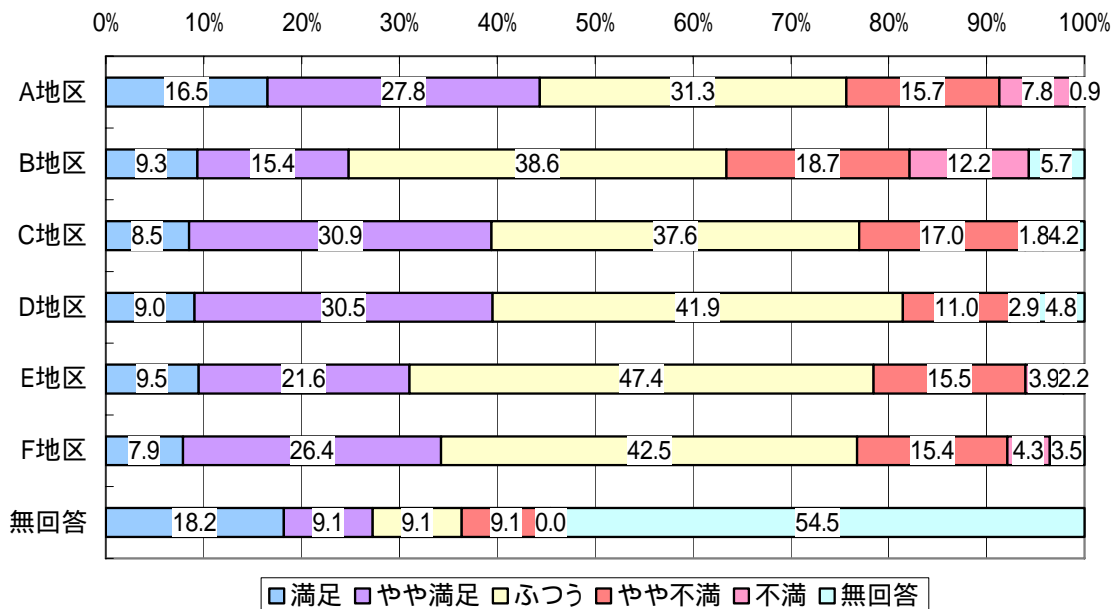
4 歩きやすい道路・歩道の整備・安全性



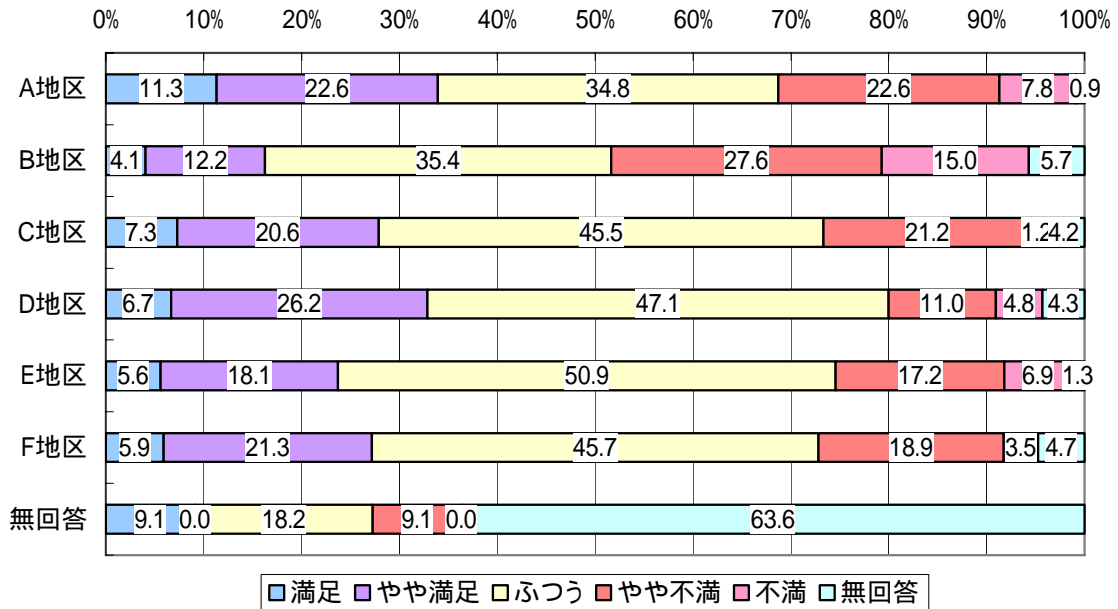
5 バス・電車による移動の利便性



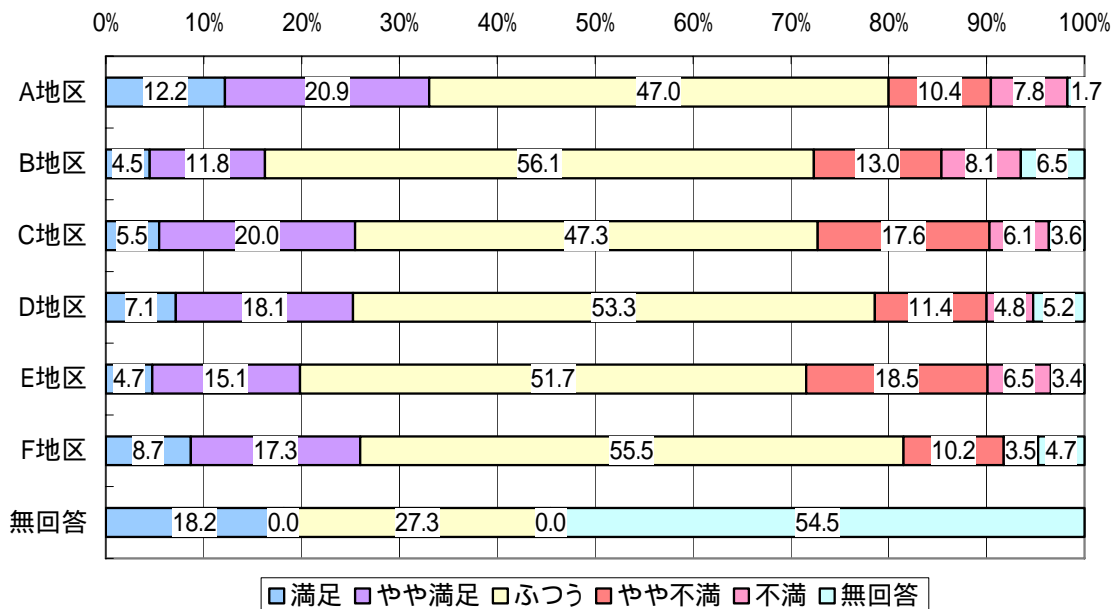
6 中心市街地の整備・景観・街の美化



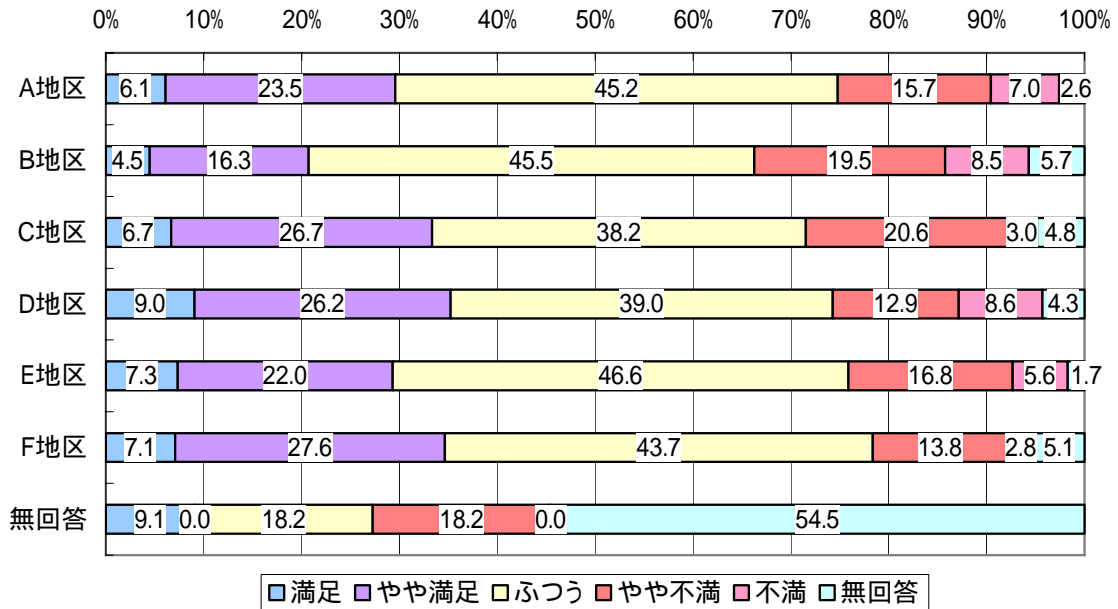
7 生活地域の整備・景観・街の美化



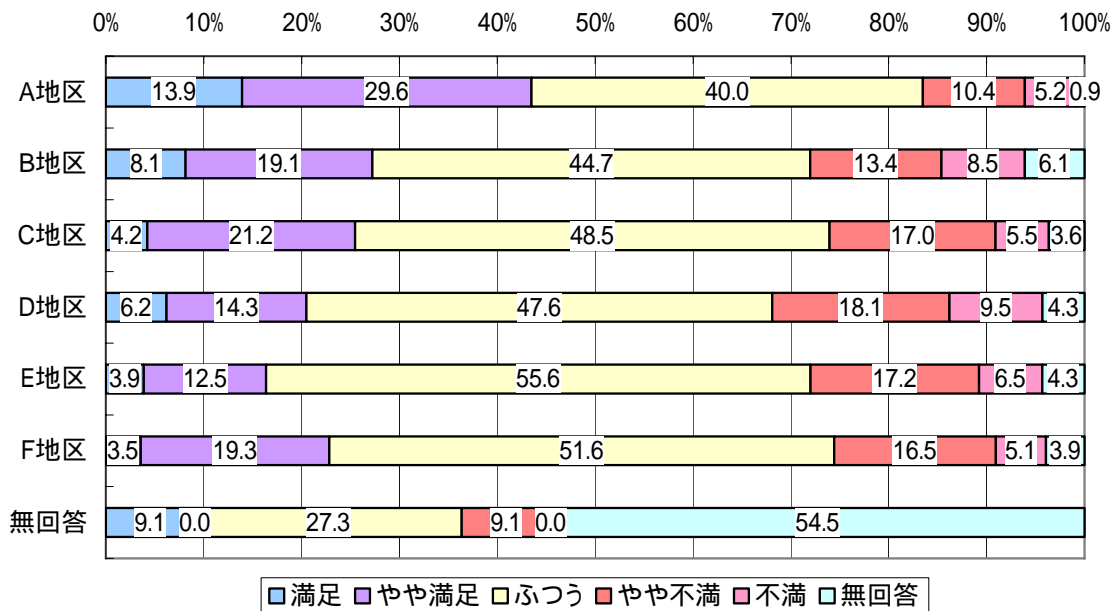
8 公園・広場の整備、遊具の安全性



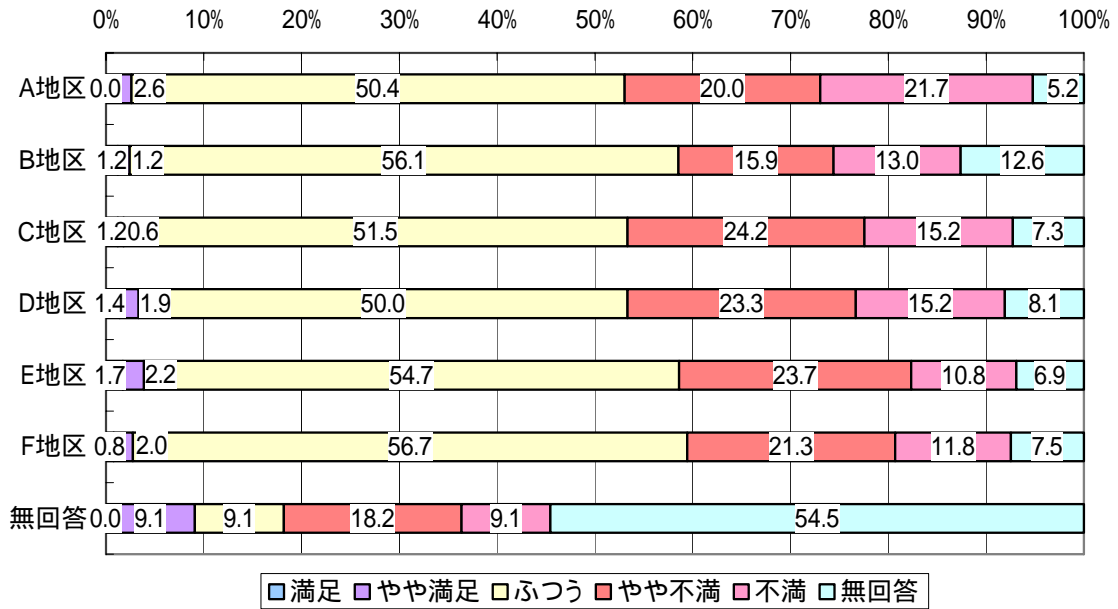
9 緑地の保全や緑化の推進



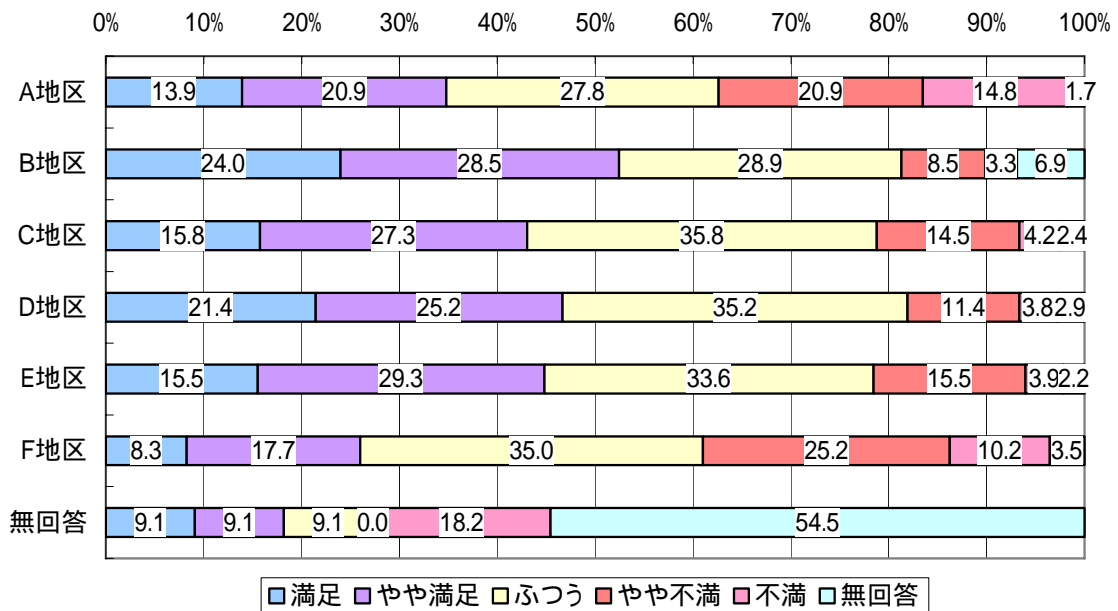
10 川や港とふれあえる環境の整備



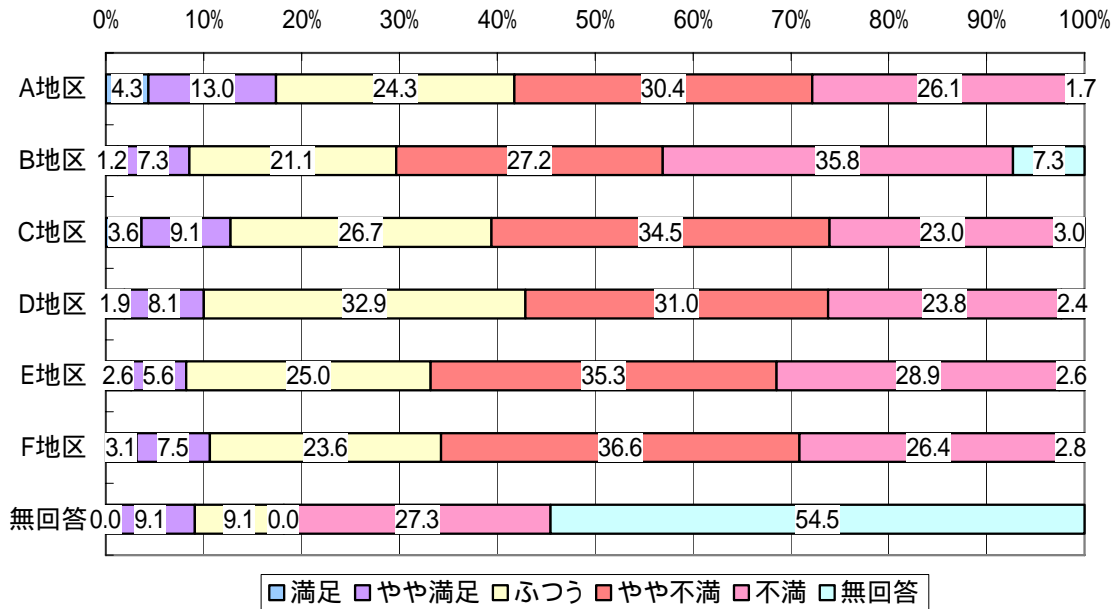
11 市民菜園など農と親しめる施設の整備



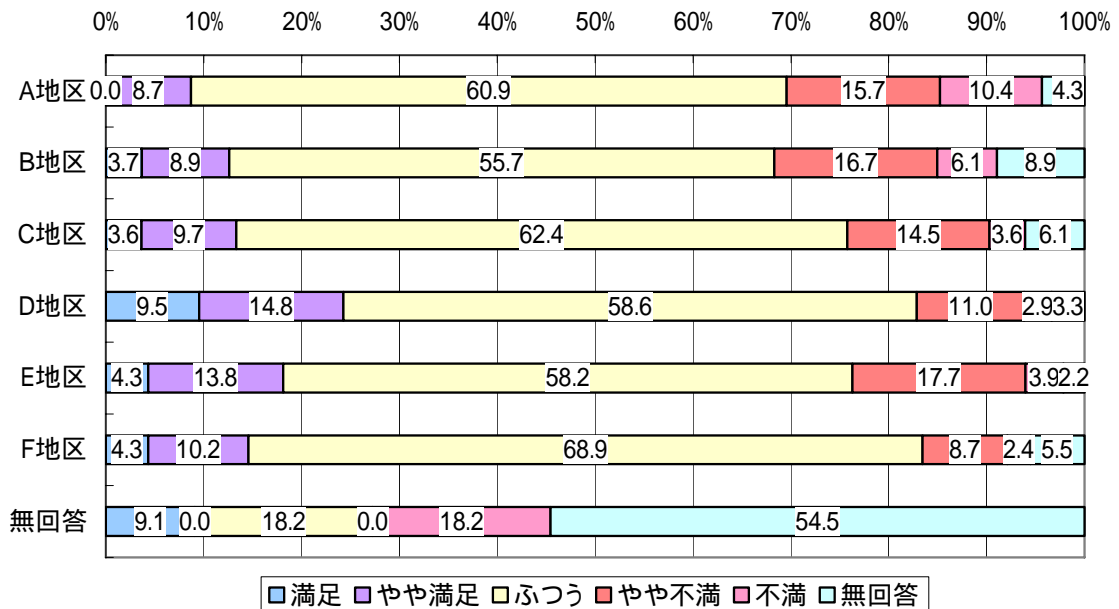
12 日常の買い物の利便性



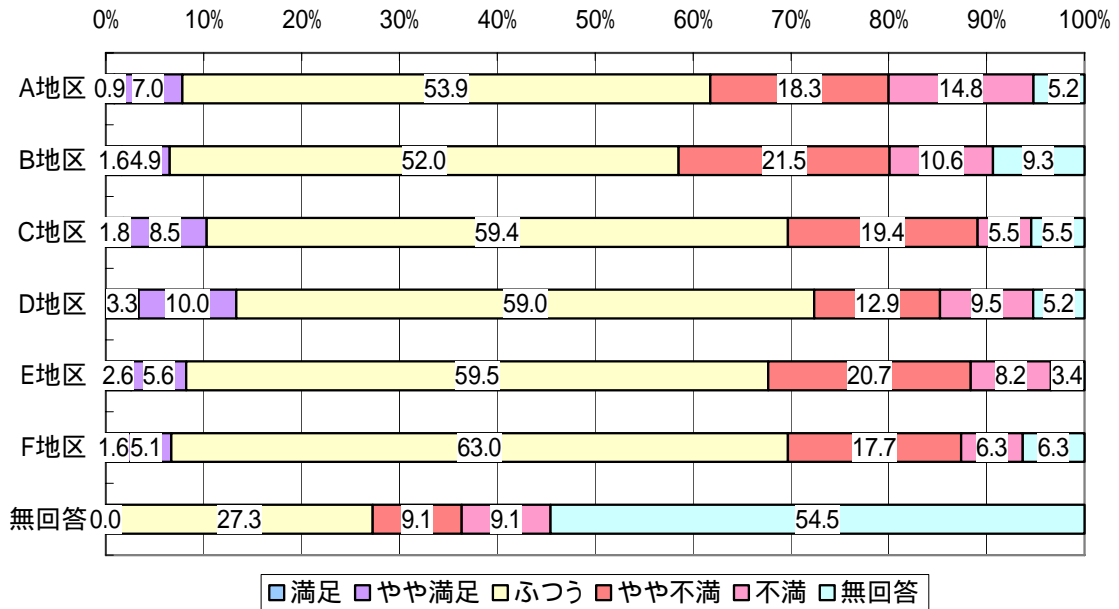
13 生活マナーの向上（ごみ出し、犬の散歩、路上駐輪、歩行喫煙、ポイ捨てなど）



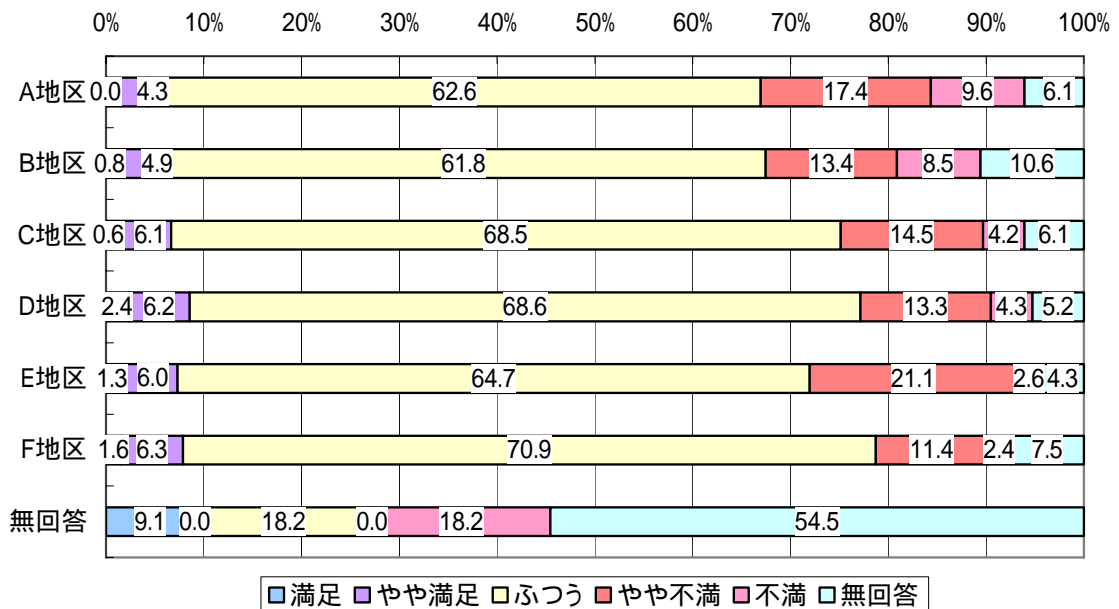
14 地域活動施設（地区センターやコミュニティハウス、地域ケアプラザなど）の整備や使いやすさ



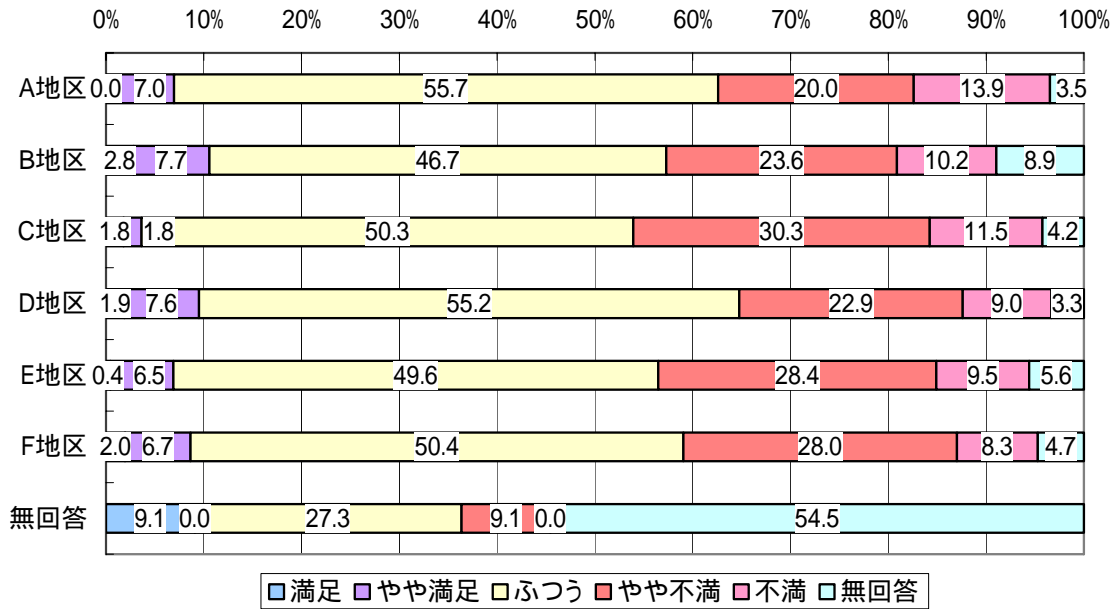
15 スポーツ施設や屋外レクリエーション施設の整備や使いやすさ



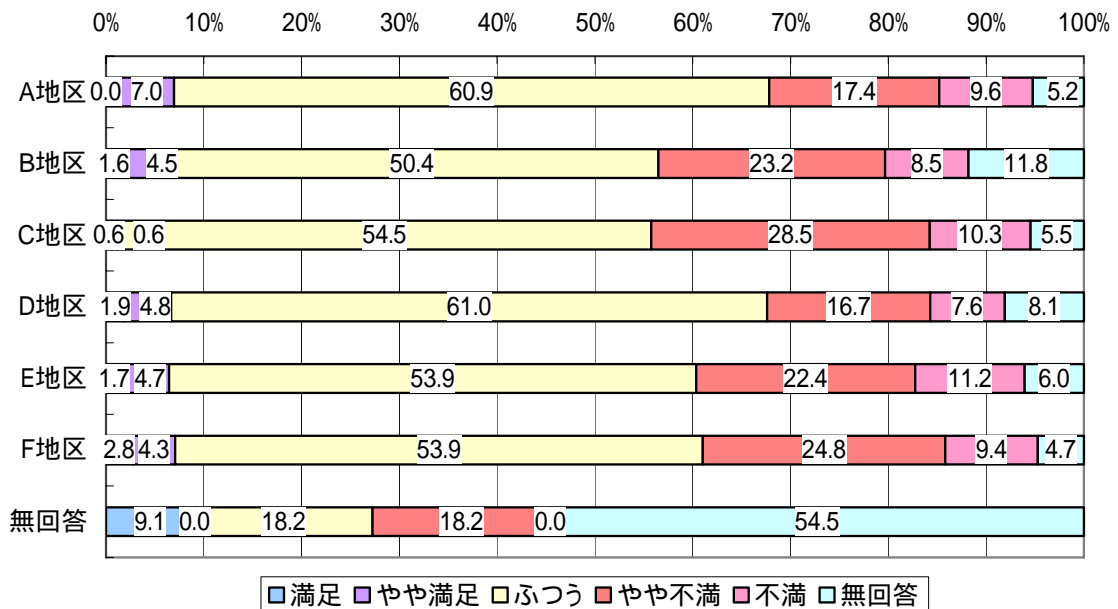
16 市民活動・生涯学習のための支援・施設の整備や使いやすさ



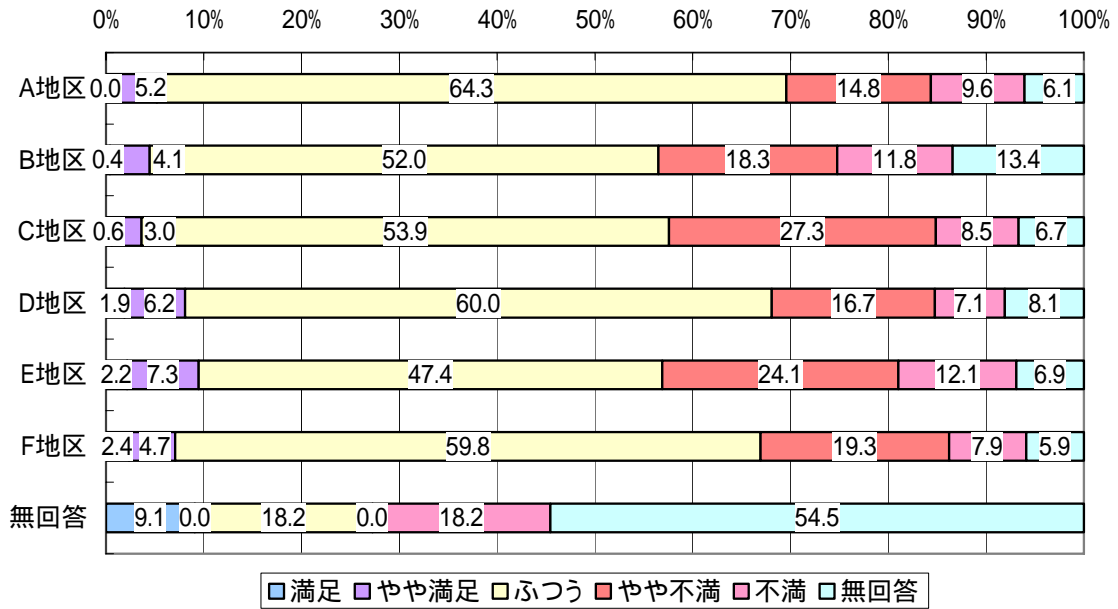
17 高齢者が安心して暮らすための支援・施設の整備や使いやすさ



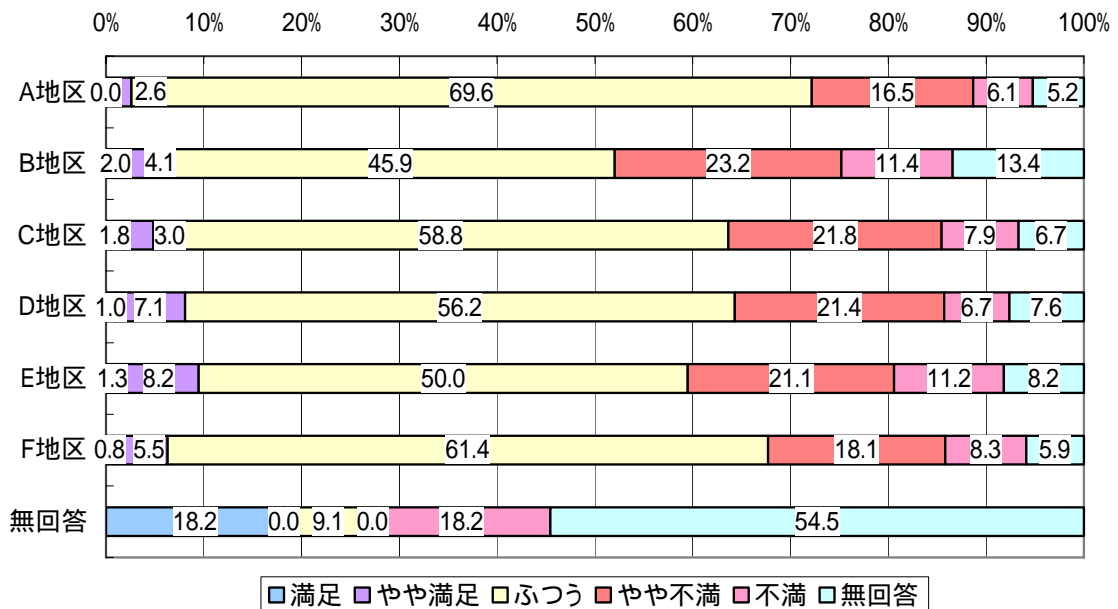
18 障害者が安心して暮らすための支援・施設の整備や使いやすさ



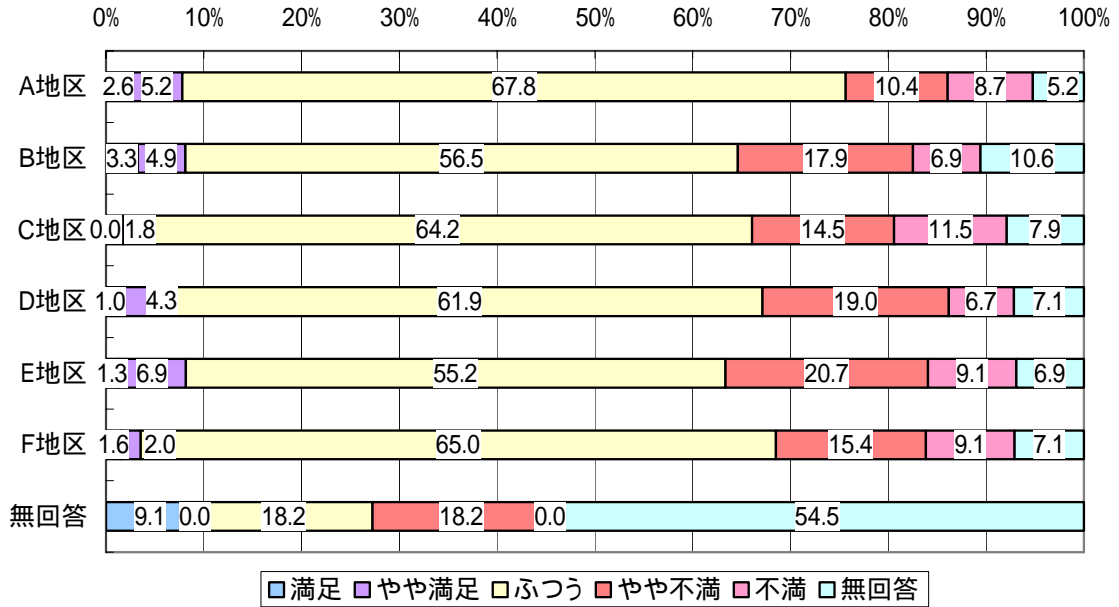
19 安心して子育てをするための支援・施設の整備や使いやすさ



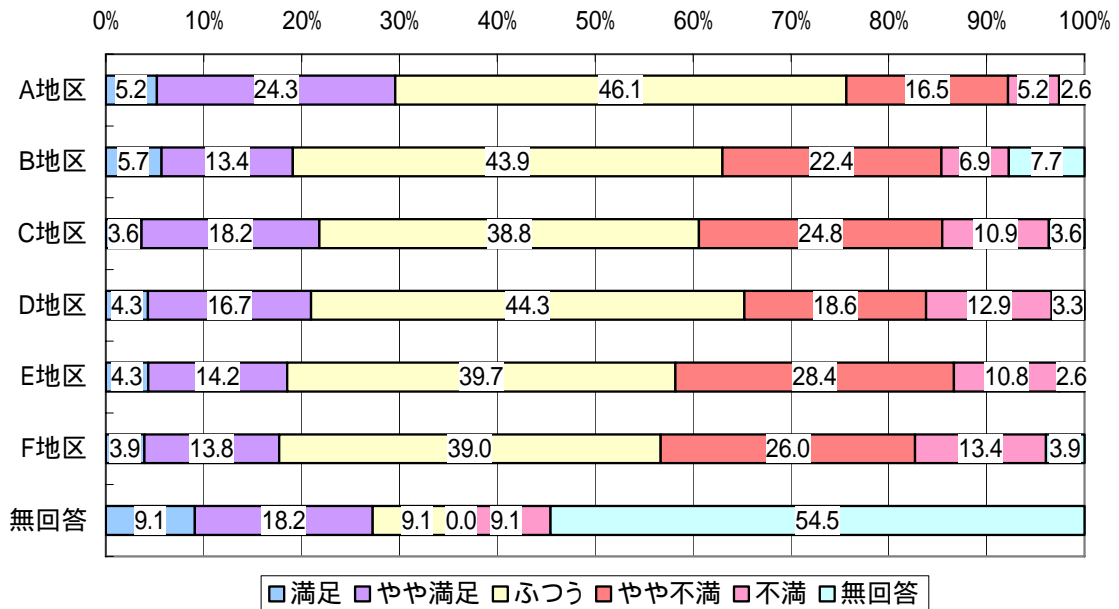
20 子どもの教育・青少年の健全育成



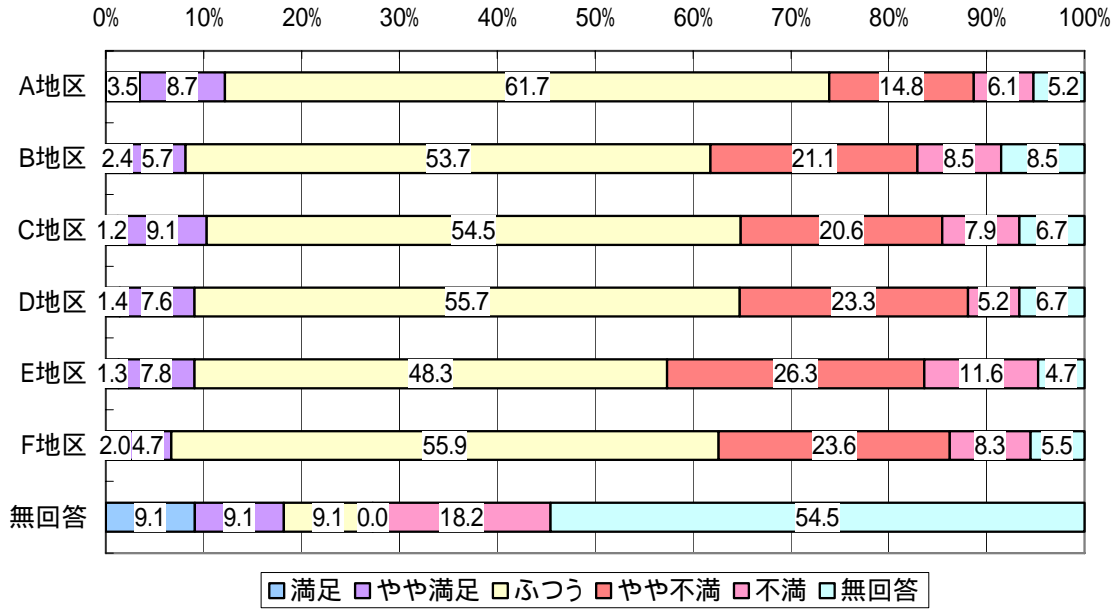
2.1 経済的に困っている人への生活支援



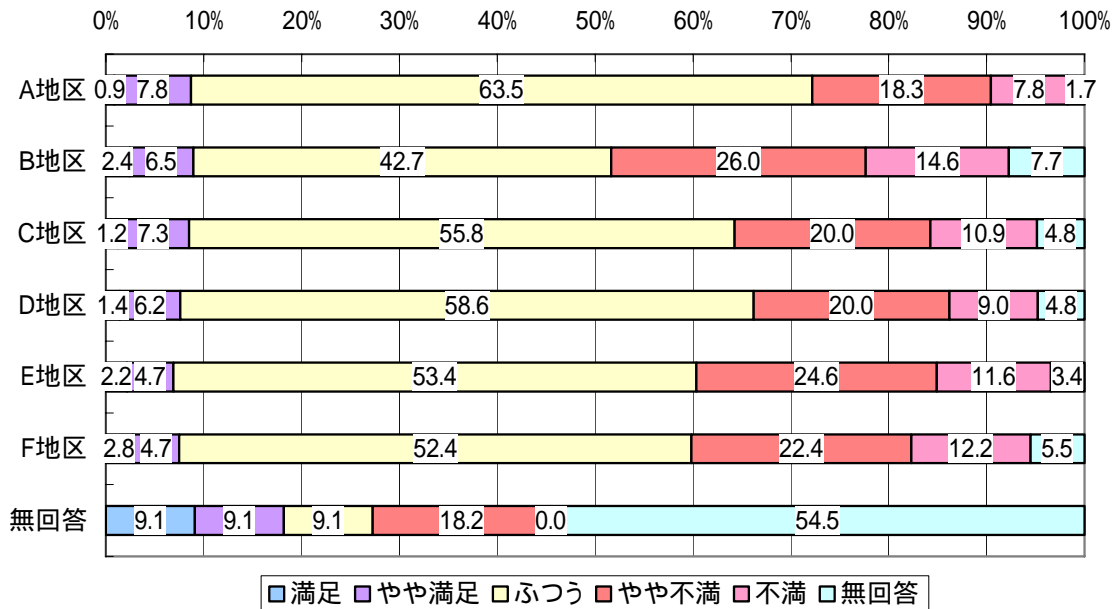
2.2 病院・診療所や救急医療の充実



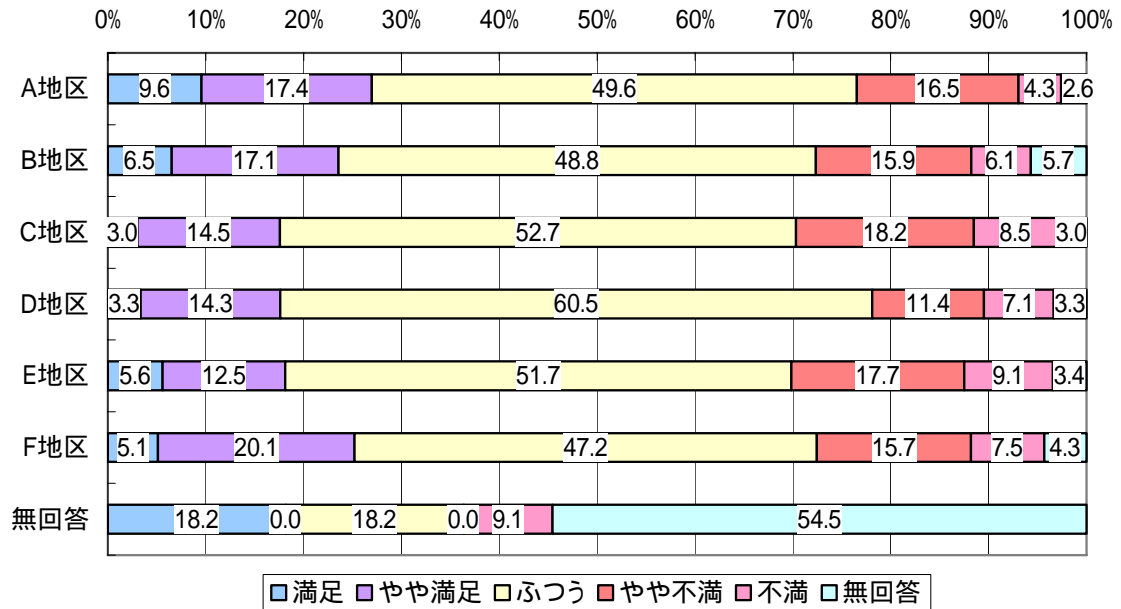
23 地震や火災などの災害対策



24 防犯対策



25 区役所サービス（窓口での対応、待ち時間、庁舎の使いやすさなど）



重要度について

重要度については、「病院・診療所や救急医療の充実」が 4.397 でもっとも高く、次いで「地震や火災などの災害対策」(4.385)、「防犯対策」(4.338)となっている。逆に「市民菜園など農と親しめる施設の整備」は 3.266 でもっとも低く、次いで「市民活動・生涯学習のための支援・施設の整備や使いやすさ」(3.497)、「スポーツ施設や屋外レクリエーション施設の整備や使いやすさ」(3.517)となっている。(P18・19 参照)

平成 14 年度の調査時と比較すると、「市民活動・生涯学習のための支援・施設の整備や使いやすさ」は平成 14 年度の調査時も重要度としては低かったが、逆に「病院・診療所や救急医療の充実」については、平成 14 年度調査時も重要視されている。

参考

平成 14 年度調査においては、「ごみの不法投棄対策やまちの美化」、「高齢者や障害者への福祉サービスの充実」、「病院や救急医療対策や地域の保健・予防対策」などを重要とする割合が高く、「幹線道路の整備」、「学校と地域の連携強化」、「ボランティア活動やNPO活動などの支援」などを重要とする割合が低かった。

重要度の高い項目の比較

平成 20 年度調査		平成 14 年度調査	
1	病院・診療所や救急医療の充実	1	ごみの不法投棄対策やまちの美化
2	地震や火災などの災害対策	2	高齢者や障害者への福祉サービスの充実
3	防犯対策	3	病院や救急医療対策や地域の保健・予防対策
4	生活マナーの向上	4	バスや鉄道サービスの充実
5	子どもの教育・青少年の健全育成	5	狭あい道路の拡幅など、生活道路の整備

重要度の低い項目の比較

平成 20 年度調査		平成 14 年度調査	
1	市民菜園など農と親しめる施設の整備	1	幹線道路の整備
2	市民活動・生涯学習のための支援・施設の整備や使いやすさ	2	学校と地域の連携強化
3	スポーツ施設や屋外レクリエーション施設の整備や使いやすさ	3	ボランティア活動やNPO活動などの支援
4	地域活動施設の整備や使いやすさ	4	関内地区における行政・業務機能の充実・強化
5	経済的に困っている人への支援	5	市民向け講座など生涯学習の充実

平成 14 年度調査との比較においては、選択肢や設問内容が異なるため、あくまで参考として考察する。

居住地別の重要度の特徴について

居住地別の重要度について、平成 14 年度調査時の類似する項目とともに、各項目別に重要度の高い地区と低い地区を以下に整理した。

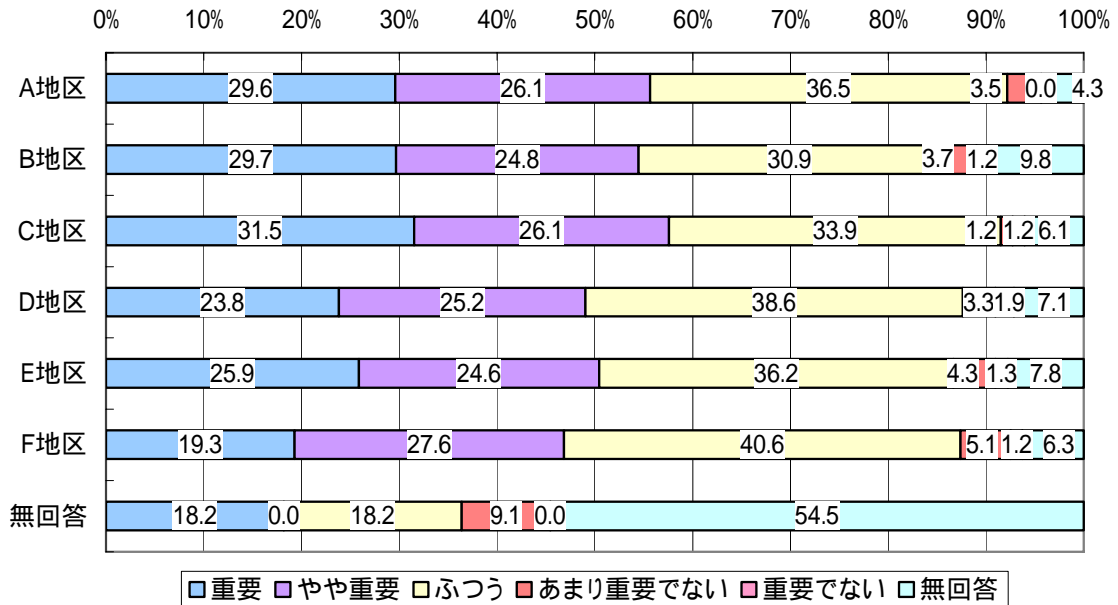
今回の調査(平成 20 年度調査)においては、C 地区で重要とする項目が比較的多く、B 地区で重要でないとする項目が比較的多い傾向にある。

平成 14 年度の調査時と比較すると、D 地区で移動の利便性を、E 地区で災害対策を引き続き重要視している。

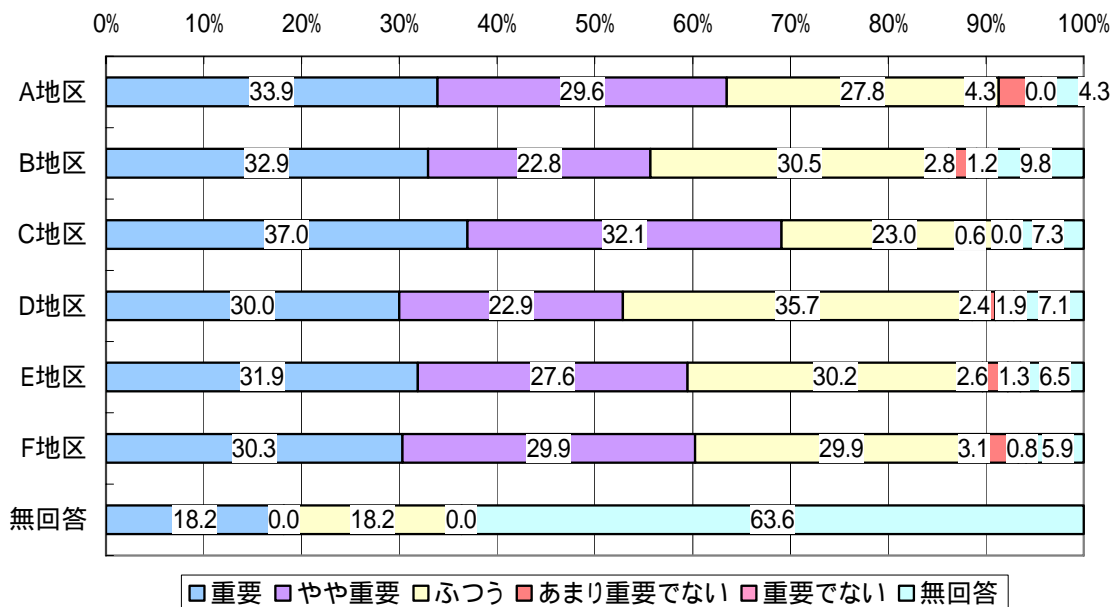
平成20年度調査	重要度		平成14年度調査	重要度	
	重要	重要でない		重要	重要でない
主要・幹線道路の整備・安全性	C 地区	F 地区	幹線道路の整備	A 地区	B 地区
自宅周辺の生活道路の整備・安全性	C 地区	D 地区	狭あい道路の拡幅など、生活道路の整備	F 地区	B 地区
自転車走りやすい道路の整備・安全性	C 地区	F 地区	-	-	-
歩きやすい道路・歩道の整備・安全性	C 地区	B 地区	-	-	-
バス・電車による移動の利便性	D 地区	F 地区	バスや鉄道サービスの充実	D 地区	A 地区
中心市街地の整備・景観・街の美化	A 地区	E 地区	-	-	-
生活地域の整備・景観・街の美化	A 地区	E 地区	密集住宅地域対策	C 地区	A 地区
公園・広場の整備・遊具の安全性	C 地区	F 地区	公園の整備	B 地区	F 地区
緑地の保全や緑化の推進	C 地区	E 地区	屋上緑化などの緑化の推進や樹林地などの緑の保全	A 地区	D 地区
川や港とふれあえる環境の整備	A 地区	E 地区	河川など水辺環境の整備	C 地区	E 地区
市民菜園など農と親しめる施設の整備	E 地区	F 地区	-	-	-
日常の買い物利便性	A 地区	F 地区	-	-	-
生活マナーの向上	C 地区	D 地区	ごみの不法投棄対策やまちの美化	B 地区	E 地区
地域活動施設の整備や使いやすさ	C 地区	F 地区	地区センター等の地域に身近な施設の整備	A 地区	C 地区
スポーツ施設や屋外レクリエーション施設の整備や使いやすさ	C 地区	B 地区	-	-	-
市民活動・生涯学習のための支援・施設の整備や使いやすさ	C 地区	B 地区	市民向け講座など生涯学習の充実	B 地区	D 地区
高齢者が安心して暮らすための支援・施設の整備や使いやすさ	E 地区	B 地区	高齢者や障害者への福祉サービスの充実	A 地区	B 地区
障害者が安心して暮らすための支援・施設の整備や使いやすさ	C 地区	B 地区	高齢者や障害者への福祉サービスの充実	A 地区	B 地区
安心して子育てをするための支援・施設の整備や使いやすさ	E 地区	B 地区	保育など子育て環境の整備	A 地区	E 地区
子どもの教育・青少年の健全育成	C 地区	A 地区	学校と地域の連携強化	D 地区	C 地区
経済的に困っている人への生活支援	C 地区	A 地区	-	-	-
病院・診療所や救急医療の充実	C 地区	B 地区	病院や救急医療対策や地域の保健・予防対策	A 地区	E 地区
地震や火災などの災害対策	E 地区	B 地区	崖地の安全対策	E 地区	B 地区
地震や火災などの災害対策	E 地区	B 地区	木造住宅やマンションなどの耐震改修促進施策の充実	B 地区	D 地区
防犯対策	C 地区	E 地区	-	-	-
区役所サービス	D 地区	E 地区	-	-	-

平成 14 年度調査との比較においては、選択肢や設問内容が若干異なるため、あくまで参考として考察する。平成 20 年度調査における重要度の高低(重要・重要でない)は、P2 の式によって算出した数値により整理した。

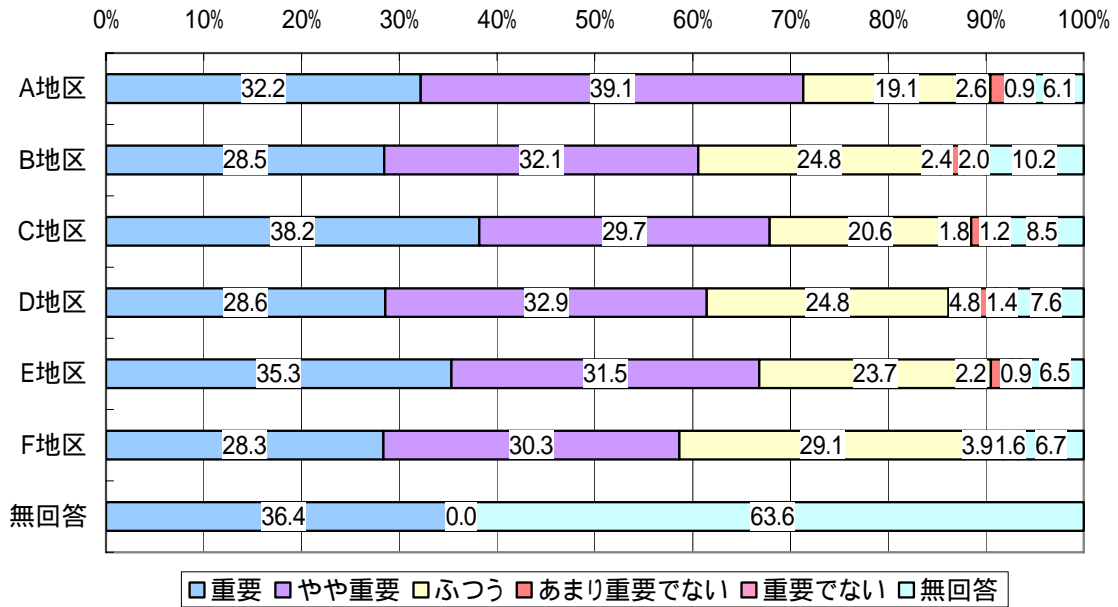
1 主要・幹線道路の整備・安全性



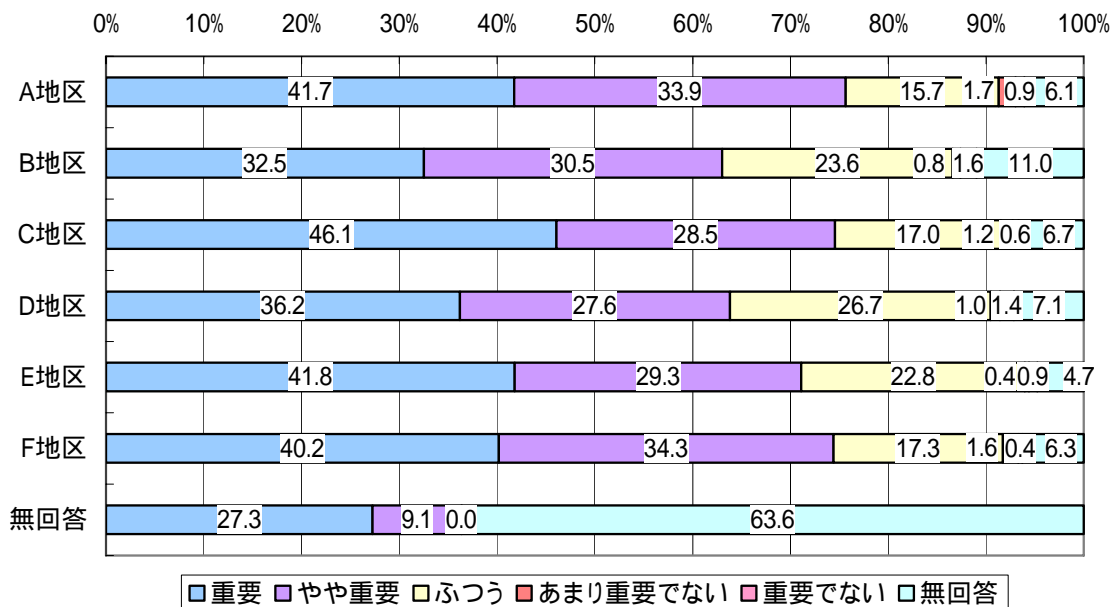
2 自宅周辺の生活道路の整備・安全性



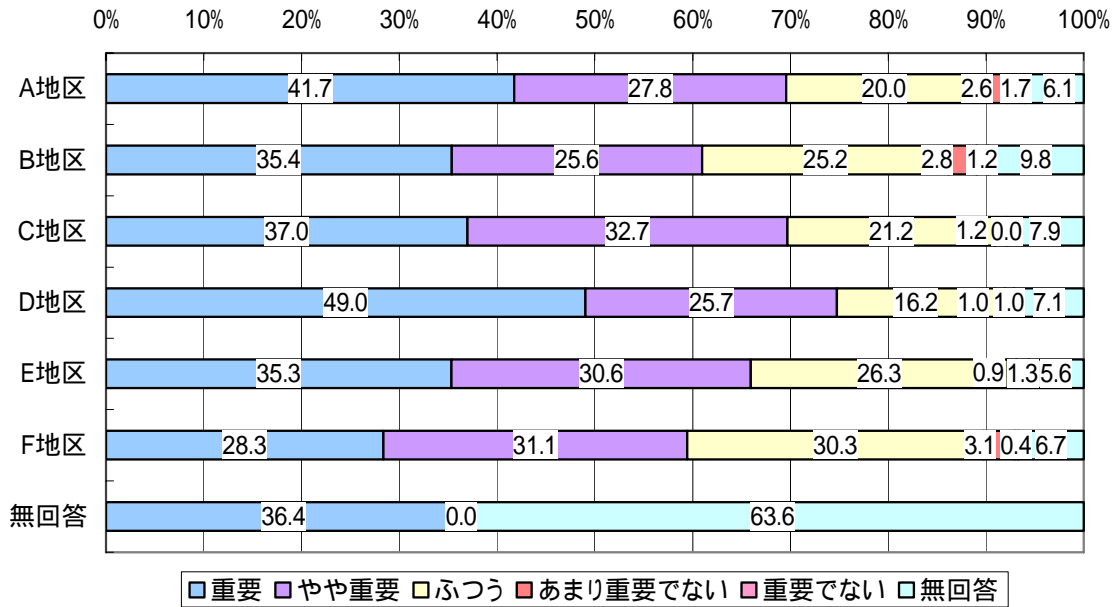
3 自転車が走りやすい道路の整備・安全性



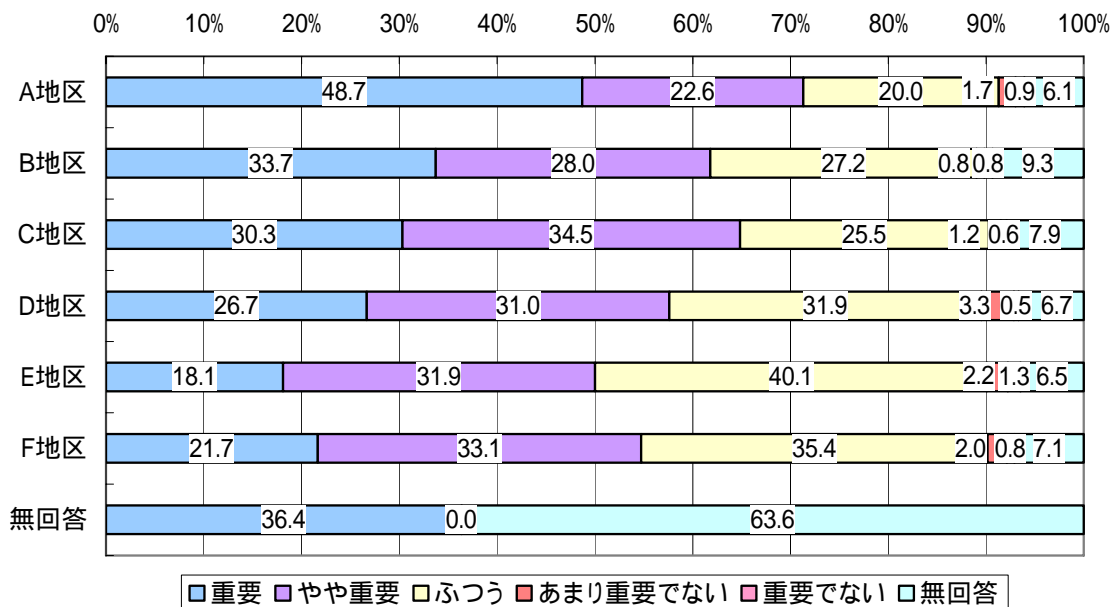
4 歩きやすい道路・歩道の整備・安全性



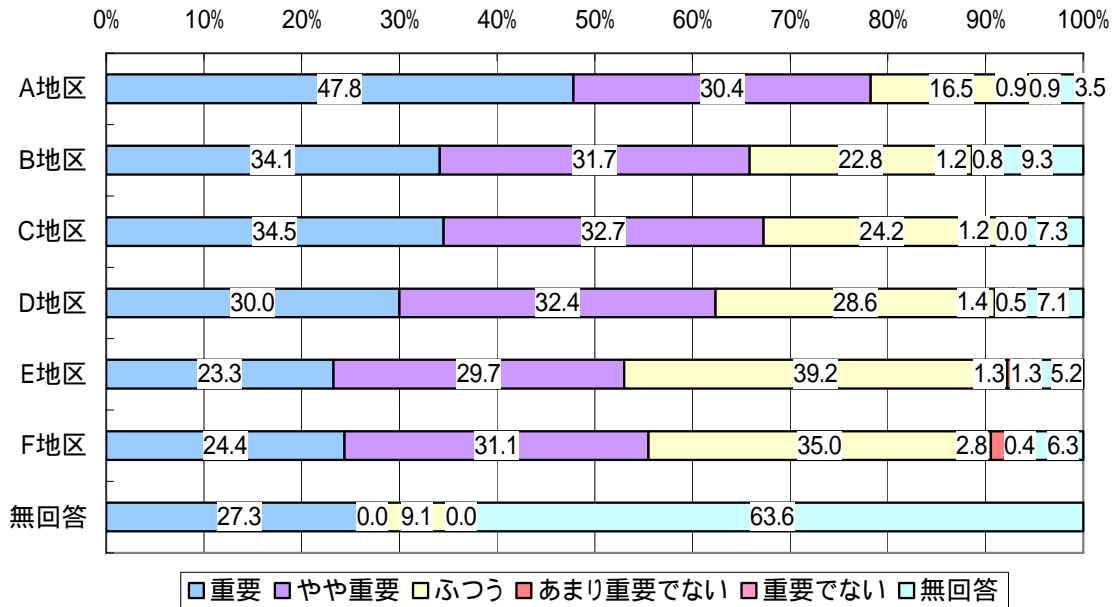
5 バス・電車による移動の利便性



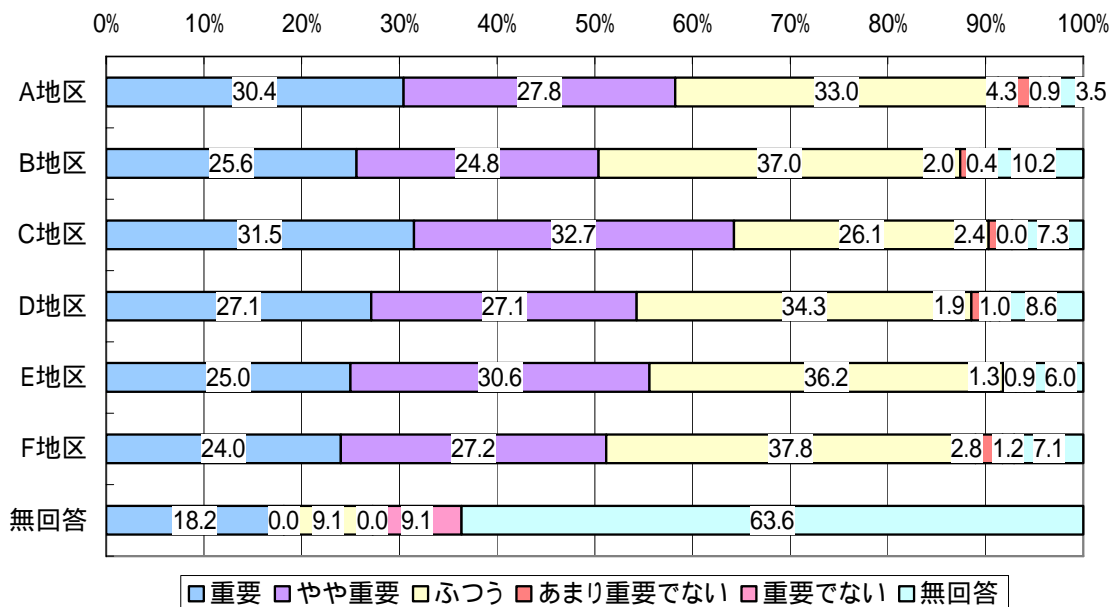
6 中心市街地の整備・景観・街の美化



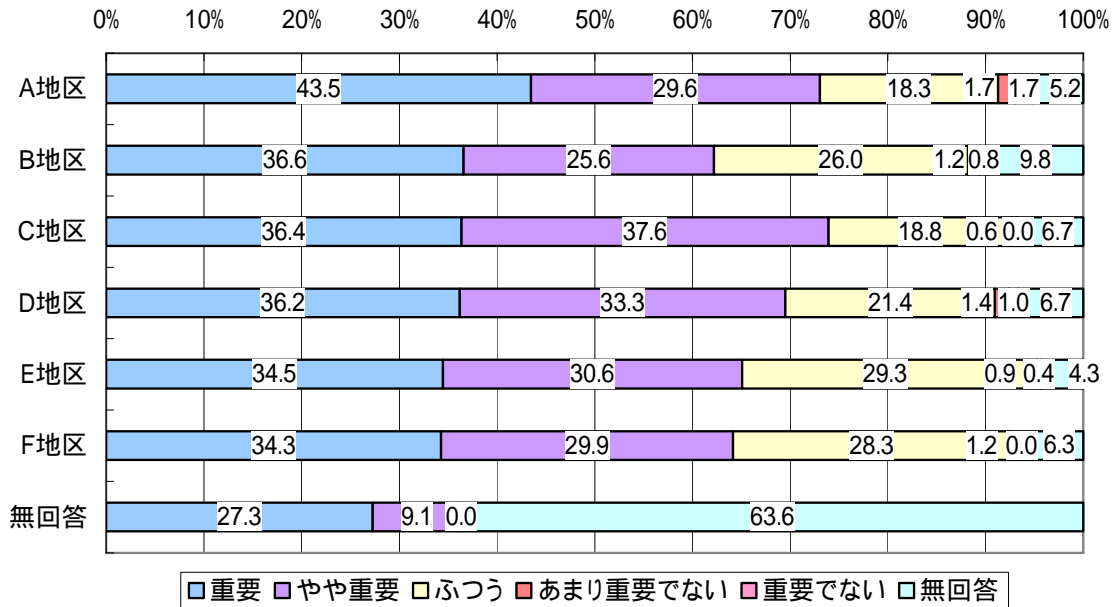
7 生活地域の整備・景観・街の美化



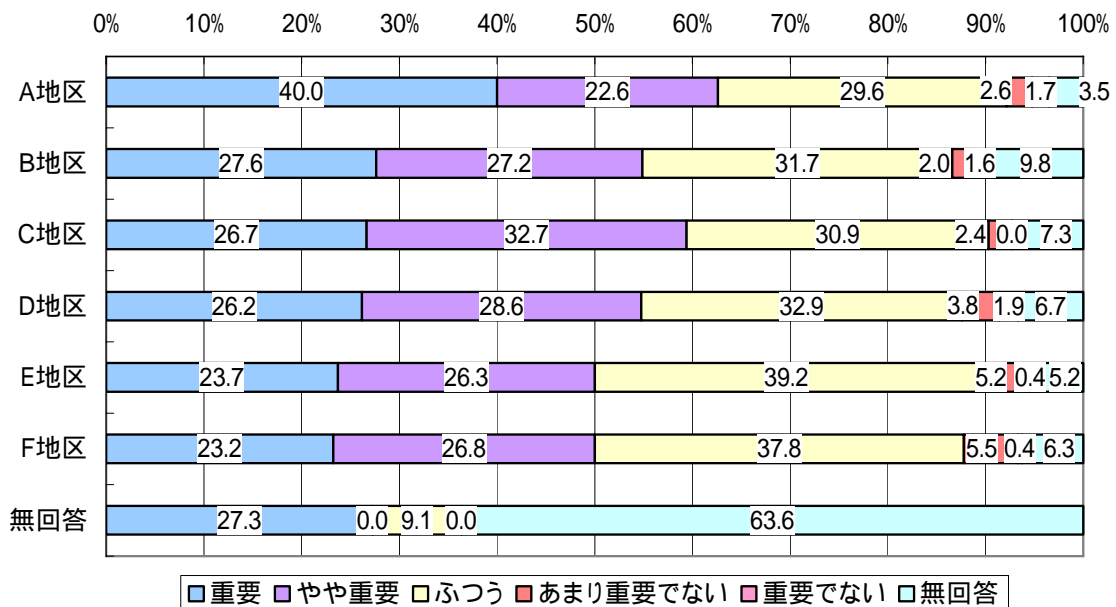
8 公園・広場の整備、遊具の安全性



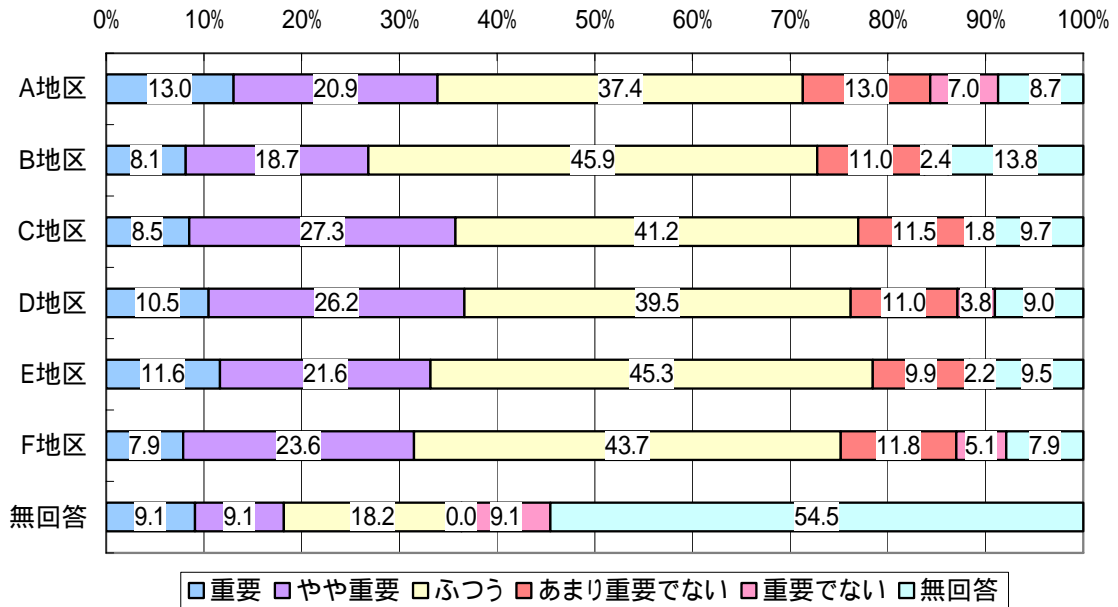
9 緑地の保全や緑化の推進



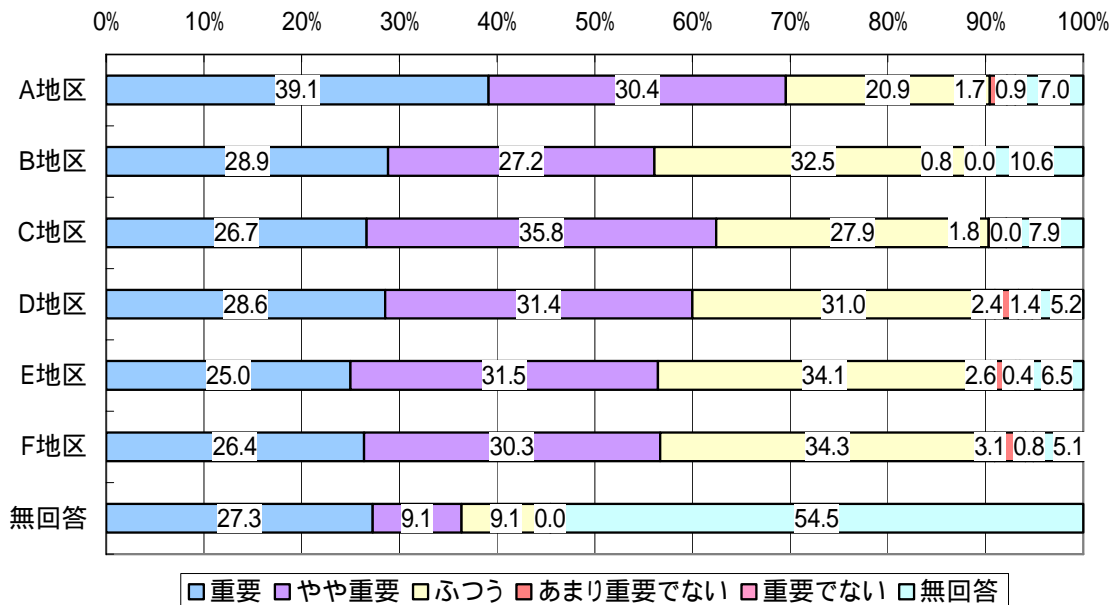
10 川や港とふれあえる環境の整備



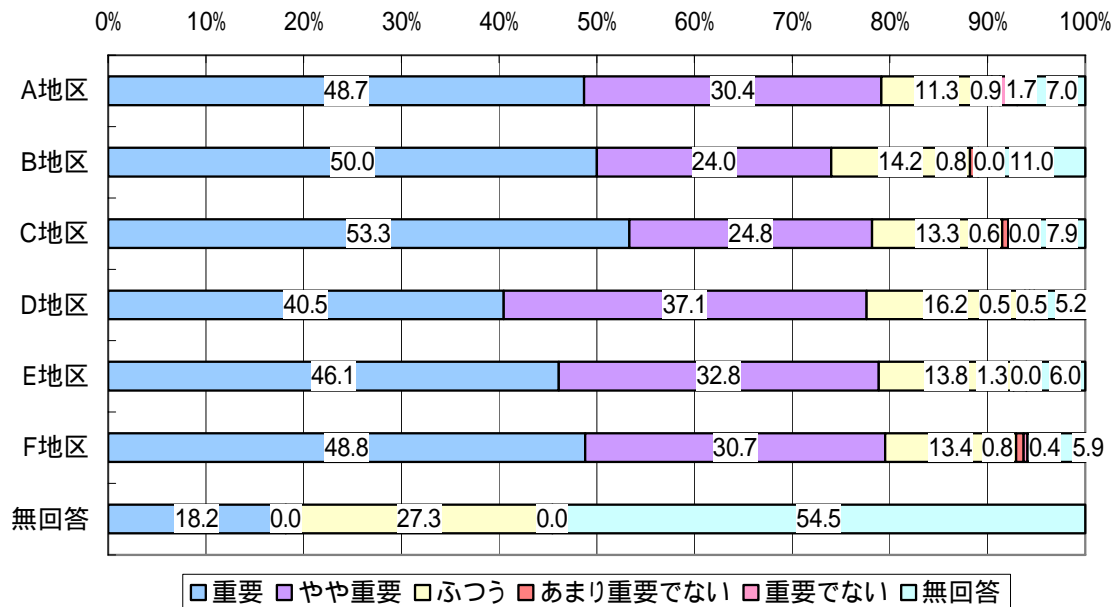
11 市民菜園など農と親しめる施設の整備



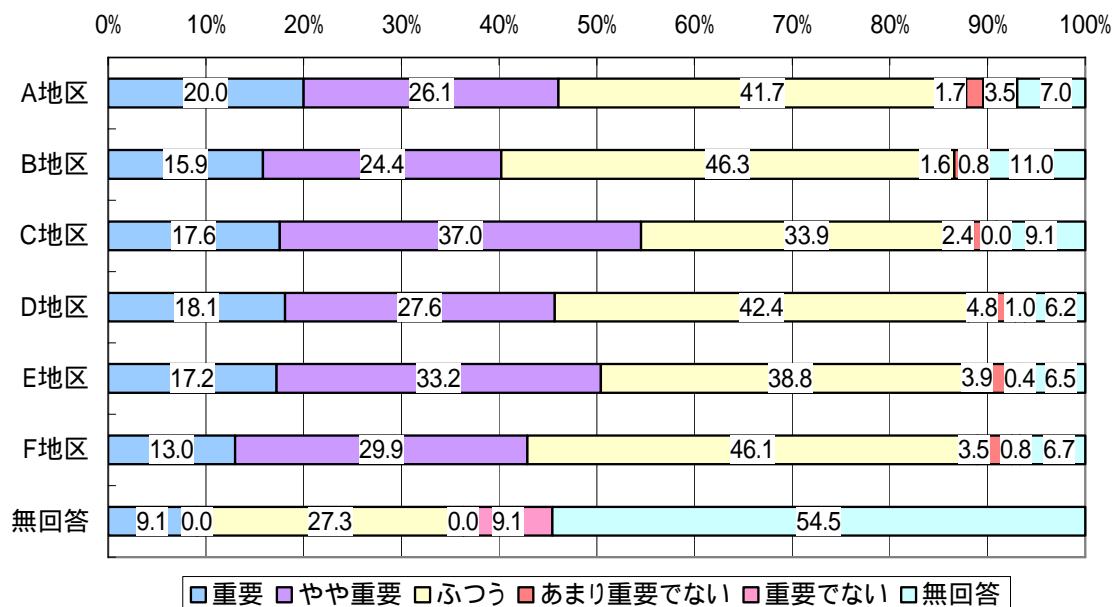
12 日常の買い物の利便性



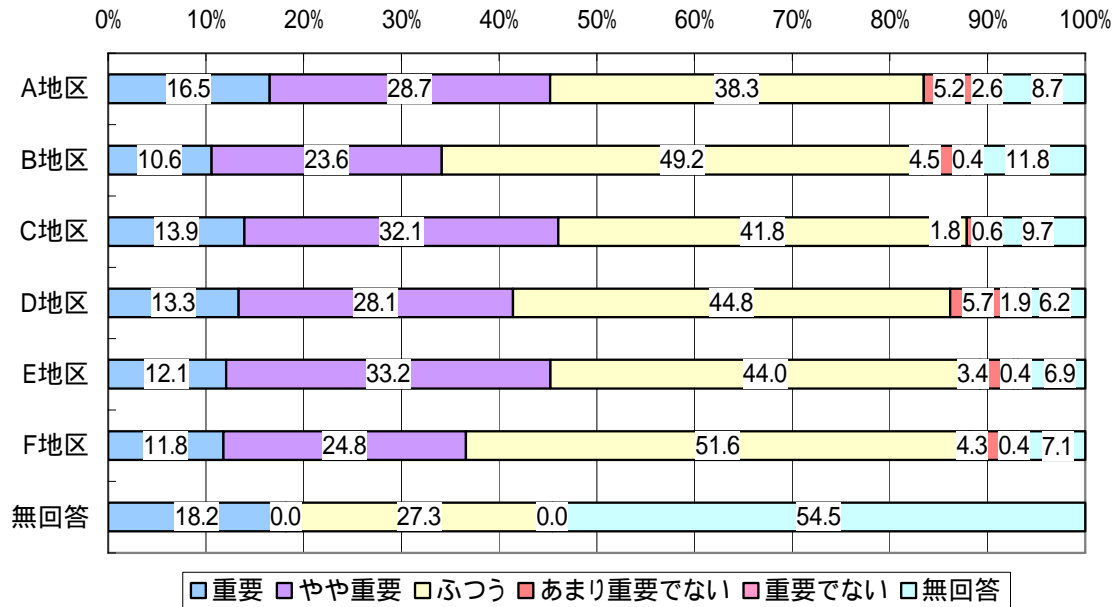
13 生活マナーの向上（ごみ出し、犬の散歩、路上駐輪、歩行喫煙、ポイ捨てなど）



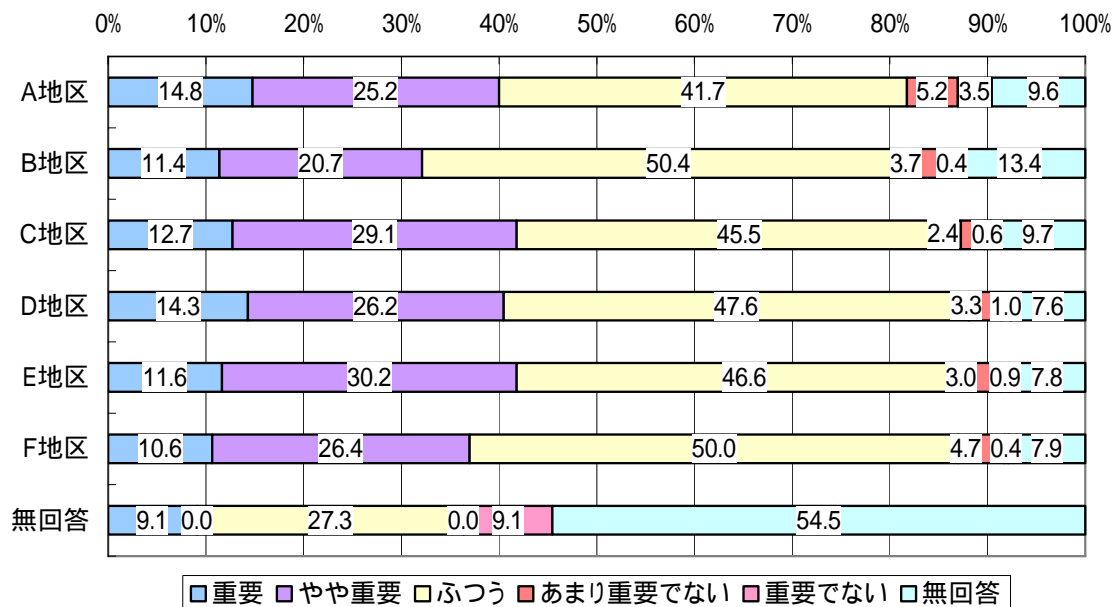
14 地域活動施設（地区センターやコミュニティハウス、地域ケアプラザなど）の整備や使いやすさ



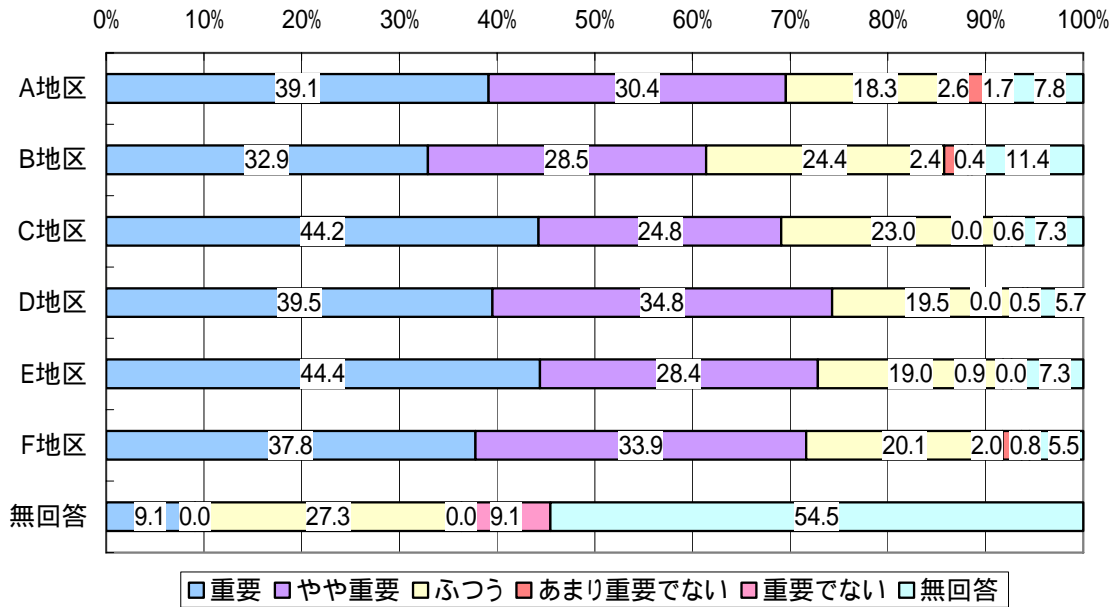
15 スポーツ施設や屋外レクリエーション施設の整備や使いやすさ



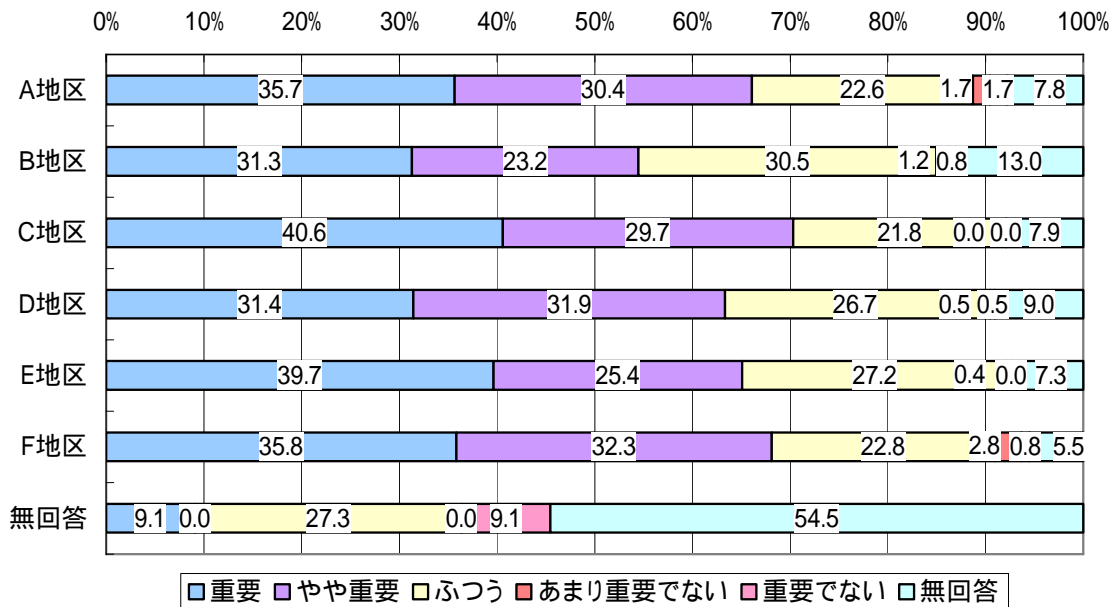
16 市民活動・生涯学習のための支援・施設の整備や使いやすさ



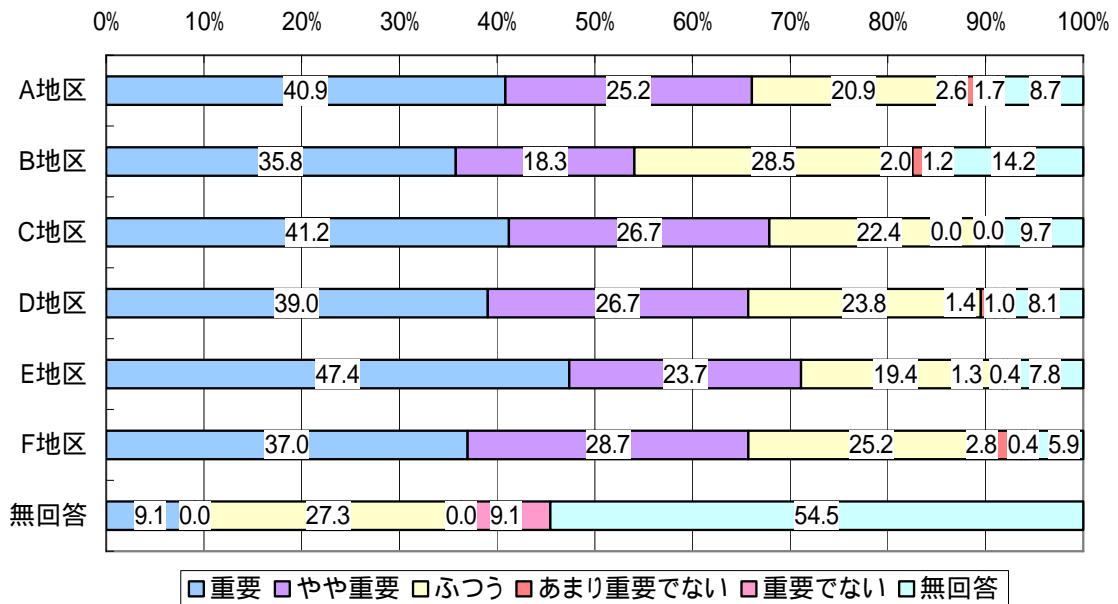
17 高齢者が安心して暮らすための支援・施設の整備や使いやすさ



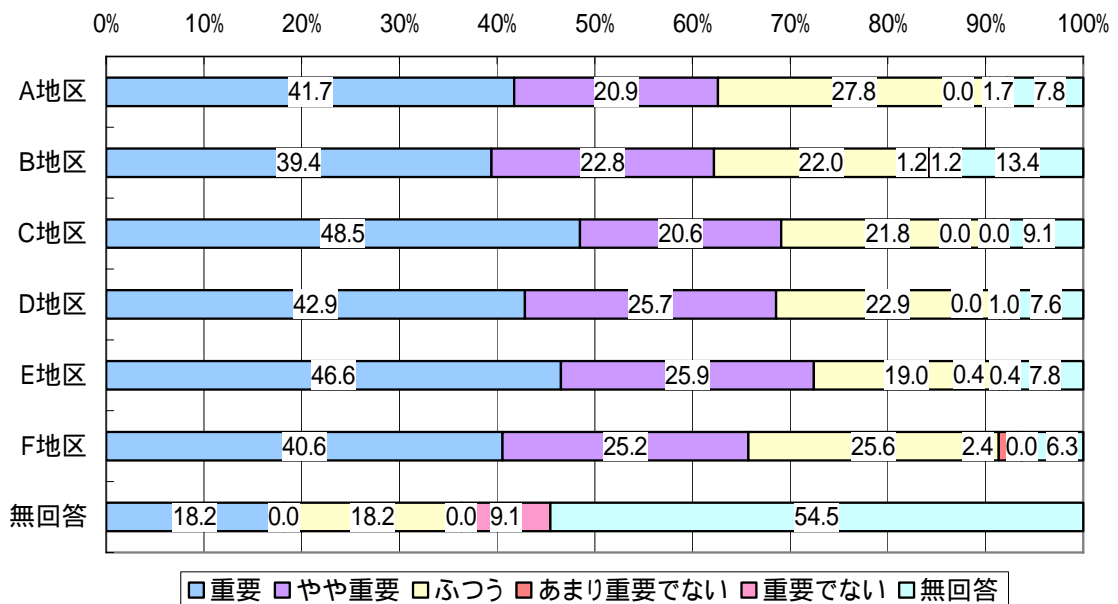
18 障害者が安心して暮らすための支援・施設の整備や使いやすさ



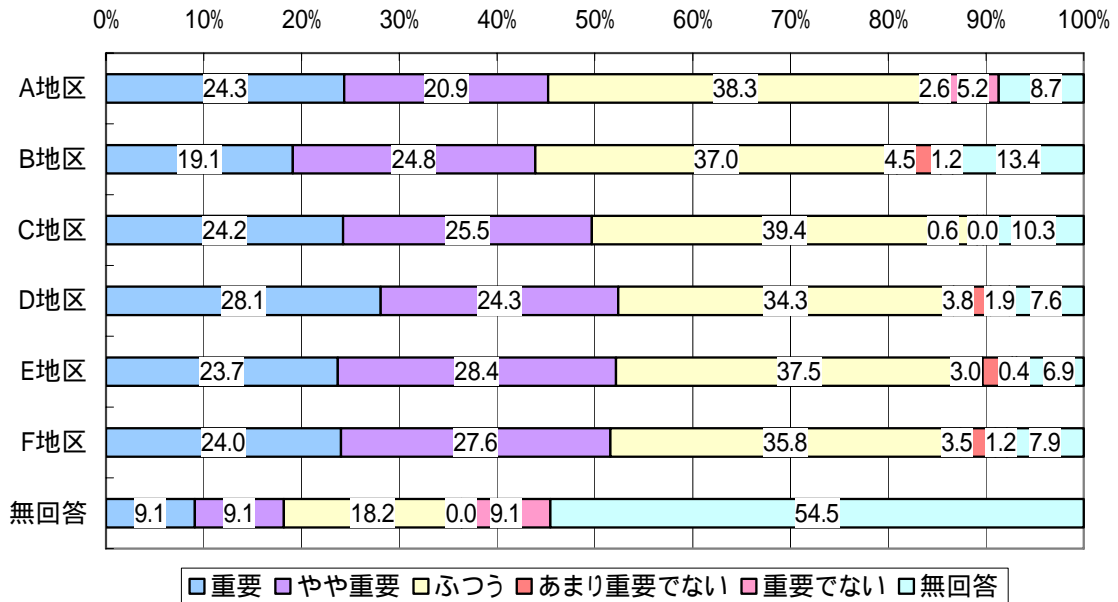
19 安心して子育てをするための支援・施設の整備や使いやすさ



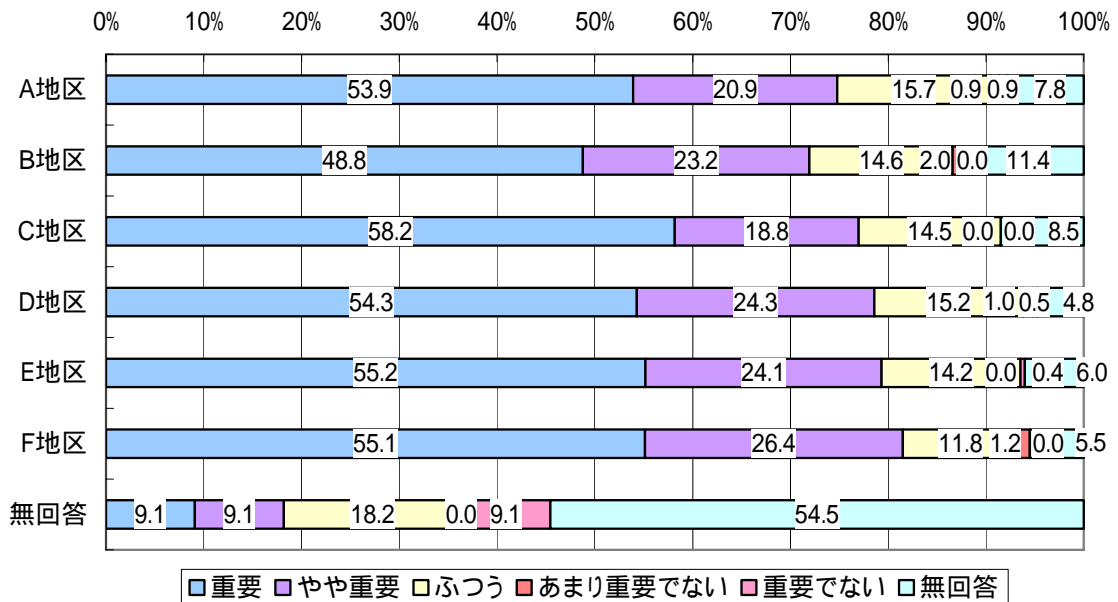
20 子どもの教育・青少年の健全育成



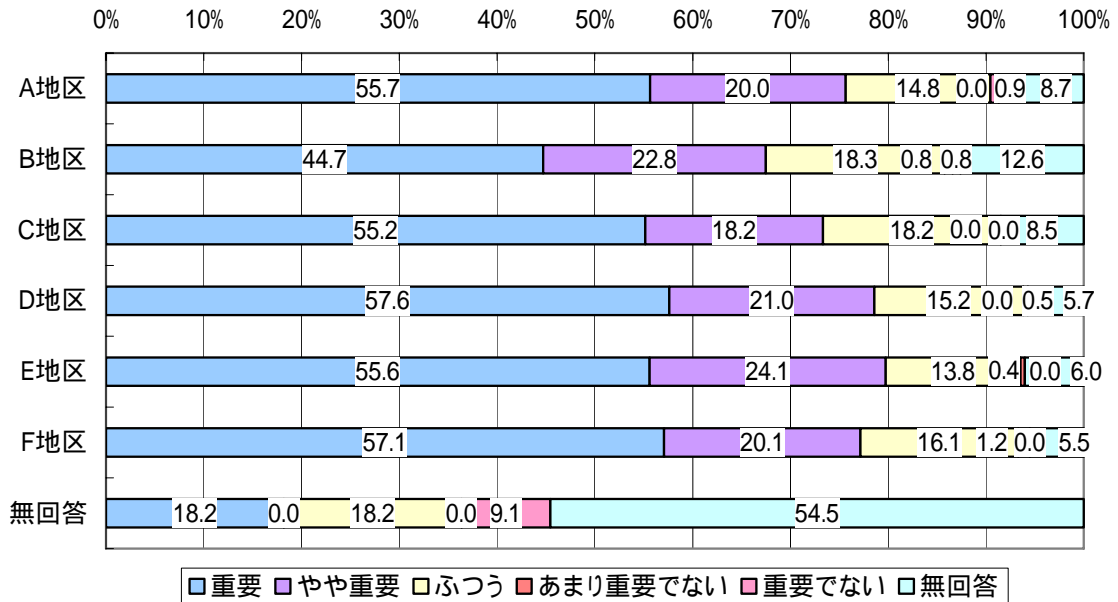
2.1 経済的に困っている人への生活支援



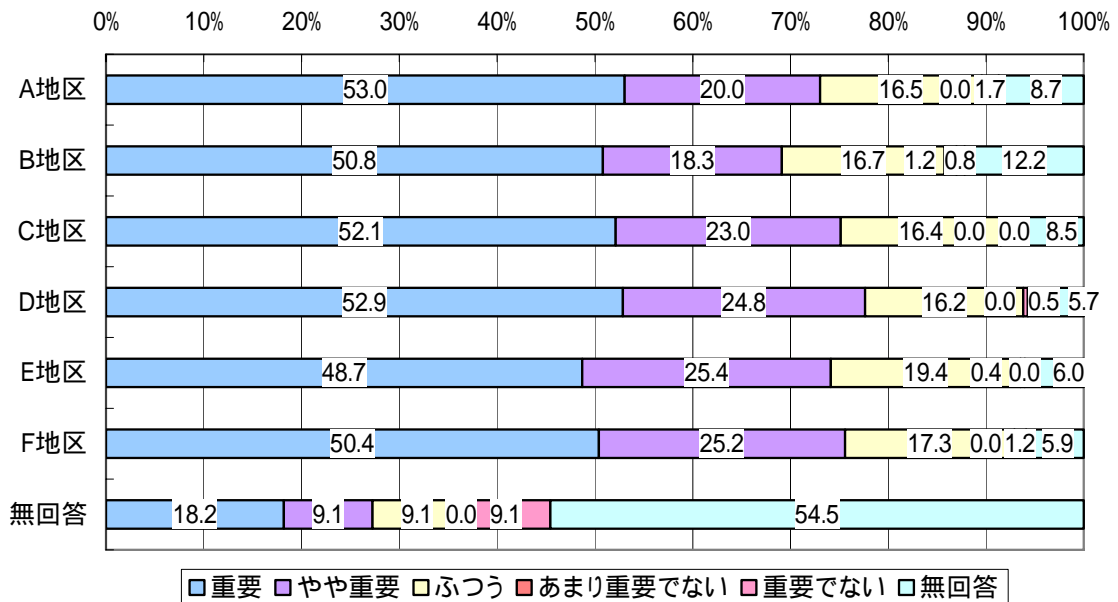
2.2 病院・診療所や救急医療の充実



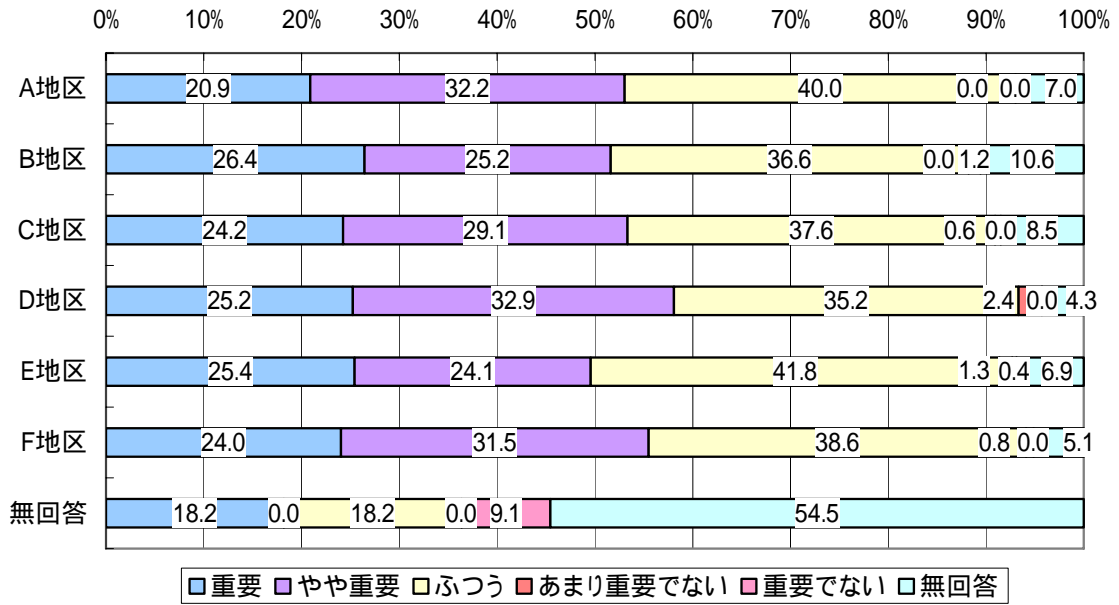
23 地震や火災などの災害対策



24 防犯対策



25 区役所サービス（窓口での対応、待ち時間、庁舎の使いやすさなど）



「緑地の保全や緑化の推進」について

「緑地の保全や緑化の推進」については、満足度 3.092、重要度 4.084 でともに平均以上であり、現状水準を維持する項目に位置づけられる。

年齢では 20～40 歳代、世帯構成では単身者、2 世代（子ども 15 才未満を含む）で重要視されおり、若年層で重要視されている傾向はあるが、世帯構成において子どもがいる世帯で重要視されているなどの明確な傾向性は読み取れない。

「川や港とふれあえる環境の整備」について

「川や港とふれあえる環境の整備」については、満足度 3.010、重要度 3.809 で重要度が平均以下であるため、改善の必要性が低い項目に位置づけられる。

年齢では 20 歳代、40 歳代、60 歳代、世帯構成では単身者、2 世代（子ども 15 才未満を含む）、3 世代（子ども 15 才以上）で重要視されており、年齢や世帯構成における明確な傾向性は読み取れない。

「生活マナーの向上」について

「生活マナーの向上」については、満足度 2.220、重要度 4.334 で満足度が平均以下であるため、優先して改善を要する項目に位置づけられる。

年齢では 20～30 歳代、世帯構成では子ども 15 才未満を含む 2 世代・3 世代で重要視されており、若年層や小さな子どもを持つ世帯で重要視されている傾向にある。

「スポーツ施設や屋外レクリエーション施設の整備や使いやすさ」について

「スポーツ施設や屋外レクリエーション施設の整備や使いやすさ」については、満足度 2.730、重要度 3.517 でともに平均以下であるため、現状維持またはあり方について検討を要する項目に位置づけられる。

年齢では 30～40 歳代、世帯構成では 2 世代（子ども 15 才未満を含む）、3 世代（子ども 15 才未満を含む）で重要視されており、壮年・中年層や小さな子どもを持つ世帯で重要視されている傾向にある。

「高齢者が安心して暮らすための支援・施設の整備や使いやすさ」について

「高齢者が安心して暮らすための支援・施設の整備や使いやすさ」については、満足度 2.620、重要度 4.148 で満足度が平均以下であるため、優先して改善を要する項目に位置づけられる。

年齢では 20 歳代、40 歳代、60 歳以上、世帯構成では単身者、2 世代（子ども 15 才以上）3 世代で重要視されており、年齢における明確な傾向性はないが、比較的大きな子どもを持つ世帯で重要視されている傾向にある。

「安心して子育てをするための支援・施設の整備や使いやすさ」について

「安心して子育てをするための支援・施設の整備や使いやすさ」については、満足度 2.658、重要度 4.112 で満足度が平均以下であるため、優先して改善を要する項目に位置づけられる。

年齢では 20～30 歳代、世帯構成では子ども 15 才未満を含む 2 世代・3 世代で重要視されており、若年層や小さな子どもを持つ世帯で重要視されている傾向にある。

「子どもの教育・青少年の健全育成」について

「子どもの教育・青少年の健全育成」については、満足度 2.668、重要度 4.179 で満足度が平均以下であるため、優先して改善を要する項目に位置づけられる。

年齢では 20～30 歳代、70 歳以上、世帯構成では子ども 15 才未満を含む 2 世代・3 世代で重要視されており、若年層や小さな子どもを持つ世帯で重要視されている傾向にある。

「防犯対策」について

「防犯対策」については、満足度 2.630、重要度 4.338 で満足度が平均以下であるため、優先して改善を要する項目に位置づけられる。

性別では女性、年齢では 20～40 歳代、世帯構成では夫婦のみの世帯、2 世代、3 世代（子ども 15 才未満を含む）で重要視されている傾向にある。

3. 「温暖化対策」について

温暖化対策への取り組み状況について

温暖化対策への取り組み状況について、エコライフの実践、省エネ行動、公共交通機関等の利用、G30の推進によるごみ削減は約6～7割が既に取り組んでおり、年齢別でも目立った特徴はみられない。

エコドライブの実践については、約4割が既に取り組んでおり、性別では男性、年齢では40～60歳代で既に取り組んでいる割合が高い傾向にある。

「緑のカーテン」づくりについては、既に取り組んでいるのは約1割しかいないが、約5割が今後取り組みたい/取り組めるとしており、その中でも性別では女性、年齢では30～40歳代で割合が高い傾向にある。

エコライフの実践について

エコライフの実践への取り組みについては、「既に取り組んでいる」がもっとも多く55.6%、次いで「今後取り組みたい/取り組める」(36.6%)、「今後も取り組まない/取り組めない」(4.4%)となっている。

年齢別にみると、いずれの年代においても「既に取り組んでいる」の割合がもっとも高くなっている。

省エネ行動について

省エネ行動への取り組みについては、「既に取り組んでいる」がもっとも多く71.9%、次いで「今後取り組みたい/取り組める」(23.6%)、「今後も取り組まない/取り組めない」(1.5%)となっている。

年齢別にみると、いずれの年代においても「既に取り組んでいる」の割合がもっとも高くなっている。

公共交通機関等の利用について

公共交通機関等の利用への取り組みについては、「既に取り組んでいる」がもっとも多く70.3%、次いで「今後取り組みたい/取り組める」(19.8%)、「今後も取り組まない/取り組めない」(5.9%)となっている。

年齢別にみると、いずれの年代においても「既に取り組んでいる」の割合がもっとも高くなっている。

G30の推進によるごみ削減について

G30の推進によるごみ削減への取り組みについては、「既に取り組んでいる」がもっとも多く65.0%、次いで「今後取り組みたい/取り組める」(28.7%)、「今後も取り組まない/取り組めない」(2.2%)となっている。

年齢別にみると、20歳代では「今後取り組みたい/取り組める」、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「既に取り組んでいる」の割合がもっとも高くなっている。

エコドライブの実践について

エコドライブの実践への取り組みについては、「既に取り組んでいる」がもっとも多く42.4%、次いで「今後取り組みたい/取り組める/賛成できる」(42.3%)、「今後も取り組まない/取り組めない/賛成できない」(2.7%)となっている。

性別で見ると、男性では「既に取り組んでいる」、女性では「今後取り組みたい/取り組める/賛成できる」の割合がもっとも高くなっている。「今後取り組みたい/取り組める/賛成できる」の中では、女性の割合が高くなっている。

年齢別にみると、20歳代、30歳代、70歳以上では「今後取り組みたい/取り組める/賛成できる」、40歳代、50歳代、60歳代では「既に取り組んでいる」の割合がもっとも高くなっている。「今後取り組みたい/取り組める/賛成できる」の中では、30歳代、40歳代の割合が高くなっている。

「緑のカーテン」づくりについて

「緑のカーテン」づくりへの取り組みについては、「今後取り組みたい/取り組める」がもっとも多く52.0%、次いで「今後も取り組まない/取り組めない」(32.1%)、「既に取り組んでいる」(10.5%)となっている。

性別で見ると、いずれにおいても「今後取り組みたい/取り組める」の割合がもっとも高くなっている。「今後取り組みたい/取り組める」の中では、女性の割合が高くなっている。

年齢別にみると、いずれの年代においても「今後取り組みたい/取り組める」の割合がもっとも高くなっている。「今後取り組みたい/取り組める」の中では、30歳代、40歳代の割合が高くなっている。

自転車利用頻度と駐輪場整備意向について

自転車の利用頻度について、約 6 割が利用していない状況にあるが、約 2 割は日常的に利用（週 3 回以上）している。現在利用している層としては、性別では男性、年齢では 30 歳代、居住地では D 地区で割合が高い傾向にある。

駐輪場の整備意向について、約 4 割が駅周辺への希望を示している。居住地別にみてもすべての地区において駅周辺への希望が高くなっているが、スーパーへの希望では A 地区、商店街周辺への希望では B 地区で割合が高い傾向にある。

自転車利用頻度について

自転車の利用頻度については、「利用していない」がもっとも多く 62.3%、次いで「ほとんど毎日利用している」（14.7%）、「週 1~2 回利用している」（14.3%）となっている。

性別でみると、いずれにおいても「利用していない」の割合がもっとも高くなっている。利用している割合としては男性の方が高くなっている。

年齢別にみると、いずれの年代においても「利用していない」の割合がもっとも高くなっている。利用している割合としては 30 歳代が高くなっている。

居住地別にみると、いずれの地区においても「利用していない」の割合がもっとも高くなっている。利用している割合としては D 地区が高くなっている。

駐輪場整備意向について

駐輪場の整備意向については、「駅周辺にほしいと思う」がもっとも多く 40.4%、次いで「商店街周辺にほしいと思う」（17.4%）、「スーパーなどにほしいと思う」（10.5%）となっている。

居住地別にみると、いずれの地区においても「駅周辺にほしいと思う」の割合がもっとも高くなっている。「スーパーなどにほしいと思う」では A 地区、「商店街周辺にほしいと思う」では B 地区の割合が高くなっている。

4. 「障害者福祉」について

障害者支援について

障害者支援について、既にボランティアなどの活動を行っている層としては、性別では女性、年齢では40歳以上、居住地ではD・E地区で割合が高い傾向にある。また、現在は行っていないが、ボランティアなどの障害者支援の活動を行いたいとする層としては、性別では男性、年齢では20歳代、居住地ではA地区で割合が高い傾向にある。さらに、具体的な活動はできないが、募金やグッズの購入などで力になりたいとする層としては、性別、年齢、居住地による差異はあまりみられないが、強いていえば性別では女性、年齢では50歳代、居住地ではC・D地区で割合が高い傾向にある。

障害者に対する支援については、「具体的な活動はできないが、募金やグッズの購入などで力になりたい」がもっとも多く53.6%、次いで「わからない」(23.3%)、「現在は行っていないが、ボランティアなどの障害者支援の活動を行いたい」(13.5%)となっている。

性別で見ると、いずれにおいても「具体的な活動はできないが、募金やグッズの購入などで力になりたい」の割合がもっとも高くなっている。「現在は行っていないが、ボランティアなどの障害者支援の活動を行いたい」の割合としては男性の方が高くなっている。

年齢別にみると、いずれの年代においても「具体的な活動はできないが、募金やグッズの購入などで力になりたい」の割合がもっとも高くなっている。「現在は行っていないが、ボランティアなどの障害者支援の活動を行いたい」では20歳代の割合が高くなっている。

居住地別にみると、いずれの地区においても「具体的な活動はできないが、募金やグッズの購入などで力になりたい」の割合がもっとも高くなっている。「現在は行っていないが、ボランティアなどの障害者支援の活動を行いたい」ではA地区の割合が高くなっている。

ポレポレグッズについて

ポレポレグッズについて、知っているし、購入したことがある層としては、性別では女性、年齢では60歳以上、居住地ではD・E地区で割合が高い傾向にある。また、知らなかったが、購入したいとする層としては、性別、年齢、居住地による差異はあまりみられないが、強いていえば性別では男性、年齢では20歳代、居住地ではC地区で割合が高い傾向にある。

「ポレポレグッズ」の認知度については、「知らなかったが、購入したい」がもっとも多く38.3%、次いで「知っているが、購入したことはない」(20.7%)、「知っているし、購入したことがある」(20.3%)となっている。

性別で見ると、いずれにおいても「知らなかったが、購入したい」の割合がもっとも高くなっている。「知っているし、購入したことがある」の割合としては女性の方が高くなっている。

年齢別にみると、いずれの年代においても「知らなかったが、購入したい」の割合がもっとも高くなっている。「知っているし、購入したことがある」では60歳代、70歳以上の割合が高くなっている。

居住地別にみると、いずれの地区においても「知らなかったが、購入したい」の割合がもっとも高くなっている。「知っているし、購入したことがある」ではD地区、E地区の割合が高くなっている。

障害者サービスについて

障害者サービスについて、安心してすごせる居場所の確保、就労の場の確保、家族への支援などで割合が高い傾向にあり、居住地別にみてもすべての地区において同様の傾向となっている。

障害者に必要なサービスについては、「安心してすごせる居場所の確保」がもっとも多く24.2%、次いで「就労の場の確保」(16.3%)、「家族への支援」(12.9%)となっている。

居住地別にみると、いずれの地区においても「安心してすごせる居場所の確保」の割合がもっとも高くなっている。

4. 「障害者福祉」について

障害者支援について

障害者支援について、既にボランティアなどの活動を行っている層としては、性別では女性、年齢では40歳以上、居住地ではD・E地区で割合が高い傾向にある。また、現在は行っていないが、ボランティアなどの障害者支援の活動を行いたいとする層としては、性別では男性、年齢では20歳代、居住地ではA地区で割合が高い傾向にある。さらに、具体的な活動はできないが、募金やグッズの購入などで力になりたいとする層としては、性別、年齢、居住地による差異はあまりみられないが、強いていえば性別では女性、年齢では50歳代、居住地ではC・D地区で割合が高い傾向にある。

障害者に対する支援については、「具体的な活動はできないが、募金やグッズの購入などで力になりたい」がもっとも多く53.6%、次いで「わからない」(23.3%)、「現在は行っていないが、ボランティアなどの障害者支援の活動を行いたい」(13.5%)となっている。

性別で見ると、いずれにおいても「具体的な活動はできないが、募金やグッズの購入などで力になりたい」の割合がもっとも高くなっている。「現在は行っていないが、ボランティアなどの障害者支援の活動を行いたい」の割合としては男性の方が高くなっている。

年齢別にみると、いずれの年代においても「具体的な活動はできないが、募金やグッズの購入などで力になりたい」の割合がもっとも高くなっている。「現在は行っていないが、ボランティアなどの障害者支援の活動を行いたい」では20歳代の割合が高くなっている。

居住地別にみると、いずれの地区においても「具体的な活動はできないが、募金やグッズの購入などで力になりたい」の割合がもっとも高くなっている。「現在は行っていないが、ボランティアなどの障害者支援の活動を行いたい」ではA地区の割合が高くなっている。

ボランティア活動について

ボランティア活動について、約 4 割が知っているにもかかわらず参加していない状況にある。

各属性別でもほぼ同様の傾向にあるが、知っており、参加している層としては、性別では女性、年齢では 50 歳以上、居住地では E 地区、居住年数では 30 年以上で割合が高い傾向などの特徴がある。また、知っているが、参加していない層としては、性別では女性、年齢では 70 歳以上、居住地では E・F 地区、居住年数では 20 年以上で、さらに、知らないが、あるなら参加したいとする層としては、性別では男性、年齢では 20～30 歳代、居住地では A 地区、居住年数では 5 年未満で割合が高い傾向にある。

その他の特徴として、年齢別では 20～30 歳代、居住地では A 地区、居住年数では 5 年未満で知らないがあるなら参加したいの割合が高い傾向にある。

各種ボランティア活動の認知度については、「知っているが、参加していない」がもっとも多く 43.6%、次いで「知らないが、あるなら参加したい」(20.4%)、「知らないし、参加するつもりもない」(19.5%)となっている。

性別で見ると、いずれにおいても「知っているが、参加していない」の割合がもっとも高くなっている。「知っており、参加している」の割合としては女性の方が高くなっている。

年齢別にみると、20 歳代では「知らないが、あるなら参加したい」、「知らないし、参加するつもりもない」、30 歳代では「知らないが、あるなら参加したい」、40 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では「知っているが、参加していない」の割合がもっとも高くなっている。

世帯構成別にみると、いずれの世帯構成においても「知っているが、参加していない」の割合がもっとも高くなっている。「知っており、参加している」では 3 世代(子ども 15 才未満を含む)の割合が高くなっている。

居住地別にみると、A 地区では「知らないが、あるなら参加したい」、それ以外の地区では「知っているが、参加していない」の割合がもっとも高くなっている。「知っており、参加している」では E 地区の割合が高くなっている。

居住年数別にみると、1 年未満、1～3 年未満、3～5 年未満では「知らないが、あるなら参加したい」、5～10 年未満、10～20 年未満、20～30 年未満、30 年以上では「知っているが、参加していない」の割合がもっとも高くなっている。「知っており、参加している」では 30 年以上の割合が高くなっている。

自由時間別にみると、いずれの時間においても「知っているが、参加していない」の割合がもっとも高くなっている。

地域とのかかわりについて

地域とのかかわりについて、約 4 割が地域活動への参加は難しいが地域のことをもっと知りたいとしており、性別、年齢、世帯構成、居住地、居住年数別のいずれでもすべて同様の傾向となっている。地域の課題を解決するための活動に参加していきたい層としては、性別では男性、年齢では 60 歳代、世帯構成では 3 世代（子ども 15 才未満を含む）、居住地では E 地区、居住年数では 30 年以上、自由時間では 3～5 時間未満で割合が高い傾向にある。

また、自由時間別の特徴として、1 時間未満では余暇の時間がなく地域とかかわっていくのが難しいの割合が高い傾向にある。

地域とのかかわりへの考え方については、「地域活動に参加するのは難しいが、郷土史やタウン情報など、住んでいる地域のことをもっと知りたい」がもっとも多く 45.5%、次いで「余暇の時間がないため、今後も地域とかかわっていくことは難しい」(23.1%)、「福祉・防犯・防災など、地域の課題を解決するための活動に参加していきたい」(20.6%)となっている。

性別でみると、いずれにおいても「地域活動に参加するのは難しいが、郷土史やタウン情報など、住んでいる地域のことをもっと知りたい」の割合がもっとも高くなっている。「福祉・防犯・防災など、地域の課題を解決するための活動に参加していきたい」の割合としては男性の方が高くなっている。

年齢別にみると、いずれの年代においても「地域活動に参加するのは難しいが、郷土史やタウン情報など、住んでいる地域のことをもっと知りたい」の割合がもっとも高くなっている。「福祉・防犯・防災など、地域の課題を解決するための活動に参加していきたい」では 60 歳代の割合が高くなっている。

世帯構成別にみると、いずれの世帯構成においても「地域活動に参加するのは難しいが、郷土史やタウン情報など、住んでいる地域のことをもっと知りたい」の割合がもっとも高くなっている。「福祉・防犯・防災など、地域の課題を解決するための活動に参加していきたい」では 3 世代（子ども 15 才未満を含む）の割合が高くなっている。

居住地別にみると、いずれの地区においても「地域活動に参加するのは難しいが、郷土史やタウン情報など、住んでいる地域のことをもっと知りたい」の割合がもっとも高くなっている。「福祉・防犯・防災など、地域の課題を解決するための活動に参加していきたい」では E 地区の割合が高くなっている。

居住年数別にみると、いずれの居住年数においても「地域活動に参加するのは難しいが、郷土史やタウン情報など、住んでいる地域のことをもっと知りたい」の割合がもっとも高くなっている。「福祉・防犯・防災など、地域の課題を解決するための活動に参加していきたい」では 30 年以上の割合が高くなっている。

自由時間別にみると、1 時間未満では「余暇の時間がないため、今後も地域とかかわっていくことは難しい」それ以上の時間では「地域活動に参加するのは難しいが、郷土史やタウン情報など、住んでいる地域のことをもっと知りたい」の割合がもっとも高くなっている。

6. 「横浜開港 150 周年」について

150 周年記念事業について

150 周年記念事業について、記念植樹・花壇製作等の緑化活動、記念コンサートなどイベントの開催、区の木の設定などで割合が高い傾向にあり、年齢別、居住地別のいずれでみてもすべて同様の傾向となっている。

中区が実施すべき開港 150 周年記念事業については、「記念植樹・花壇製作等の緑化活動」がもっとも多く 51.8%、次いで「記念コンサートなど、イベントの開催」(35.8%)、「区の木の設定」(12.1%)となっている。

年齢別、居住地別にみると、いずれの年代、居住地においても「記念植樹・花壇製作等の緑化活動」の割合がもっとも高くなっている。

来訪者サービスについて

来訪者サービスについて、約 5 割が案内標示の充実、観光案内所の設置としている。

年齢別の特徴として、30～40 歳代では同様の傾向にあるが、20 歳代では交通機関網・便数などの充実、50 歳以上では公共トイレの充実で割合が高い傾向にある。

その他、世帯構成別の特徴として、単身者、子ども 15 才未満を含む 2 世代・3 世代では公共トイレの充実で割合が高い傾向にある。

来訪者へのサービスとして必要なことについては、「案内板や誘導標示などの案内標示の充実、観光案内所の設置」がもっとも多く 48.5%、次いで「公共トイレの充実」(47.4%)、「電車やバスなどの交通機関網・便数などの充実」(43.0%)となっている。

性別でみると、いずれにおいても「案内板や誘導標示などの案内標示の充実、観光案内所の設置」の割合がもっとも高くなっている。

年齢別にみると、20 歳代では「電車やバスなどの交通機関網・便数などの充実」、30 歳代、40 歳代では「案内板や誘導標示などの案内標示の充実、観光案内所の設置」、50 歳代では「歩きやすい歩道の整備」、60 歳代、70 歳以上では「公共トイレの充実」の割合がもっとも高くなっている。

世帯構成別にみると、単身では「公共トイレの充実」、夫婦のみの世帯、2 世代(子ども 15 才以上)、3 世代(子ども 15 才以上)では「案内板や誘導標示などの案内標示の充実、観光案内所の設置」、2 世代(子ども 15 才未満を含む)では「案内板や誘導標示などの案内標示の充実、観光案内所の設置」、「公共トイレの充実」、3 世代(子ども 15 才未満を含む)では「電車やバスなどの交通機関網・便数などの充実」、「案内板や誘導標示などの案内標示の充実、観光案内所の設置」、「公共トイレの充実」の割合がもっとも高くなっている。

7. 「インターネットの利用」について

インターネット利用状況について

インターネットの利用状況について、利用しているが約 6 割、利用していないが 4 割弱となっている。利用者のアクセス方法としては、4 割弱がパソコンと携帯電話の両方、6 割弱がパソコン、1 割弱が携帯となっている。性別でみると、女性で利用していない割合が高い傾向にあるほか、年齢別の特徴として、20 歳代ではパソコンと携帯での利用、30～50 歳代ではパソコンでの利用、60 歳以上では利用していないの割合が高い傾向にある。

インターネットの利用状況については、「インターネットは利用していない」がもっとも多く 35.0%、次いで「パソコンで、ホームページの閲覧やメールなどで利用している」(34.3%)、「パソコンと携帯電話を両方とも活用し、ホームページの閲覧やメールなどで利用している」(21.7%)となっている。

性別でみると、男性では「パソコンで、ホームページの閲覧やメールなどで利用している」、女性では「インターネットは利用していない」の割合がもっとも高くなっている。

年齢別にみると、20 歳代では「パソコンと携帯電話を両方とも活用し、ホームページの閲覧やメールなどで利用している」、30 歳代、40 歳代、50 歳代では「パソコンで、ホームページの閲覧やメールなどで利用している」、60 歳代、70 歳以上では「インターネットは利用していない」の割合がもっとも高くなっている。

自由時間別にみると、1 時間未満、1～3 時間未満、3～5 時間未満では「パソコンで、ホームページの閲覧やメールなどで利用している」、5 時間以上では「インターネットは利用していない」の割合がもっとも高くなっている。

ホームページの認知度について

中区役所や横浜市役所のホームページの認知度について、74.6%が認知しており、平成19年度横浜市市民意識調査の市のホームページ認知度(58.7%)、区のホームページ認知度(46.8%)と比較すると大幅に向上している。利用状況については、約7割が必要があるときに見る程度としており、性別、年齢、自由時間別のいずれでもすべて同様の傾向となっている。知らないが今後は見てみたい層としては、性別では女性、年齢では50歳代、自由時間では3時間以上で割合が高い傾向にある。

中区役所や横浜市役所のホームページの認知度については、「知っているが、必要があるときに見る程度」がもっとも多く71.5%、次いで「知らないが、今後は見てみたい」(19.7%)、「知らないし、今後見るつもりはない」(5.2%)となっている。

性別でみると、いずれにおいても「知っているが、必要があるときに見る程度」の割合がもっとも高くなっている。「知らないが、今後は見てみたい」の割合としては女性の方が高くなっている。

年齢別にみると、いずれの年代においても「知っているが、必要があるときに見る程度」の割合がもっとも高くなっている。「知らないが、今後は見てみたい」では50歳代の割合が高くなっている。

自由時間別にみると、いずれの時間においても「知っているが、必要があるときに見る程度」の割合がもっとも高くなっている。「知らないが、今後は見てみたい」では3~5時間未満、5時間以上の割合が高くなっている。

い/取り組めない」と回答する割合も 32.1%と他に比べて多くなっている。

自転車の利用頻度については、「利用していない」が 62.3%と最も多いが、今後積極的に自転車を利用するために、駅や商店街周辺に駐輪場を整備してほしいとする割合が多くなっている

(4)「障害者福祉」について【問 21～23】

障害者に対する支援については、「具体的な活動はできないが、募金やグッズの購入などで力になりたい」が 53.6%と最も多く、「既にボランティアなどの障害者支援の活動を行っている」は 5.5%となっている。

「ポレポレグッズ」の認知度については、「知らなかったが購入したい」が 38.3%で最も多いが、「知っているし、購入したことがある」、「知っているが、購入したことはない」を合わせた「知っている」とする回答も 41.0%となっている。

障害者に必要なサービスについては、「安心してすごせる居場所の確保」、「就労の場の確保」が上位となっている。

(5)「地域とのかかわり」について【問 24～26】

自治会・町内会活動（老人クラブや子ども会等を含む）、各種ボランティア活動の認知度については、いずれも「知っているが、参加していない」が約 4 割でもっとも多くなっている。「知っており、参加している」、「知っているが、参加していない」を合わせた「知っている」とする回答では、自治会・町内会活動で 73.1%、各種ボランティア活動で 53.2%となっている。

地域とのかかわりへの考え方については、「地域活動に参加するのは難しいが、郷土史やタウン情報など、住んでいる地域のことをもっと知りたい」が 45.5%でもっとも多くなっている。

(6)「横浜開港 150 周年」について【問 27～28】

中区が実施する開港 150 周年事業については、「記念植樹・花壇製作等の緑化活動」が 51.8%でもっとも多く、来訪者へのサービスとして必要なことについては、「案内板や誘導標示などの案内標示の充実、観光案内所の設置」、「公共トイレの充実」が上位となっている。

(7)「インターネットの利用」について【問 29～30】

インターネットの利用状況については、パソコン、携帯にかかわらず「利用している」とする回答は 60.5%で、「インターネットは利用していない」は 35.0%となっている。中区役所や横浜市役所のホームページの認知度については、「知っているが、必要があるときに見る程度」が 71.5%でもっとも多くなっている。

自由意見欄のまとめ

1 自由意見のテーマ分類

テーマ分類	意見数	%
交通	88	11.5%
区政全般・その他意見	74	9.7%
道路	54	7.0%
自転車	47	6.1%
環境	47	6.1%
ごみ	43	5.6%
景観	34	4.4%
行政サービス	33	4.3%
福祉 (うち3障害施設関連 2)	30	3.9%
子育て	27	3.5%
防犯	27	3.5%
商店街・経済	27	3.5%
タバコ	24	3.1%
マナー	24	3.1%
公園	22	2.9%
観光	21	2.7%
感想	17	2.2%
満足	15	2.0%
施設整備	14	1.8%
警察	13	1.7%
山手駅	12	1.6%
生活保護	10	1.3%
港湾	9	1.2%
外国人	8	1.0%
寿町	8	1.0%
意識調査に対する意見	7	0.9%
防災	7	0.9%
150周年イベント	6	0.8%
医療	6	0.8%
広報	6	0.8%
コミュニティ・市民活動	6	0.8%
合計	766	100.0%

・ 自由意見記入あり調査票 603 件。カテゴリー別分類は重複あり。

2 主な自由意見 【順不同】

交通

- ・本牧に地下鉄・駅がほしい。元町～根岸間に鉄道（地下鉄・路面電車・モノレール等）を整備してほしい。【27件】
- ・通勤時間帯や深夜のバス便数を増やしてほしい。【12件】
- ・交通機関を充実してほしい。【4件】
- ・バス路線が減ったり変更になって困っている。【3件】
- ・関内駅にもエレベータ、エスカレータがほしい。【3件】
- ・駅から自宅近くまでバスが通るようになりとても便利になりました。【2件】
- ・桜木町～山下公園間に子どもに喜ばれる路面電車を整備してほしい。
- ・みなとみらい線を延長して、本牧 磯子 上大岡へと継いで、京浜急行と結ぶと良いと思います。
- ・横浜市営バスは乗りづらい、降りづらい、運転が下手。
- ・高齢者や障害者が利用しやすいミニバスの路線をもっと広げていただきたい。
- ・バスを車イスの方が利用される場合、当然乗車に10分程度は掛かってしまうのですが、朝のラッシュ時には運転手さん、乗客も時間に間に合うかしら？と焦ってしまいます。勿論、車イスの方には一番プレッシャーが掛かると思います。改善策はないですか？例えば、車イスの方は7時から9時半の間はタクシー2km以内の利用に市から補助を出してあげるとか・・・。
- ・MM線と東横線がクーラー効き過ぎで寒いしエコにも悪い。
- ・本牧周辺を利用していますが、交通の便がイマイチです。バスが遅れたりする時は、バス停にランプなどで知らせが入るとかのサービスが欲しいです。
- ・21系統バスの最終バス時刻が22:35ぐらいで、深夜残業が24時ぎりぎりの時はタクシー以外ムリなのでとても不便です。
- ・中区は自動車、バイク、乗り入れ不可にしましょう。（次世代列車のみバス路線にも走らせて）。路面電車復活。
- ・路上駐車のとりにしまりの強化。キケンで事故のもと。公正に行われていない。かたよりがあり必要なところ程とりにしまりが行われていないと感じる。関内周辺・本牧商店街等。本牧商店街 路上駐車のをせいで自転車が車道通行できない。商店街のため歩道はせまく自転車通行がキケン。
- ・バスがいつも遅れてくるし、団子になっている。定時運行を。
- ・狭い商店街の道をスピードを落とさず、しかもクラクションを鳴らしながら、強引に進む車が多く、不快。
- ・山手駅から桜木町まで行くバスを復活させてほしい。
- ・関内駅のタクシーの列をなくてほしい。
- ・LRTのようなフラットな路面電車、バスの充実。
- ・バス路線は距離は短くして本数を増やしてほしい。
- ・とにかく本牧のバスの本数が少なすぎる。マンション乱立で人口もあがっているのに、なぜバスの本数をへらす？のるたびにギュー詰めなので雨以外の日は自転車を利用するほうがよい。本牧の住民をなめるな。
- ・観光地の駐車場整備。
- ・京浜東北線の遅延がひどすぎる。

- ・市営バス123系統のバスの本数を増やしてほしい。
- ・もっとデザインの良いバス停にしてほしい。
- ・70才未満でも利用できる、無料の送迎サービスがほしい。
- ・根岸線の桜木町止まりを減らし大船まで伸ばしてほしい。
- ・元町、中華街から目黒線南北線埼玉高速鉄道に乗り入れる列車を、朝、夕に数本、走らせて欲しい。
- ・桜木町～山下公園間に子どもに喜ばれる路面電車を整備してほしい。
- ・みなとみらい線を延長して、本牧 磯子 上大岡へと継いで、京浜急行と結ぶと良いと思います。
- ・横浜市営バスは乗りづらい、降りづらい、運転が下手。
- ・高齢者や障害者が利用しやすいミニバスの路線をもっと広げていただきたい。
- ・桜木町駅に東横線がなくなり、大変不便な思いをしている。MM線は地元の人にはあまり必要ではなかったのでは？・桜木町～山下公園間に子どもに喜ばれる路面電車を整備してほしい
- ・みなとみらい線を延長して、本牧 磯子 上大岡へと継いで、京浜急行と結ぶと良いと思います。
- ・横浜市営バスは乗りづらい、降りづらい、運転が下手。
- ・元町・中華街から目黒線南北線埼玉高速鉄道に乗り入れる列車を、朝、夕に数本、走らせてほしい。
- ・環境重視の乗り物へのシフト
- ・駅にエレベーターがない所があり、ベビーカーなど非常に不便
- ・市営バス105系統のルートに急行を作ってほしい。
- ・本牧間門地区は駅(特に横浜駅)へ出るバス便が少ない
- ・本牧間門地区はバス便が少なく、しかも本数が少なくよく遅れる
- ・山元町のバス便を増やしてほしい
- ・山元町から本牧へ行けるバス便がほしい
- ・タクシーに朝もっと自由に乗れるようにしてほしい

区政全般・その他意見

- ・弱者にやさしいまちづくりを。高齢者、子どもが住みやすい町。【12件】
- ・安全安心で住みやすいまちづくり 【7件】
- ・歴史的な資産、文化、港町、観光地、文化地区を意識したまちづくり【5件】
- ・ハード整備はもういいのでソフトを充実してほしい。【2件】
- ・観光よりも生活重視の区政をやってほしい。【2件】
- ・中区は横浜の顔なので中区の整備は重要。「ヨコハマの港町としてのあるべき姿」を追求した街づくりに徹して欲しい。【2件】
- ・横浜は観光地でもあり、商業港でもある。両者のうまい棲み分けが必要。
- ・横浜発展の源としてこれからも他区に先がけた取り組みを。
- ・人、動物、植物等、生命ある者が隠やかに過ごす事の出来る空間が多くなればと願っております。
- ・山手町・みなとみらい地区・東口(横浜)と中区のみならず、横のつながりを持ち、横浜全体の魅力ある街作りを期待しております。
- ・中区だけではなく、世界に目を向けた取り組みをしてほしい。夜景とかは私も好きだけど、それによって貧しい国の人たちが命の危機におちいるくらいなら(温暖化で)ネオンはいらない。それによって税金も電気代が少しくと思う。
- ・教育現場の働く環境が悪すぎる。また保育士・幼稚園教諭の給料が安すぎる。地方公務員が残業し

すぎて、終電がなくなってタクシーで帰るくらいなら、そのお金をうまく他に使って欲しい。

- ・給食を先生 or 生徒が自己責任で残り物を持って帰れたらいい。毎日すごい量が捨てられています。
- ・世界からヨコハマを考えたレベルの高い工夫のある事業やイベントが中区には望ましい。私の知っている昔の中区は山手の風景を含めてもっと外国の良いセンスに恵まれていた様に思われます。もっとのびのびとした個性の有るヨコハマを作ってほしいです。
- ・中区に住んで良かったと思う街作りをお願いします。
- ・いろいろと特に問題にする所は見当たらないが今後どうなるのかは何とも今は言えない。
- ・あと約20年経つと中区は100歳となる。そのころ中区が世界のモデル区となるべく、今から理想の姿を具体的に描いて欲しい。短期の改革も必要だが、このくらいの長期ビジョンを明確に打ち出し、全区民の憧れ・夢としてもよいと思う。区長さん、いかが？
- ・横浜の顔としてのまちづくりを
- ・魅力ある街づくりを
- ・高齢者と若者が一緒に暮らせる街が良い
- ・今後もよりよい街づくりをお願いします
- ・人と人の心のふれあいを大切に
- ・中区はイメージが悪い。最悪
- ・中区民が、1人1人美化に対する責任を持ってきれいな町づくりをして行政面にもっと関心を示すようになっていければ...と思います。
- ・他県より環境を知らないで引っ越しをしてきたが、看板、歩道のせまさ、きたなさには、正直びっくりしている。場所柄仕方がないと思うが、もうすこし何とかならないでしょうか。
- ・ゆとりのある中区を作ってほしい
- ・それぞれの世代に対して、配慮のある区政を心がけてもらいたい。
- ・中区も大切ですが周辺の区との連携も重要。意見交換を密にすべき。縦割り社会はダメ
- ・国際都市横浜として、世界的にも知られていることから、もう少し外国人、来国者の人々に住みやすい都市、または、障害者、社会的弱者、青少年、女性等に優しい都市作りをする事で、社会的環境的先進国である北欧(スウェーデン、ノルウェー等)のような、行政と民政のバランスの取れた国(都市)になって行くと思います。歴史的にも、外国人が多く住む横浜が、本当の意味での先進都市になる事で、魅力ある町になって行くと思います。弱い立場の人に対する行政、社会サービスの充実がキーワードだと思います。
- ・異常な人口流入を防ぐために、マンション建設を規制し、教育施設や商業施設を充実させてほしい。

道 路

- ・電線を地中化してほしい(災害時に危ないので【1件】、危険だし景観が悪い【1件】)【8件】
- ・車道・歩道への駐車、駐輪の取締りを強化してほしい。【5件】
- ・歩道の整備をしてほしい 【5件】
- ・道路・歩道のごみを減らしてほしい【4件】
- ・歩道の切れ目の段差をなくしてほしい 【3件】
- ・街路樹の緑化に力を入れてほしい。車道脇に花や草木を多く植えて欲しい。 【3件】
- ・公共工事はまとめてやってほしい。毎年同じ所の工事をするのはやめてほしい。 【2件】
- ・住宅地の路地は路面がボコボコ。裏へ入ると極端に悪い。 【2件】

- ・4m未滿の道路の拡幅。消防車が入れるようにしてほしい。【2件】
- ・商店街の陳列棚が歩道にはみ出しているので指導を。商店街や中華街の歩道の一部占拠はひど過ぎます。【2件】
- ・山手本通りの歩道はガタガタする。ベビーカー、足の悪い人には苦痛。【2件】
- ・車道脇の植栽に雑草が多い【2件】
- ・自動車を制限し、歩行者・自転車にやさしいまちにしてほしい
- ・東横線高架下のラクガキが見苦しい
- ・トラックは専用道路だけ通行できるようにしてほしい
- ・中心地以外の道路清掃等をすすめてほしい
- ・トンネル内の歩道に鳥の糞がひどい
- ・歩道に植物や休めるベンチを設置してほしい
- ・本郷町あたりの通路に商店の人が商品を出して危険、狭い通路でバス停のところに、自転車、うば車、人が通るのでとても危ないです。
- ・山手本通りは歩道が狭く電信柱が邪魔。車はカーブなのにスピードを出し危険。
- ・石畳の道路を工事した後はちゃんと復旧すべき
- ・観光バス乗降場の整備
- ・伊勢佐木町通りを歩行者天国に
- ・坂が多く、又急な階段坂が多いので、スロープや手すりの設置がされている箇所が少ないと感じるので、設置を要望したい。
- ・生活道路、坂道の路面が悪いまま放置されており、危険。
- ・この辺の桜並木の街路樹が老いて来ています故、点検して欲しい。

自転車

- ・自転車道を歩道と分けて整備してほしい。【22件】
- ・自転車マナーが悪い【11件】
- ・利用しやすい駐輪場を整備してほしい【5件】
- ・スーパーの近くに自転車を止められるようにしてほしい。
- ・自転車は事故が起きやすいし、坂道も多いので、電車バス等を整備すべき
- ・医院の前に患者の自転車が駐車してあり歩道を塞いでいる
- ・自転車利用の推進を
- ・駐輪禁止区域の駐輪対策
- ・自転車よりも徒歩の励行を
- ・伊勢佐木町の自転車を取り締まってほしい
- ・歩道への違法駐輪で歩きにくい
- ・放置自転車の処分

環境

- ・緑化・緑地保全をしてほしい【25件】
- ・海・川を浄化してほしい【3件】
- ・植栽の維持管理強化（ボランティアを活用したらどうか）【2件】

- ・太陽光発電、風力発電の家庭導入への補助を 【2件】
- ・あまり人工的なものをふやさないで緑の多い静かでおちついた環境になる事を望みます。住んでいる所が観光地化され近年土日、人出が多く休日のんびりした気分になれません。
- ・中区福富町に「みどり」はありません
- ・ヒートアイランド対策の推進
- ・季節の花が咲くまちにしてほしい
- ・23時にはネオン消灯を
- ・日中玄関灯をつけっぱなしの家がありムダ
- ・遊べる川づくり
- ・オートバイ等の騒音規制
- ・港湾関係車輛の排気ガス削減をめざしてほしい
- ・自然環境を生かした街づくり（海からの風を利用した風力発電を一般家庭で利用など）風の流れを考えた建設など
- ・町中の大木を増やしてほしい
- ・日本石油のごみエントツより臭いにおいがして来ます。臭い方は2種類有ります。呼吸がくるしい時もあります。しかたがないではすまされない。
- ・側溝の溝を清掃し、蚊がわからないようにしてほしい
- ・MM地区をもっと緑化して下さい。できれば公園を整備してください。

ごみ

- ・ごみ集積所のカラス対策をしてほしい 【8件】
- ・ごみ収集回数を増やしてほしい 【5件】
- ・街の美化の強化。ごみのないまちづくりを。町が汚い。【7件】
- ・ごみを夜回収してほしい 【2件】
- ・ゴミ出し方法の見直し 【2件】
- ・清潔な町にしてほしい 【2件】
- ・ごみ収集場所の見直しを 【2件】
- ・ごみ置き場にごみ箱を設置してほしい 【2件】
- ・分別のわかりやすい表示、チラシ作成を（HPでもOK）。多言語化が必要 【2件】
- ・ある朝、横浜公園でサラリーマン風の男性（45才位）の人が、割バシとビニール袋を持って歩いていた。何かと思って見てたら、ハシでゴミを拾って歩いていた。・・・良い事と思った。
- ・ごみの収集時間を9時以降にしてほしい
- ・テイクアウト飲食店のごみを道路・花壇に捨てる人がいるので対策を
- ・ごみのポイ捨てを条例で厳しく取り締まってほしい
- ・ごみの収集場所を道路改修の際に検討してほしい
- ・リサイクル意識を高める取組を
- ・ゴミ収集場の管理は誰が行なっているのか、わからないため、地域によってバラつきがあり、近くの収集場（竹ノ丸、保育園近く）はネットも何もないためカラスの被害で、非常に見苦しくなり、また危険である。
- ・ごみ出しマナーが悪い

- ・ごみ処理方法を開発してほしい
- ・ごみネットを折りたたみ式のものにしてほしい
- ・ごみ出し時にネットをかけることを義務化してほしい

景 観

- ・自然との調和、歴史的建物の保存 【6件】
- ・中区らしさ、昔を偲ぶ風景を残してほしい 【5件】
- ・看板が景観を壊している 【4件】
- ・近代のかつ伝統的なまちにしてほしい 【2件】
- ・美しいまちにしたい、なってほしい 【2件】
- ・最近マンションが多くなり、歴史ある横浜の良さが失われつつあり、残念に思います。落ち着いた街並、色使いを考え老若男女、誰もが違和感のない中区にしてほしいと願っています。
- ・いるだけで雰囲気を感じられるまちづくり
- ・観光地の整備には金を掛けているが住宅地整備は不十分と感じます。
- ・すっきりしたまちにしてほしい
- ・風致地区の景観を守ってほしい
- ・マンションで観光地の美観が損ねられている
- ・象の鼻エリアは古い建物を残して欲しかった
- ・景観をある程度統一してほしい
- ・年月をかけた太い樹木と調和のとれた美しい建築物の配列が必要。ただ空いた土地に法律上ゆるされる建物を建てさせていたのでは街は美しくならない。記念館等は新しく建ててはいけないと思う。パネル展示の為の建物はいらぬ。
- ・大地震が来た際根岸週辺のコンビナートの危険性大、縮小検討を。三溪園より見える煙突の余りのひどさは観光地と呼ぶにふさわしくない。
- ・山下公園前を毎年イルミネーションでライトアップしてほしい
- ・色彩を統一し、芸術性の高い街に
- ・花いっぱいのもちにしてほしい
- ・整備されているところとそうでないところの差をなくして全体的に美しくしていくべき
- ・一戸建てがひしめき合っているのにいたずらに風致地区の網だけかけている

行政サービス

- ・税金を有効利用してほしい。税金の無駄遣いはやめてほしい。【8件】
- ・市民税が高い。 【5件】
- ・役所の職員の態度が悪い 【2件】
- ・開港150周年のイベント、記念品、又道路整備他、身体障害他、いろいろ金を使い大変だと思いが普通に何もせず生活している事も大変な時代です（物価、ガソリン等）どんどん上がって行く事でしょう。税金を使わず、生活が出来る様にして下さい。
- ・税金は有効に使うべき。非営利団体の病院や学校の経費をへらしたりするのではなく、経営のプロを使うべきです。又商業施設（スーパーマーケットなど）は計画的に建設されているのでしょうか。周辺の商業施設への影響も考えないとスラム化します

- ・区役所の駐車場台数が少なすぎる
- ・重要な手続き、相談、カウンセラーは、有料でもいいので土・日も開庁してほしい。
- ・定年退職した区職役人等の方のボランティア活動（天下り禁止！！）
- ・花火大会に中区民優待席を設置してほしい
- ・中区役所が汚い。
- ・中区役所はホームレスが多いため行きにくい
- ・環境と品格のある中区役所にしてほしい
- ・これからも行政側から積極的にメッセージの発信と交流をお願いします
- ・区庁舎を移転し、開放的で伸びやかな空間にして欲しい。息苦しいです。
- ・行政に対する不満がある
- ・高額納税者には何か特典を。
- ・介護保険の減額申請に行った時、窓口対応者が内容をあまり把握していない人だった、少しイラッとしました
- ・市役所に浮浪者が多く、女性の方が行きづらく大変だそうです！！
- ・市県民税を安くするよう努力してほしい
- ・現状に満足しているが、サービス等もっと開示するべきでは？

福祉

- ・高齢者支援の充実【4件】
- ・ホームレス支援・救済 【4件】
- ・バリアフリーの充実 【2件】
- ・障害のいがひらがなだったのはなぜですか
- ・(問23)のサービス提供施設に大変期待しております 利用者の使いやすさを考慮していただきたいと思います。
- ・若い人よりも、税金を多く納めた60代～70代の人の為の老後の為に行政をお願い致します。
- ・民生委員のいない町がある
- ・敬老乗車券は良いことです
- ・障害があり、将来の生活に不安がある。福祉が充実し、バリアフリーが進み、安全に安心して暮らせるような街作りが進むといい。
- ・福祉の充実を
- ・高齢者が自由に集える場所が必要
- ・要支援者のケアを最優先に
- ・若い人は日中いないのでネットワークが作りにくい
- ・在宅サービスの充実
- ・中区内の介護施設、サービスのPRを
- ・障害者の支援
- ・老後問題。現在の病院も、3ヶ月で出なければならぬし、入るとすぐに次の病院を考えなければならぬ状態です。はたして、入れる施設があるのだろうか心配です。
- ・安価で入所できる老人ホームを造ってほしい。
- ・高齢者が病気になっても安心して医療を受けられるような、中区にしていきたい。

- ・区内に安心して入居できる老人ホームを建設してほしい
- ・大きい公園やイベントホールは、もういらないので、市営の老人ホームの建設。高齢者が増えます。是非国民年金額で入居出来るホームを。

子育て

- ・子供たちがのびのび暮らせる環境を。遊び場の充実を。 【5件】
- ・公立学校（小・中）のレベルアップ（塾に頼らない教育のレベルアップ・私立との格差をちぢめる努力）、子どもの教育 【3件】
- ・子育てしやすい環境づくりを 【3件】
- ・子育て支援の充実 【2件】
- ・保育園が少ない。増やしてほしい。 【2件】
- ・幼稚園の給食や園バスを充実させてほしい！！ 【2件】
- ・産科を減らさないでほしい 【2件】
- ・（マンションが増えているのに）幼稚園がなく困っている 【2件】
- ・小さい子が多い為、生活が大変です。小3小5小6中2がいますが、はたらいでも、はたらいでも、苦しいです。いまでは子どもは、少ない方がよかったのかと思います。でもガンバラなければ。
- ・元町は犬には優しいが赤ちゃんにも優しい街にしてほしい
- ・妊産婦への助成を
- ・区役所におもちゃを置いてあるコーナーがあるのに、職員がえらそうに「チラシなど資料を取りに来て待っている間だけ使えます。声をかけてから使って下さい」との事、。誰も使ってませんよ。無駄です。自由に使わせて下さい。
- ・学区の自由化

防犯

- ・治安を強化してほしい 【6件】
- ・街灯を増やしてほしい 【5件】
- ・夜間防犯パトロールの強化 【4件】
- ・防犯カメラをまちにもっと設置してほしい 【2件】
- ・区民が安心して暮らせるまちにほしい
- ・少子高齢化が問題なので安心ある町づくりを目指して頂きたい。
- ・長年住んでいて、以前より物騒になっているのはとても残念
- ・犯罪や事故等を減らすための工夫を
- ・犯罪情報を知らせてほしい
- ・浮浪者が多いので、夜1人で歩く時こわいです。何らかの対策を希望します
- ・例えば都筑区で見かけるような「防犯強化区域」など、看板だけでもいいので、電信柱などに目立つようにはしてほしい。少しでも犯罪が減ればいいと思う。
- ・関内周辺の防犯強化を。
- ・地域活動など、おしえて下さい。何があるか知りません。それに伴ってご近所との交流を深めて、安全を街をつくりたいです。
- ・伊勢佐木町の風紀を取り締まってほしい

商店街・経済

- ・マイカル本牧の充実 【3件】
- ・スーパーマーケットを増やしてほしい 【2件】
- ・夜間空いているスーパーがほしい 【2件】
- ・中区は西区にくらべ、デパートもなくなり、若者が楽しめる場所が少ないと思う。
- ・買い物が不便
- ・野菜、果物、魚の直売所がほしい
- ・コンビニの深夜営業は続けて欲しい。
- ・海辺とつながれる風景の飲食店が増えて欲しいです。アウトドアなテラス的な場所がもう少しあると楽しめる気がします。
- ・秋に松坂屋閉店との事、デパートが元町～関内くらいに欲しいと思います。
- ・大和町が活気ある商店街のある明るい街になってほしい
- ・元町中華街駅の近くに都市銀行や他金融機関を充実させて欲しい。

タバコ

- ・タバコのマナーが悪い 【7件】
- ・区内全域で路上喫煙禁止に 【4件】
- ・歩きタバコを条例で禁止してほしい 【3件】
- ・ポイ捨ての禁止 【3件】
- ・飲食店での喫煙を禁止に 【2件】
- ・パスポの導入に対して疑問、目的は何か？未成年者の購入している所を未だ一度も見えていない。情報収集が目的と間違われる。たばこと酒の健康に対する比較は酒に対してはるかに微少、個人嗜好の制限、酒は極大。
- ・禁煙の店への助成があってもいいのでは
- ・公共の場こそ、分煙スペースを設けてほしい。全面禁煙には疑問。街中にもきちんと管理された喫煙所があれば、歩行喫煙、ポイステが減ると思います。(表参道には、商店管理の喫煙スペースがあります)
- ・タバコを自由に吸える場所を作ってほしい
- ・公共施設は禁煙にしてほしい
- ・スクールゾーンや駅周辺での歩きタバコを禁止してほしい

マナー

- ・モラルの欠けた人が増えている。マナーが悪すぎる 【5件】
- ・犬の散歩マナーが悪い 【3件】
- ・ゴミ出しのマナーが悪い 【2件】
- ・大人の方がマナーが悪い。子どもは大人のマネをするということを考えてほしい。【2件】
- ・人間としての基本ルールを学ぶ場を設置してほしい
- ・ここ最近自分たちさえよければいいと思って行動している人が多くなって来ているので非常に住みにくいです。

- ・大通り公園石の広場とか市役所・関内駅周辺は浮浪者・放置自転車・ゴミの投棄などが目につきます。
- ・公共交通機関内での携帯電話マナーが悪い
- ・バスやタクシー運転手はマナー・運転技術向上を
- ・犬の糞を条例で規制してほしい
- ・学生が歩道いっぱい歩いていて、急いでいる時に不満
- ・公共施設でのマナーの悪さが目に付く
- ・歩きながらのメールなど、歩行者のマナーの悪さも目に付く
- ・「公共」をわきまえられない人たちへの忠告も行政で積極的に行ってもらいたい

公 園

- ・公園の整備・充実 【3件】
- ・公園のごみをへらしてほしい
- ・公園の雑草を減らしてほしい
- ・子どもたちがボール遊びできる公園に
- ・ホームレスに占拠されない公園
- ・大通公園にトイレをもう少し設置してもらいたい。
- ・石の広場と大通り公園にごみ箱と灰皿を設置してほしい
- ・福富町西公園は最近すいが入れまで徹去してしまいました。その為あった時以上にひどくなって参りました。区の清掃は金旺と月旺との為出来る限り清掃しておりますがもう少し役所の協力を願います。何度かTELにてお願いをしても規則ですからの一点ばかりで本当につめたいです
- ・港の見える丘公園にはもっと大きな分別式ごみ箱を
- ・本牧せせらぎ公園の水が汚い
- ・不動下公園の遊具が撤去された後そのままなので、設置してほしい
- ・山下公園で、以前のようにマナー啓発の放送をしてほしい
- ・元町公園弓道場の改善を
- ・“新山下公園”の計画を早く実現してほしい(その場合、海上遊歩道で山下公園方面につながるようにしてほしい)
- ・お金をかけずに遊べる公園を整備してほしい
- ・各公園にペット用の糞の捨てる箱を用意してほしい
- ・港の見える丘公園をちゃんと海に見える公園にしてください
- ・公園の木を減らさないでほしい
- ・大通公園の近くに住んでいるが、催物の雑音対策をして欲しい。
- ・公園が子供の安心して遊べる所になる。大人が集団で居座っていて子供が迷惑しているところをよく見る。

観 光

- ・イルミネーション・ライトアップはいらない 【4件】
- ・観光よりも無駄を見つけ、なくしていく活動や住民サービスに力を入れてほしい 【3件】
- ・横浜市の特産物の宣伝。都内や千歳空港など、人の集まる場所や、流行発信場所で中区の名産 etc.

をアピールしてほしい(短いキャンペーンでOKなので)【2件】

- ・(横浜市主催の)イベントを増やしてほしい 【2件】
- ・観光地なのに観光地を知らないなので、区民優待を増やしてほしい。
- ・山手の洋館公開など、横浜らしくすばらしい
- ・大棧橋、山下公園の活性化
- ・標識が少なくPR不足
- ・中区民として150年を迎え、多くの人々が観光で来区されると思いますが、1人1人が自分の回りをきれいにし、プライドをもって本当の「おもてなし」をする気持ちが大切だと思います。
- ・山下公園でのイベント多くして人の集まる横浜にしてほしい。トイレの場所増やしてほしい！！
- ・観光客にかぎらず、区民も歴史を知ることができるようないくつかの観光コースを作るのもよいと思います。貝塚の歩みコース、吉田新田コース、食のはじめて物語コースなどがあれば楽しみながら中区の歴史を知り、この区を愛するようにもなると思います。(勝手ですが・・・)また、町名表示のところに、そのいわれを書くことなどもたのしいです。
- ・観光地の充実。(観光客がまた来たいと思わせる内容に不満)
- ・わかりやすくデザインのよいサインを作してほしい
- ・「ものの始めマップ」(碑もとく絵地図)と「“いいところ”マップ」を融合したイベントをしてほしい

感想

- ・(移転後日が浅いため)(来て5年経つが)よくわからない。【3件】
- ・90才を過ぎているので先のことはわからない
- ・病気なので体が不自由です
- ・地域の安全性はとても低いと思うし、恐怖を感じ、立ち入ることのできない道もある。でも、それは、この地域の特徴として受け入れることもできると思う。
- ・あまり考えたことがありません
- ・高齢のため時代の変化について行けない
- ・小生中区在住75年強。関東大地震幼少の時とはいえ現地体験再来昭和期一桁時代も現地で過ごす。
- ・88歳で介護を受けており自分での参加はむずかしい。子供や孫は、エコに積極的であり、区民の方にアナウンスして大きく拡げてほしいです
- ・生活水準や街の景観などにかなりの格差があるのが、中区のように思います。もう少しこの格差を埋めることができれば、より安心して生活できるように思います。
- ・まだ住み始めて時間が短く、日中は働きに出ているため、区民活動にはなかなか参加できないのですが、永く住みたいと思っているので、今後の取り組みには期待しています。
- ・年寄りなので妻は呆け買い物は精一杯。書く事読む事一切だめ。
- ・中区を魅力ある町にする前に市長はやめてほしい。
- ・いづれにしましても後期高齢者のお仲間入りをさせて頂くことになりましたので気持は賛成でも中々体と頭が付いて行けないのでご理解し難いところに○印がついているところが多々ありますことをお許し下さいませ。50年以上お世話になっている中区の増々のご発展をお祈ります。
- ・すべてに優しさを持ってくらす。
- ・高齢の一人暮らしですから現状維持で私が順応していかななくてはならないと思っています。

満足

- ・横浜が大好きです 【2件】
- ・ここに住んでいることを誇りに思っている
- ・私は中区に住んで満足しています。
- ・中区はまちあるきがおもしろい
- ・日本一、世界一の良い区になれる環境や人材のそろっている地区だと思います、楽しみです。
- ・すべてまんぞくです
- ・長い目で住みやすい歴史のある町としてほこりを持ちたい
- ・いつも区民の人達の為に仕事をしてくれて、ありがとう。横浜は暮らしやすい場所です。これからも横浜で暮らしていきたいです。お体を大切に。
- ・中区には約60年住んでいるが、現在でもくらしやすいと思う。ただ一部（私が住んでいる場所）交通機関がバスのみなので外出にはちょっと不便を感じる。
- ・10年前に西区から中区に転居いたしました。中区で満足しております。定年になりましたので地域の中で生きていく心構えをもつことが課題です。お手伝いできることがあれば広報誌等で伝えてください。
- ・今の形がくらしやすいし無理して形を変える事はないと思います。
- ・中区は十分に魅力的です。開発より現状を維持する方が重要だし、難しい。壊せばいいってもんではない！！
- ・環境もよく、利便性にも優れたとてもよい区だと思います。みなとみらいは西区だと思いますが、あのようなマンションが乱立するよう下品な区にだけは決してならないで下さい。
- ・生まれ育った東京早稲田より多くの年月を過ごしました。素晴らしく愛着のあるまちです。このままこれ以上に魅力あるまち保存を望んで居ります。

施設整備

- ・図書館が本牧だと不便。中心部に作ってほしい。 【3件】
- ・室内プールを作ってほしい。個人利用できるスポーツ施設がない。 【3件】
- ・市の行政に思うこと。総じて表面的な好結果ばかりをアピールする事に、金も人も費やしているとしか見えない。新しい事を追う余り、古来からの良き伝統が失われつつ有るように思われる。柔道剣道などは、警察署や体育施設でも練習稽古は可能でしょうから、それなりに数は有ると思いますが、小生の様に弓道を楽しみにしている者にとっては、大変不自由な思いをしています。中区の弓道場といえば、元町公園に非常にお粗末な施設が（弓道場としては）有るのみ、環境としては非常に良いのですが建物が余りにも酷く弓道場としては、世に恥ずべきものでしょう。
- ・風水害に耐えられる上下水道の整備
- ・横浜スタジアムのドーム化
- ・地域活動施設の使いやすさ
- ・みなとみらい地区にドックランを希望
- ・劇場がほしい
- ・リタイヤしても楽しめる施設の整備（ダンスホール等）を
- ・市営住宅を増やしてほしい

警察

- ・交番は有人にしてほしい 【2件】
- ・風俗店が多すぎる。風俗店の排除を。 【2件】
- ・暴力団の排除。生活圏にいて困る。 【2件】
- ・信号の連動化を進めてほしい
- ・交番のお巡りさんの家庭訪問回数を増やしてほしい
- ・暴力団があちこちに大型自動車を止めてるのに監視員も警察官も注意しない
- ・夜間無灯自転車に交番のお巡りさんが注意しない
- ・風俗店やパチンコ店などの営業許可を容易にださないでほしい。
- ・犯罪をなくすように警察のパトロールを強化し、増々横浜を美しい町にしてください。
- ・信号機の取付。(事故が起きる前に取付けてほしい場所がある)

山手駅

- ・山手駅にエレベーター、エスカレーターを整備してほしい 【3件】
- ・山手駅の根岸寄りにも改札を作ってほしい 【3件】
- ・山手駅のロータリーを改修してほしい
- ・山手駅前の駐輪場は使いにくい
- ・山手駅周辺を開発してほしい
- ・山手駅周辺のバス便を増やしてほしい
- ・山手駅前には駐輪場ではなく駅前広場を整備してほしい。
- ・朝晩だけでも迷惑駐車を取り締まってほしい。

生活保護

- ・生活保護受給者の実態を調べて受給資格を精査してほしい。チェックが甘い。 【6件】
- ・生活保護者でもマナー、公共ルールは守るべきだ。 【2件】
- ・関内の路上生活者の権利は良く保護されていると思う。弱者にも行政は手を脱いで欲しくない。これが国際都市である旨。
- ・港湾で働く人々の生活レベル向上のための支援

港湾

- ・海、川で遊べる所がほしい。 【2件】
- ・中村川の船上生活者の排除を 【2件】
- ・本牧ふ頭で海づり施設以外に釣りができる場所をつくってほしい
- ・中村川の船を放置しておくのはなぜですか
- ・中区内に美しい昔の自然海岸をもどす
- ・運河を活用して安価な水上交通を充実してほしい
- ・中区に人工海浜を

外国人

- ・外国人に公共ルール、マナーを守らせてほしい 【6件】
- ・外国人の方にとっても生活のしやすい区であってほしい。日本語を教えるボランティアなどあれば是非参加したい。
- ・外国人の住みやすいようにする（外国人の住宅用ローンのくみやすいようにする。）

寿 町

- ・松影町～寿町 の違法駐車を取り締まってほしい 【3件】
- ・寿町の整備・ゴミ等の処理。環境を良くしてほしい 【3件】
- ・寿町のノミ行為を取り締まってほしい
- ・生活保護者、寿町内のよっぱらいやギャンブルしてる人が多いのもうすこしよくなりませんか

意識調査に対する意見

- ・このアンケートは形式的で役に立つとは思えない
- ・2の設問は答えにくかった
- ・このアンケートはネット回答もできるようにすれば、経費節減になる。
- ・85才の老人にはアンケートは無理です
- ・アンケートの質問が「一部分」の課題になっており、区政の将来（区民の将来）と言うのには???これで良くなるのかギモン??
- ・観光客対策を考えて全国に横浜の印象を良くするのも大事な事かも知れないですが、地元住民があつてこそその区政ではないのでしょうか。実際バス路線の廃止、縮小によって交通の便が悪くなったにもかかわらず3-問15のような質問はいかなものかと?こんな事書いたことで軽くあしらわれてしまうのかもしれないね。観光客やイベントのほうが重要ですね。
- ・アンケートを書かなければならないのであれば、謝礼があってもよいと思う。忙しい中で、こうやって時間を使い記入している状況を理解してほしい。

防 災

- ・地震対策の強化 【2件】
- ・危機管理の強化
- ・大地震が来た際根岸週辺のコンビナートの危険性大、縮小検討を。
- ・大地震災害への調査、対策を！中区内には多くの崩落危険地帯があり、又電信柱が道路に多く、災害時はとても危険です。
- ・災害時には学校プールの水を活用すべきだ
- ・9月の防災訓練には、備蓄の量などを理解している職員に来てほしい

開港150周年記念イベント

- ・150周年のイベントとして、横浜市民は、ある1日に鹿鳴館風のドレスか着物を全員、外（中区、西区）を歩くときは着て、幕末のふんいきを横浜に来た人に味わってもらう。その服（着物）を着た人は、何か、横浜市と魅力ある特典を付ける。（スタンプを押して、そのスタンプで翌年の住

民税 500 - とか...) 非現実的ですが、日頃、考えてました。参考までに...

- ・開港は静かにやってほしい。
- ・市長にもご協力を頂いて、メディアでの開港記念をもっとPRすると、よりお客さんも集まり、中区の活性化につながると思う。今をのがすと、なかなかチャンスはないと思うので、このチャンスを有効に生かし、横浜で1番知られている区になってほしい。
- ・ムダのないお金の使い方をしてほしい
- ・150年開港の催し物はとても楽しみ。是非成功を祈る。
- ・みんなが参加できて楽しめるイベントを実施してください。

医療

- ・救急医療体制の充実 【2件】
- ・病院や療養型病院、小児科ができるといい 【2件】
- ・このごろ病気になっても入院が出来ないとか。私は家に小学校の一年生と、1歳7ヶ月の子と一緒に生活してますが子供を産むにも安心出来ない様では子供が少ないと言っても、ちっとずれてないでしょうか？72才です
- ・医療の充実を
- ・病院、産院の医師、看護師を増やしてほしい

広報

- ・中区は良いイメージがあるので増々アップするために色々と努力する必要あり。マスコミにアピールを。
- ・広報は自治会加入に関係なく配布すべき
- ・広報よこはまのなか区歴史散歩道を毎回楽しみにしています。
- ・中区のインターネットホームページはPDFを開ける必要が有ったり非常に使い勝手が悪い
- ・「中区だより」が見ずらく、内容がマンネリ化した感じで、じっくり見る気がなくなり、タイトルだけで判断してしまい、内容を読まなくなった。もう少し編集配慮願います。
- ・インターネットというが、機械もないしまったくわからない。

コミュニティ・市民活動

- ・高層マンション建設が多く住民とのケアがあまりとれず、昔の面影がなくなっている。(町づくり)
- ・私は高校時代に開港100年で三沢競技場でマスゲームに参加しました。それから50年経ち、町も大変整い綺麗になりましたが、人とのふれ合いが薄れた様になりました。出会いとふれ合いの企画を沢山作って欲しい。
- ・米国に住んでいた時、コミュニティの存在はとても大きなものでした。当たり前のようにボランティアが有り、高校生もお年寄りもできることをしておりました。日本は市・区・県・国の縦割りで難しいことも多いとは思いますが、頑張ってください。
- ・自治会・町会活動の明確化(何してるかわからないが寄付の時だけ来るから)

資料編

平成 20 年度 中区区民意識調査

～ アンケート調査へのご協力のお願い ～

区民の皆さまには、日頃から中区政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
さて、中区役所では、区政に対する区民の評価やニーズ等をお伺いし、今後の区政における政策立案、事業化等に反映させていきたいと考え、今回、このアンケート調査を実施することになりました。
ご回答をお願いする方は、住民基本台帳から無作為に選ばせていただきました。
お忙しいところ恐縮ですが、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご回答いただいた調査票は、お手数ですが、同封いたしました返信用封筒に入れて、

平成 20 年 7 月 18 日 (金) まで

にご投函いただくようお願いいたします。(返信用封筒への切手及び差出人の記名は不要です。)

平成 20 年 7 月
中区区政推進課

ご記入にあたってのお願い

1. 当アンケート調査は、区内在住の 20 歳以上の区民の方々の中から、無作為に抽出し、ご協力をお願いしております。
2. 調査票には、封筒のあて先にお名前を書かせていただいたご本人がお答えください。
3. 回答欄には、黒ボールペンか鉛筆などで、はっきりとご記入いただくようお願いいたします。
4. お答えは、あてはまる答えの番号を で囲んでください。
「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、〔 〕内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
5. 設問ごとに(いずれか1つに)など答え方の指定やご回答していただく方が限定される場合がありますので、お間違えのないようにお気をつけください。
6. ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、個人にご迷惑をおかけすることはありません。調査票はすべて無記名でお答えください。また、ご返送いただいた調査票は、当アンケート調査の目的以外には使用せず、集計後は中区役所が責任をもって処分いたします。

当アンケート調査について、ご不明な点やご質問等がございましたら、
下記までお問い合わせください。

横浜市中区役所 総務部 区政推進課 企画調整係
担当：内宮、丸山

TEL：045-224-8128
FAX：045-224-8214

1 はじめに、あなたご自身についてお尋ねします。(平成20年7月1日現在)

問1 あなたの性別を教えてください。(いずれか1つに)

1 男性	2 女性
------	------

問2 あなたの年齢を教えてください。(いずれか1つに)

1 20歳代	2 30歳代	3 40歳代	4 50歳代	5 60歳代	6 70歳以上
--------	--------	--------	--------	--------	---------

問3 あなたと一緒に暮らしている方を教えてください。(あてはまるものすべてに)

1 祖父(義祖父)	2 祖母(義祖母)	3 父(義父)	4 母(義母)
5 配偶者	6 兄弟姉妹	7 子(15歳未満)	8 子(15歳以上)
9 孫(15歳未満)	10 孫(15歳以上)	11 ひとり暮らし	
12 その他〔		〕	

問4 あなたのお住まいの町名を教えてください。(いずれか1つに)

ア行	1 相生町	2 赤門町	3 曙町	4 池袋	5 石川町
	6 伊勢佐木町	7 上野町	8 打越	9 内田町	10 扇町
	11 大芝台	12 太田町	13 大平町	14 翁町	15 尾上町
カ行	16 海岸通	17 柏葉	18 かもめ町	19 北方町	20 北仲通
	21 黄金町	22 寿町	23 小港町		
サ行	24 鷺山	25 桜木町	26 新港	27 新山下	28 未広町
	29 末吉町	30 住吉町	31 諏訪町		
タ行	32 滝之上	33 竹之丸	34 立野	35 千歳町	36 千鳥町
	37 長者町	38 千代崎町	39 塚越	40 寺久保	41 常盤町
	42 豊浦町				
ナ行	43 仲尾台	44 錦町	45 西竹之丸	46 西之谷町	47 日本大通
	48 根岸旭台	49 根岸加曾台	50 根岸台	51 根岸町	52 野毛町
ハ行	53 羽衣町	54 初音町	55 花咲町	56 英町	57 万代町
	58 日ノ出町	59 福富町仲通	60 福富町西通	61 福富町東通	62 富士見町
	63 不老町	64 弁天通	65 蓬莱町	66 本郷町	67 本町
	68 本牧荒井	69 本牧大里町	70 本牧三之谷	71 本牧十二天	72 本牧町
	73 本牧原	74 本牧ふ頭	75 本牧間門	76 本牧満坂	77 本牧緑ヶ丘
	78 本牧宮原	79 本牧元町	80 本牧和田		
マ行	81 真砂町	82 松影町	83 豆口台	84 港町	85 南仲通
	86 南本牧	87 簀沢	88 宮川町	89 妙香寺台	90 三吉町
	91 麦田町	92 元浜町	93 元町		
ヤ行	94 矢口台	95 山下町	96 山田町	97 山手町	98 大和町
	99 山吹町	100 山元町	101 弥生町	102 横浜公園	103 吉田町
	104 吉浜町				
ワ行	105 若葉町	106 和田山			

問5 あなたは、中区にどのくらいの期間住んでいますか。(いずれか1つに)

- | | | | |
|------------|------------|----------|-----------|
| 1 1年未満 | 2 1~3年未満 | 3 3~5年未満 | 4 5~10年未満 |
| 5 10~20年未満 | 6 20~30年未満 | 7 30年以上 | |

問6 あなたのお住まいの形態を教えてください。(いずれか1つに)

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1 持ち家(一戸建て) | 2 持ち家(マンション等共同住宅) |
| 3 賃貸(一戸建て) | 4 賃貸(マンション等共同住宅) |
| 5 その他〔 | 〕 |

問7 あなたが中区に住むようになった理由を教えてください。(あてはまるものすべてに)

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1 親の代から住んでいて、同居しているから | |
| 2 親や兄弟姉妹、親戚などが近所に住んでいたから | |
| 3 通勤や通学に便利だったから | 4 住環境が良いと思ったから |
| 5 その他〔 | 〕 |

問8 あなたの職業を教えてください。(いずれか1つに)

- | | | | |
|--------------------|-------------------------|--------|---|
| 1 就労している(常勤・フルタイム) | 2 就労している(非常勤・パート・アルバイト) | | |
| 3 就労していない | 4 学生 | 5 その他〔 | 〕 |

問9 あなたはどこに通勤・通学されていますか。(いずれか1つに)

- | | | | |
|--------|------------|--------------|---------------|
| 1 中区内 | 2 横浜市内の他の区 | 3 神奈川県以外の市町村 | |
| 4 東京都内 | 5 その他〔 | 〕 | 6 通勤・通学はしていない |

【問9で「1~5」に をつけた方にお尋ねします】

問10 職場・学校までの通勤・通学にかかる時間はどのくらいですか。(いずれか1つに)

- | | | | |
|----------------|----------------|------------|-------------|
| 1 15分未満 | 2 15~30分未満 | 3 30~45分未満 | 4 45分~1時間未満 |
| 5 1時間~1時間30分未満 | 6 1時間30分~2時間未満 | 7 2時間以上 | |

【全員の方にお尋ねします】

問11 家事や仕事・学校、通勤・通学、睡眠などの時間を除き、あなたが自由に使える時間は、一日のうちどのくらいですか。* 仕事や学校に行かれています方は、行かれています通常の日(休みの日以外)でお答えください。(いずれか1つに)

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|---------|
| 1 1時間未満 | 2 1~3時間未満 | 3 3~5時間未満 | 4 5時間以上 |
|---------|-----------|-----------|---------|

2 中区の行政サービスについてお尋ねします。

問 12 中区の行政サービスにおける以下の項目に関して、あなたの現在の満足度と、今後の重要度を5段階で教えてください。(各項目について、満足度と重要度1つずつに)

記入例

項 目	現在の満足度					将来の重要度				
	満 足	やや 満足	ふ つ う	やや 不 満	不 満	重 要	やや 重要	ふ つ う	あまり 重要でない	重 要 で ない
主要道路や高速道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項目ごとにあてはまる数字を
1つずつに をつけてください。

【以下よりお答えください】

項 目	現在の満足度					将来の重要度				
	満 足	やや 満足	ふ つ う	やや 不 満	不 満	重 要	やや 重要	ふ つ う	あまり 重要でない	重 要 で ない
1 主要・幹線道路の整備・安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 自宅周辺の生活道路の整備・安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 自転車が走りやすい道路の整備・安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 歩きやすい道路・歩道の整備・安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 バス・電車による移動の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 中心市街地の整備・景観・街の美化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7 生活地域の整備・景観・街の美化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8 公園・広場の整備、遊具の安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9 緑地の保全や緑化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10 川や港とふれあえる環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項目	現在の満足度					将来の重要度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	重要	やや重要	ふつう	あまり重要でない	重要でない
11 市民菜園など農と親しめる施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12 日常の買い物の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13 生活マナーの向上（ごみ出し、犬の散歩、路上駐輪、歩行喫煙、ポイ捨てなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14 地域活動施設（地区センターやコミュニティハウス、地域ケアプラザなど）の整備や使いやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15 スポーツ施設や屋外レクリエーション施設の整備や使いやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16 市民活動・生涯学習のための支援・施設の整備や使いやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17 高齢者が安心して暮らすための支援・施設の整備や使いやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18 障害者が安心して暮らすための支援・施設の整備や使いやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19 安心して子育てをするための支援・施設の整備や使いやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20 子どもの教育・青少年の健全育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
21 経済的に困っている人への生活支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22 病院・診療所や救急医療の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23 地震や火災などの災害対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24 防犯対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25 区役所サービス（窓口での対応、待ち時間、庁舎の使いやすさなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

3 「温暖化対策」についてお尋ねします。

現在、横浜市では、2025年までに温室効果ガス排出量を30%削減するための取組として、「横浜市脱温暖化行動指針」CO-DO30(コードさんじゅう)を策定しました。また、中区においても「中区地球温暖化対策推進協議会」を設置するとともに、CO-DO(行動)方針を定め、区民・事業者・学校・関係団体・区役所などが一体となった取組を推進しているところです。

問13 あなたは、風呂敷やマイバッグ持参によるレジ袋削減といった「エコライフの実践」について、どのようにお考えですか。(いずれか1つに)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 既に取り組んでいる | 2 今後取り組みたい/取り組める |
| 3 今後も取り組まない/取り組めない | |

問14 あなたは、冷房や暖房の温度を適切に調整する、待機電力の削減、省エネに配慮した調理、こまめな消灯などといった「省エネ行動」について、どのようにお考えですか。(いずれか1つに)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 既に取り組んでいる | 2 今後取り組みたい/取り組める |
| 3 今後も取り組まない/取り組めない | |

問15 あなたは、自動車の利用を控え、鉄道やバスなどの公共交通機関を利用するといった「公共交通機関等の利用」について、どのようにお考えですか。(いずれか1つに)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 既に取り組んでいる | 2 今後取り組みたい/取り組める |
| 3 今後も取り組まない/取り組めない | |

問16 あなたは、急発進や空ぶかし、アイドリングの抑制、タイヤ空気圧等の点検・整備を行うといった「エコドライブの実践」について、どのようにお考えですか。(いずれか1つに)

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1 既に取り組んでいる | 2 今後取り組みたい/取り組める/賛成できる |
| 3 今後も取り組まない/取り組めない/賛成できない | |

問17 あなたは、ごみの減量化・資源化などの3R行動(リデュース:発生抑制、リユース:再利用、リサイクル:再生利用)を実践するといった「G30の推進によるごみ削減」について、どのようにお考えですか。(いずれか1つに)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 既に取り組んでいる | 2 今後取り組みたい/取り組める |
| 3 今後も取り組まない/取り組めない | |

問18 ヒートアイランド対策の1つに、ツル性の植物を窓の外に繁らせ日よけとする「緑のカーテン」と呼ばれる取り組みがありますが、あなたは「緑のカーテン」づくりについて、どのようにお考えですか。(いずれか1つに)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 既に取り組んでいる | 2 今後取り組みたい/取り組める |
| 3 今後も取り組まない/取り組めない | |

問 28 市を代表する観光地である中区には、開港 150 周年に向けて今後ますます観光客などの来訪者が増加することが予想されます。あなたはこうした来訪者に対してどのようなサービスが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに)

- 1 電車やバスなどの交通機関網・便数などの充実
- 2 ペロタクシー^注や人力車などの観光交通の実施
- 3 駐車場やその満車・空車情報の充実
- 4 案内板や誘導標示などの案内標示の充実、観光案内所の設置
- 5 案内板の多言語表示や通訳サービスなどの外国人向けサービスの充実
- 6 名所、観光地のガイド 7 歩きやすい歩道の整備 8 飲食店・物販店の充実
- 9 名物・特産品、土産品などの充実 10 遊園地などのアミューズメント施設の充実
- 11 イルミネーションやライトアップなどの実施 12 公共トイレの充実
- 13 わからない 14 いずれも必要ない

注：ペロタクシー

ペロタクシーは、3輪自転車を利用したタクシーで、環境に優しい乗り物として注目されています。横浜では、1997年から運行されています。

7 「インターネットの利用」についてお尋ねします。

問 29 あなたはインターネットを利用していますか。(いずれか1つに)

- 1 パソコンで、ホームページの閲覧やメールなどで利用している
- 2 携帯電話で、ホームページの閲覧やメールなどで利用している
- 3 パソコンと携帯電話を両方とも活用し、ホームページの閲覧やメールなどで利用している
- 4 インターネットは利用していない

【問 29 で「1～3」に をつけた方にお尋ねします】

問 30 あなたは中区役所や横浜市役所のホームページを知っていますか。(いずれか1つに)

- 1 知っており、週1回以上は見て情報収集している
- 2 知っているが、必要があるときに見る程度
- 3 知らないが、今後は見たい
- 4 知らないし、今後も見るとつもりはない

8 自由意見欄

問 31 今後、中区をより魅力あるくらしやすいまちにしていくためのご意見を、ご自由にお書き下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。



横浜市中区区民意識調査報告書

平成 20 年 7 月発行

発行：横浜市中区区政推進課

〒231-0021 横浜市中区日本大通 35 番地

電話（045）224-8129

FAX（045）224-8214

調査：株式会社流通研究所

